



LX610

COLOR LABEL PRINTER

取扱説明書

© 2019 All rights reserved

最新版の取扱説明書は、<http://www.primera.com/customer-support>にてご確認ください。

通知:

本書の内容は、予告なしに変更することがあります。

本書の運用につきましては、内容の誤り、記載漏れ、誤植などにかかわらず、当社は一切の責任を負いかねます。

本書には、著作権で保護されている所有権情報が含まれています。

本書の内容の一部または全部を、事前の書面による同意なしに転載、複写、改ざん、他言語に翻訳することは固くお断りします。

商標について

Primera および Primera LX610 は、Primera Technology, Inc. の登録商標です。

Windowsはマイクロソフト社の登録商標です。その他の商標は各社に帰属します。

改訂履歴

Edition 1.0, Copyright 2019, All rights reserved.

目次

第1章: はじめに.....	5
1A プリンターの設置.....	5
1B 付属品の確認.....	6
1C ロールホルダーの取り付け.....	7
1D 各部の名称.....	11
第2章 ラベル、カートリッジ及びカッター.....	14
2A ラベルメディア仕様について.....	14
2B 全面ラベルの取り付け.....	18
2C ダイカットラベルの取り付け.....	22
2D ブレードカッターの取付.....	27
2E プロッターナイフの交換.....	29
2F インクカートリッジの交換.....	30
第3章 Primera PrintHub.....	32
3A XY カッター設定 カット圧とストレッチ係数の調整.....	33
3B インクコスト試算の使用.....	35
3C 余白センサーモードを設定する(ダイカットラベルの場合).....	36
3D カットモードを設定する.....	38
3E プリントアライメントの調整.....	40
3F PrintHub の設定.....	42
3G PrintHub プリンター設定.....	43
3G1.複数プリンターのサポート.....	44
第4章 PTCreat を使用した印刷・カット.....	45
4A 概要(無償版と Pro 版).....	45
4B PTCreat Software アクティブ化.....	48
4C PTCreat Software 非アクティブ化.....	50
4D PTCreat 無償版でのプリントおよびカットのセットアップ方法.....	51
4D.1 ラベルサイズを選択する(ページレイアウト).....	51
4D.2 フラットイメージのインポート(JPG、BMP、PNG、TIF、GIF).....	52
4D.3 カットラインの追加.....	54
4D.4 印刷する.....	57

4E: PTCreat Pro 版 – ベクトルファイルカットを使用して印刷とカットを設定する方法	58
4E.1 ラベルサイズを選択する(ページレイアウト).....	58
4E.2 フラットイメージのインポート(JPG、BMP、PNG、TIF、GIF).....	59
4E.3 読み込んだベクトルファイルのレイヤーを操作する.....	62
4F PTCreat Pro 版 を使用したプリントとカットのセットアップ方法– 輪郭カット	64
4F.1 ラベルサイズを選択する(ページレイアウト).....	64
4F.2 イメージのインポート.....	65
4F.3 画像のトレースとカットラインの作成	68
4F.4 カットラインをオフセットする.....	71
4G 印刷プレビュー.....	73
第 5 章 印刷の詳細設定について:.....	74
5A プロパティの設定.....	74
第 6 章 Mac で印刷する	76
6A 印刷ユーティリティ設定 (LX610 Config Utility).....	76
6B アウトプットモードを設定する.....	77
6C XY カッターオフセット (全面ラベルのみ).....	79
6D ページサイズをカスタマイズする– Mac.....	81
6E プリンタードライバー設定	83
第 7 章 トラブルシューティング	87
7A メンテナンス.....	87
7B 出力カッターのクリーニング	88
7C 印刷品質不良 – カートリッジのクリーニング	90
7D テクニカルサポート.....	93
第 8 章: 技術仕様	94

第1章: はじめに

この度は、LX610 をご購入いただき、誠にありがとうございます。

本機を使用すれば、いつでもだれでも簡単に高品質なオリジナルシールやラベルを作成することができます。内蔵カッターで、任意のサイズや形状にラベルをカット/作成できます。

この取扱説明書は、本機の機能、操作方法について説明したものです。ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。

1A プリンターの設置

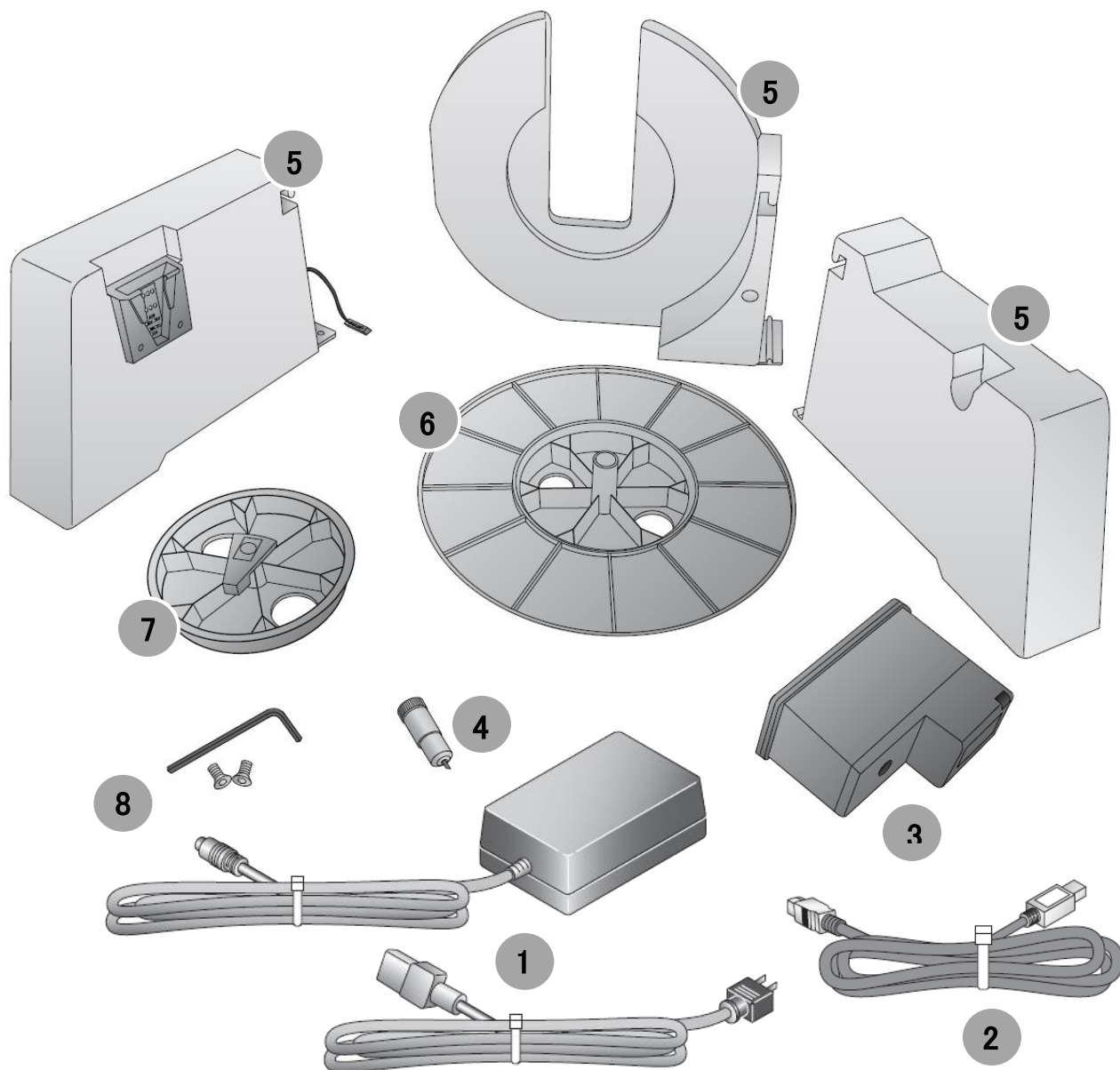
- 内部の熱がこもらないように十分なスペースを確保し、プリンターを水平に設置してください。
- 高温や直射日光を避け、ほこりが多い場所には設置しないでください。振動、衝撃のある場所にプリンターを置かないでください。
- 印刷されたラベルが詰まることを防ぐために、プリンターの前に十分なスペースを確保してください。
- プリンターに接続される USB ケーブルや電源ケーブルが当たらないようにプリンターの背後に約 15cm の空間を確保してください。
- 上部カバーを完全に開けるため、プリンターの上部に約 20cm のスペースを確保してください。(合計= 41.91cm)。

1B 付属品の確認

付属品がすべて本体に同梱されていることを確認してください。

付属品は以下のとおりです。

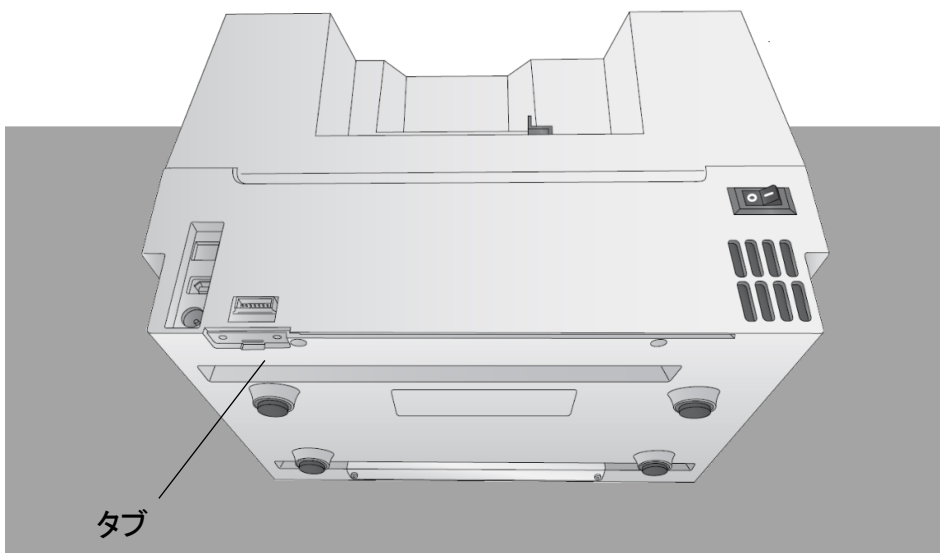
1. AC アダプター
2. USB ケーブル
3. 染料インクカートリッジ
4. ブレードカッター
5. ロールホルダー(組み立てが必要- セクション 1C)
6. ロールハブ(青色)
7. ロールハブ(緑色)
8. 六角レンチ/ねじ(2本)



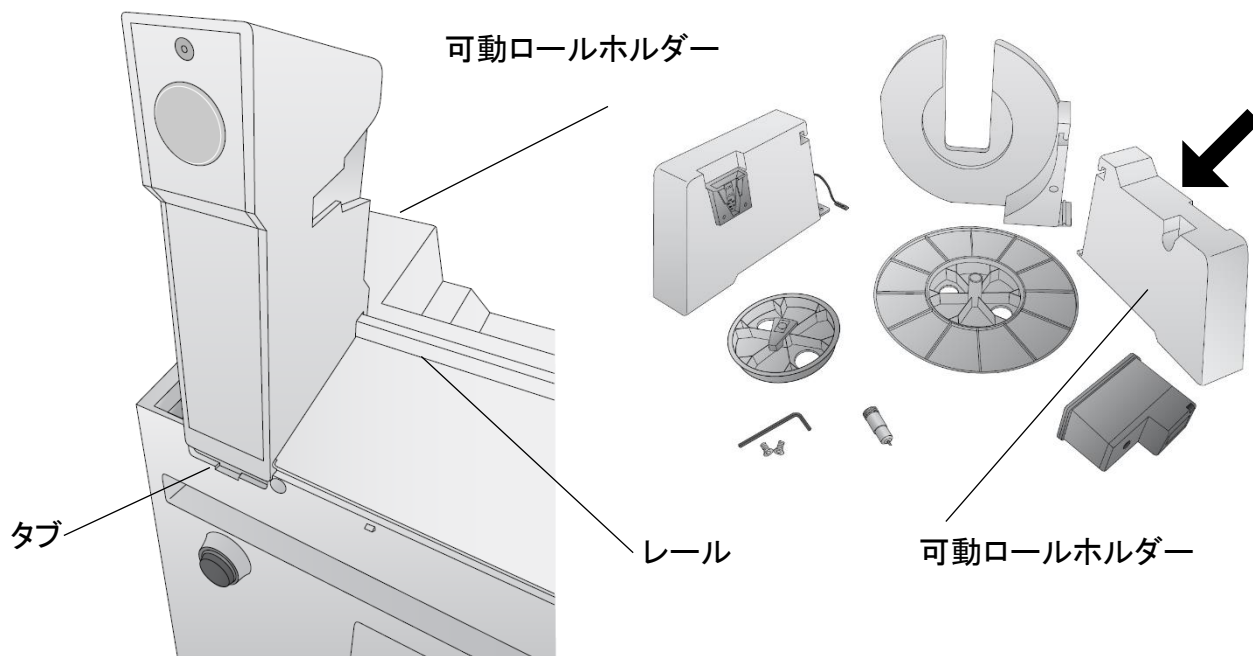
1C ロールホルダーの取り付け

プリンターを操作する前に、ロールホルダーの組み立てが必要です。以下の手順に従ってください。なお、詳しい組み立て方法については Primera Japan の公式ホームページに動画を掲載していますので、そちらもご参照ください。

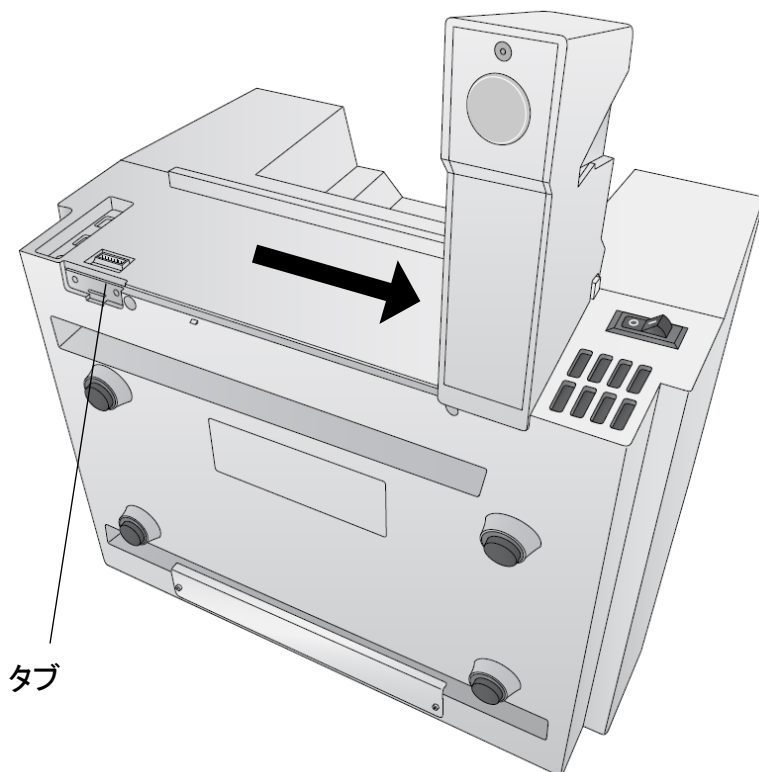
1. プリンターの底面が自分の方を向くように、プリンターを上向きにします。



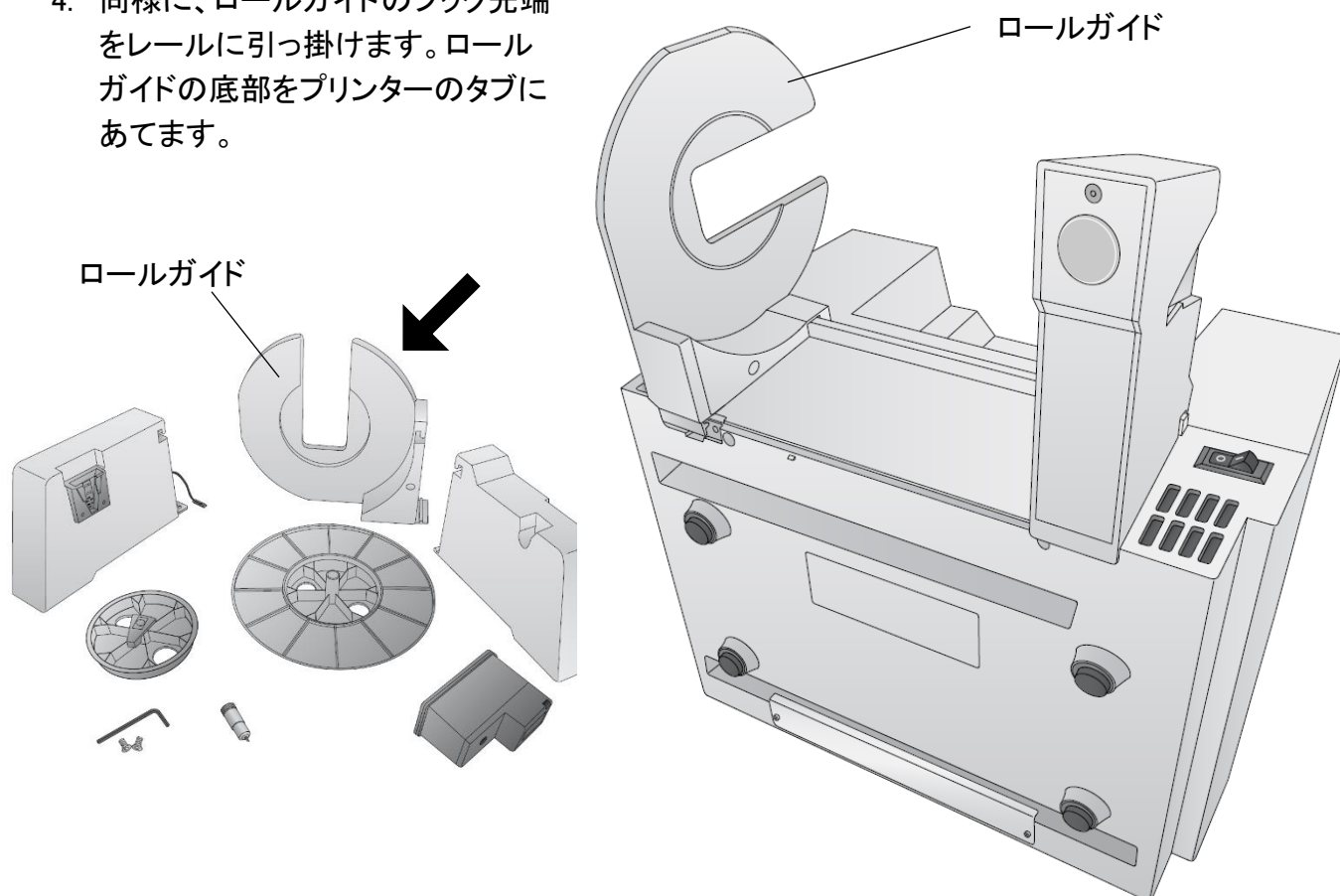
2. 可動ロールホルダーをプリンター前面にあるレールに引っ掛けます。ホルダーの底部をプリンターのタブにあてます。

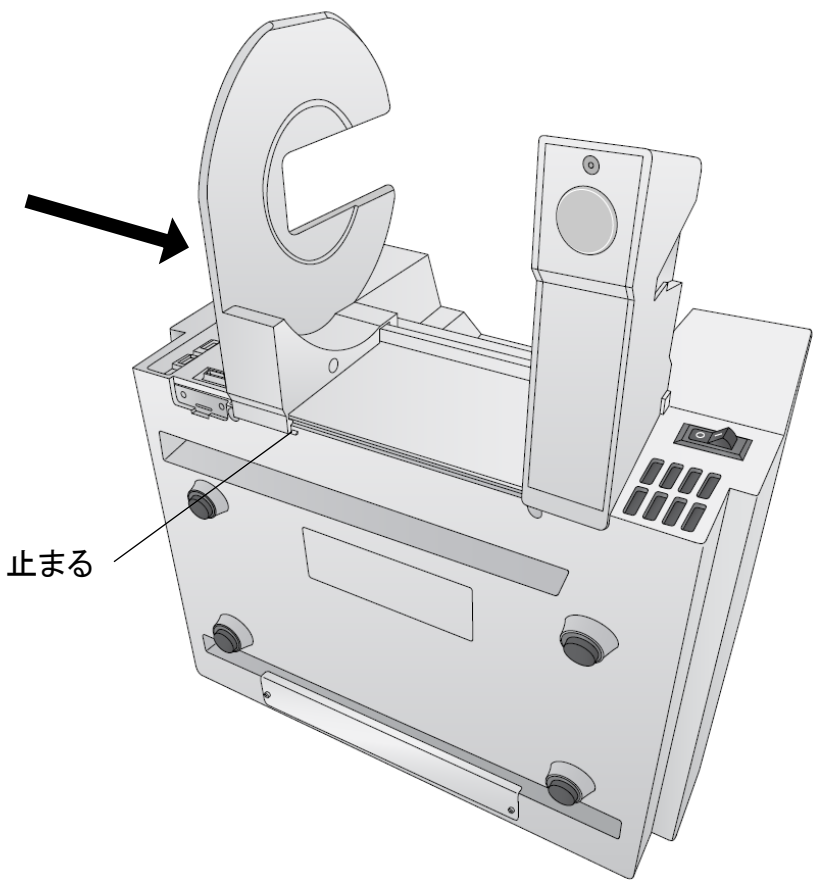


3. ロールホルダーを右端までスライドさせます。

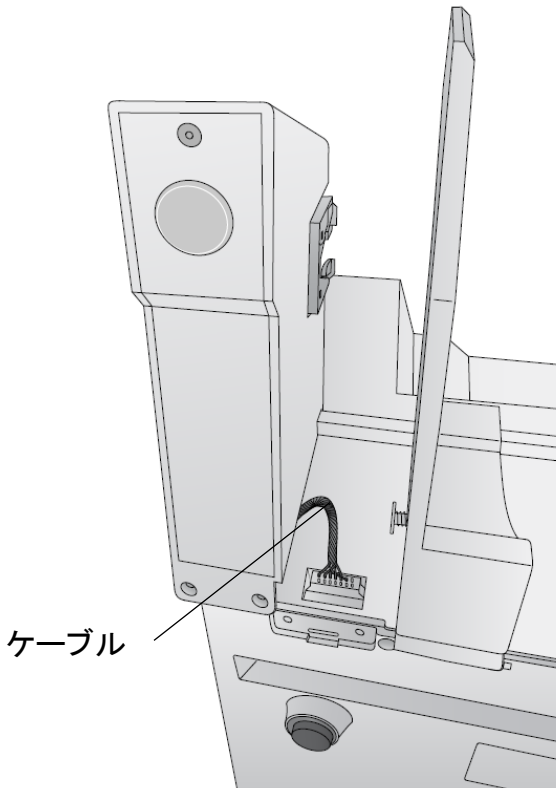


4. 同様に、ロールガイドのフック先端をレールに引っ掛けます。ロールガイドの底部をプリンターのタブにあてます。

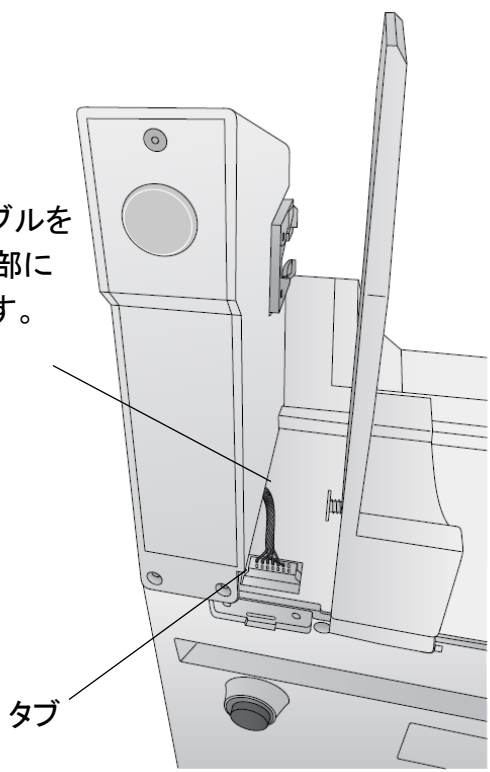




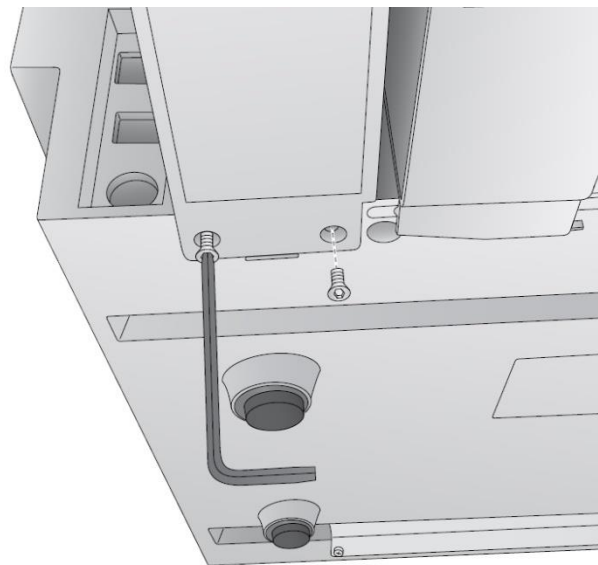
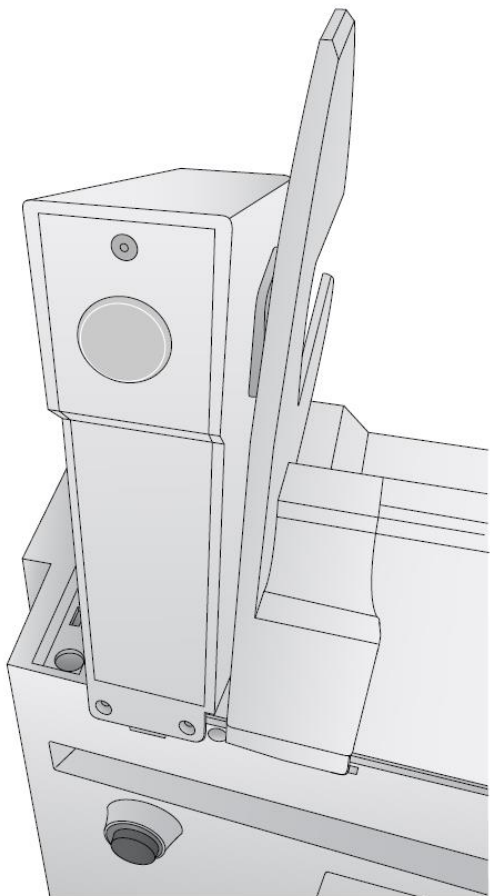
5. ガイドが止まるまで右にスライドさせます。
6. 最後に、ケーブルがついているロールホルダーを取り付けます。ケーブルをプリンターのポートに接続します。余ったケーブルは、挟まないようにホルダー内部に押し込みます。



余ったケーブルをホルダー内部に押し込みます。

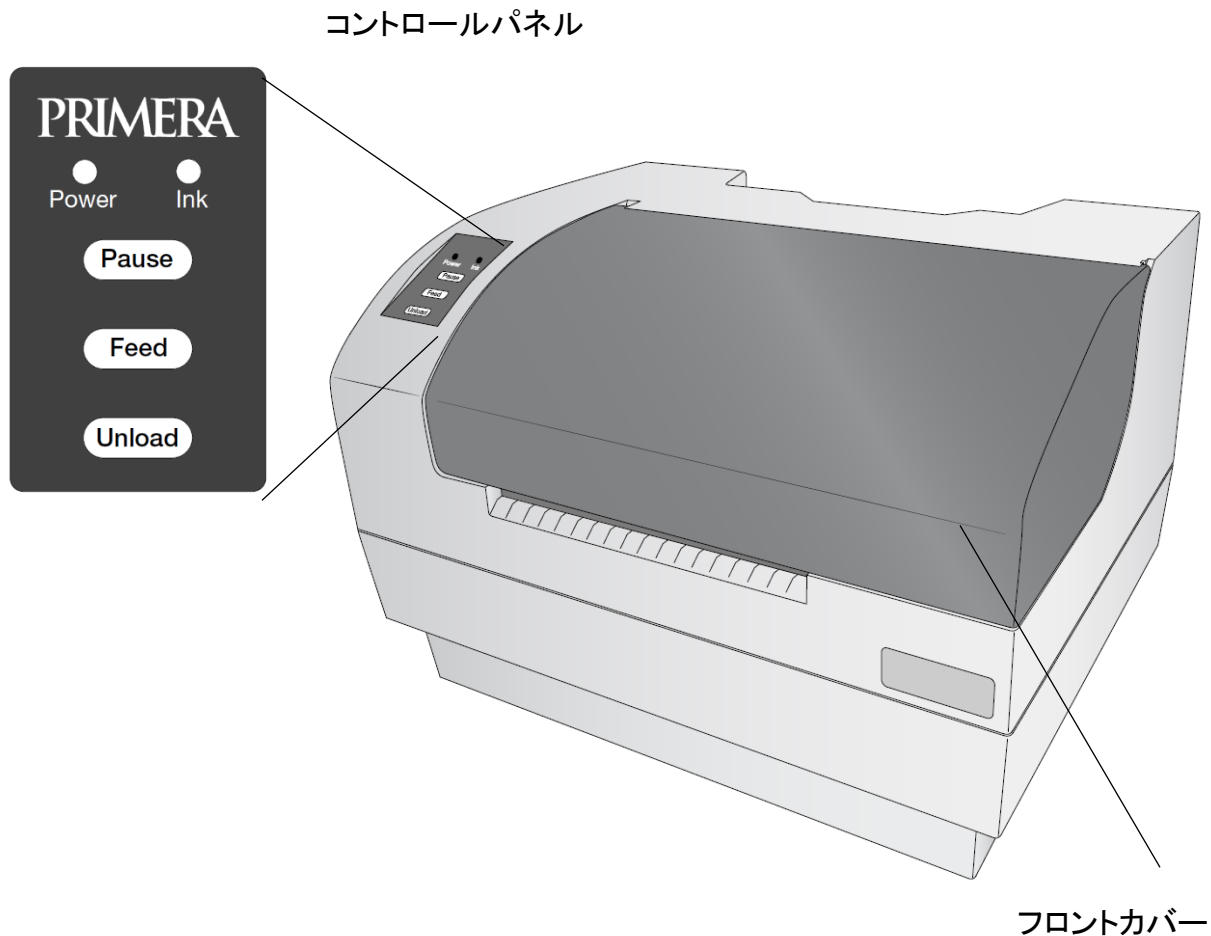


7. ホルダーを所定の位置にカチッとはめ込み、2つのネジ穴がプリンターのネジ穴と揃うようにします。



8. 付属の六角レンチを使用して、ネジを取り付けます。
9. プリンターを元の向きに戻します。

1D 各部の名称



Power LED: プリンターが印刷可能な状態の時、点灯します。

Ink LED: カートリッジのインク残量が 10% 以下になると、点灯します。

Pause ボタン: 印刷の一時停止をします。

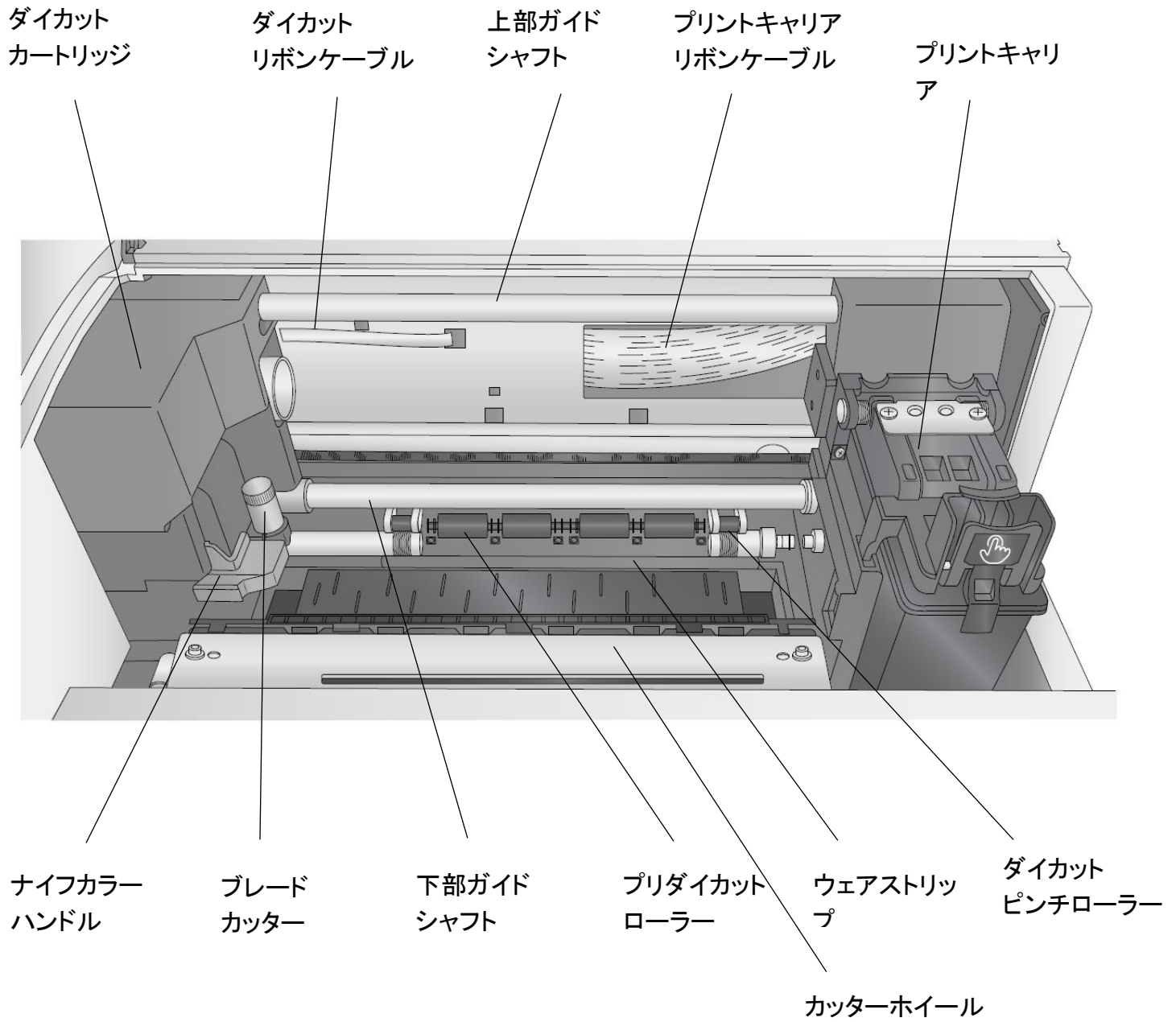
ラベルロールやインクカートリッジの交換・取付の際には一時停止をしてください。

ラベル印刷が終了すると、プリンターは自動的に一時停止します。

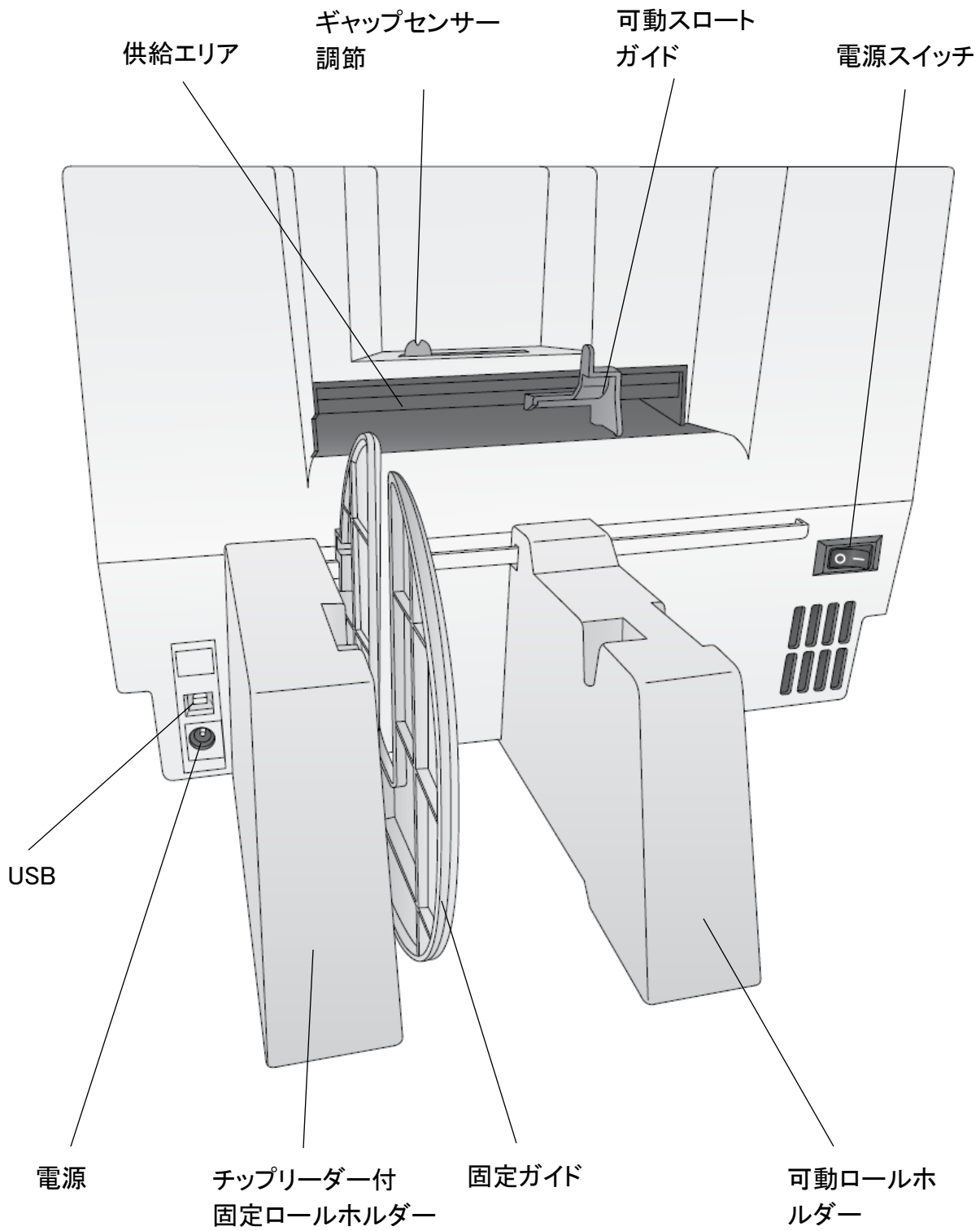
Feed ボタン: 用紙送りをします。自動的にラベルが排出されない場合は押してください。

Unload ボタン: ドライバーで用紙切れのメッセージが出た際、Unload ボタンを押してラベルを取り出し、交換してください。

本体内部



背面

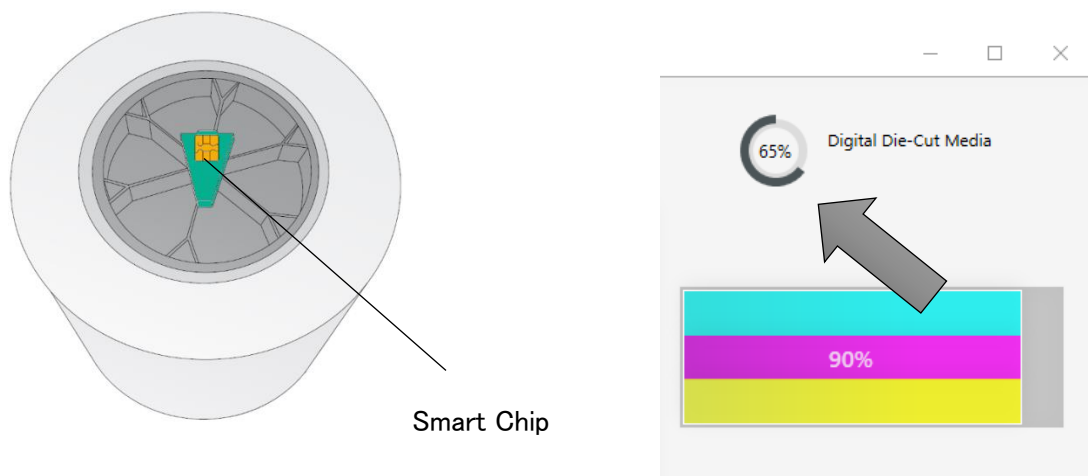


第2章 ラベル、カートリッジ及びカッター

2A ラベルメディア仕様について

このプリンターでは 2 種類のラベルメディアが使用できます。

1. **全面ラベル** 全面ラベルでオリジナルの形状・サイズのラベルを作成する場合、Primera 純正ラベルのみをご使用下さい。純正ラベルには、ラベルの残量などをドライバー上で認識するための専用チップが付属しています。純正ラベルを正しくプリンターにセットすると、PrintHub(ドライバー)の画面右上に下図のようにラベル残量がパーセンテージで表示されます。ドライバー上でこのラベル残量表示が確認できない場合、デジタルダイカッターは作動せず、ラベルのカットが行われなくなります。



純正以外のメディアは、例え他の純正ラベルからチップを取り外して再利用したとしても、以下の理由からご使用になれません。

- 一度残量が0%となったチップは再利用ができません。
 - 純正メディアのライナーは Primera プリンター専用で製造しております。純正以外のメディアをご使用になると、ライナーが薄すぎて正常にカットが行われず、紙粉が純正メディアよりも多くなる可能性があります。その場合、頻りにカートリッジの詰まりが発生したり、他の問題が発生する原因になります。
2. **ダイカットラベル** 本機は、Primera 製以外にも様々な種類のダイカットラベルを使用できます。以下に記載されたメディア仕様を確認の上、ご使用下さい。

注意: 標準以外のダイカットラベルを使用する際には、大量印刷の前に必ずテスト印刷を行ってください。

本機は Primera 標準ラベルでの印刷においてのみ品質保証しております。

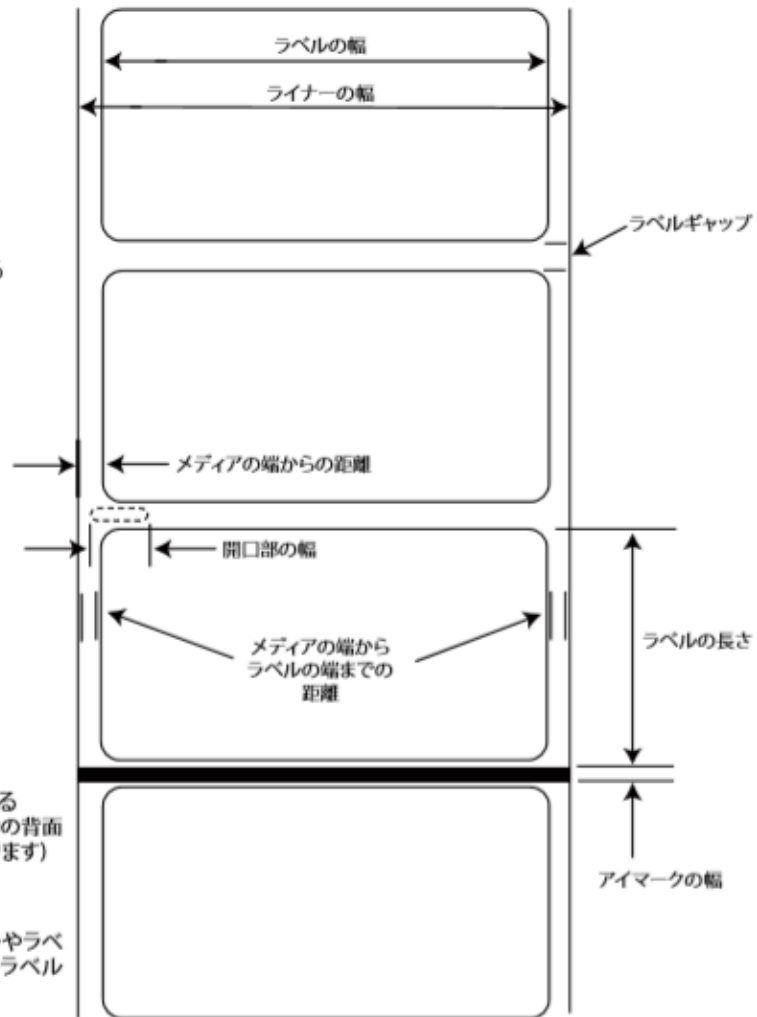
ラベル検出方法

方法1:
ラベルギャップを検知する

方法2:
スルーホールを検知する

方法3:
反射/アイマークを検知する
(アイマークはラベルストックの背面
に印刷されている必要があります)

アイマークは、透明なラベルやラベル
ギャップの検知が難しいラベル
等の場合に必要になります。



注意: 最大値と最小値については、次のページの表を参照してください。

	最大	最小
ラベル幅	127mm	13mm
台紙/メディア幅	133mm	54mm
ラベルの高さ/長さ	308mm	13mm
ラベル間の余白	253mm	2.5mm
貫通穴幅	12.65mm	6.325mm
余白センサーの調整 範囲(左端から)	52mm	10.16mm
反射/ブラックマーク幅*		2.54mm
最大外径(OD)	152mm	
内側コア径(ID)	76.2mm	
推奨総厚 (台紙+ラベル)**	0.254mm	
用紙の端からラベルの端までの距離	2mmの余白を想定しています。 左側余白の設定で調整可能です。	

* 反射マーク/ブラックマークは赤外線に対して不透明である必要があります。

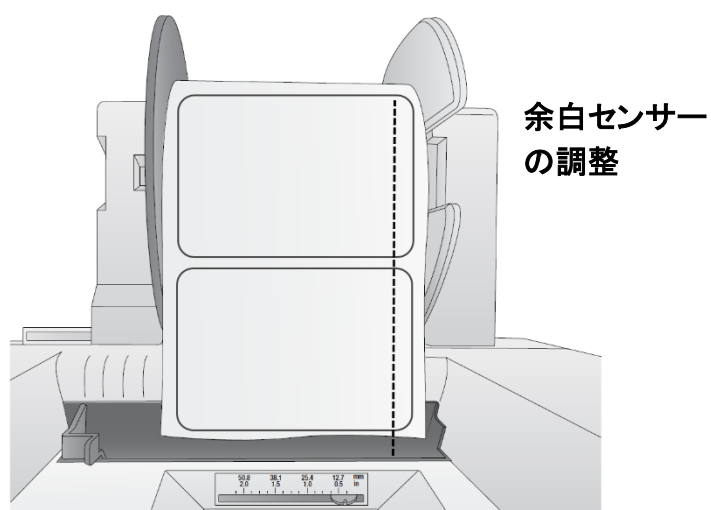
マークはラベルの間に位置し、マークの終わりがラベルの先頭に対応する必要があります。

** これが推奨される最大値です。プリンターが特定の用紙の厚みに対応するかどうかは以下2つのポイントがあります。

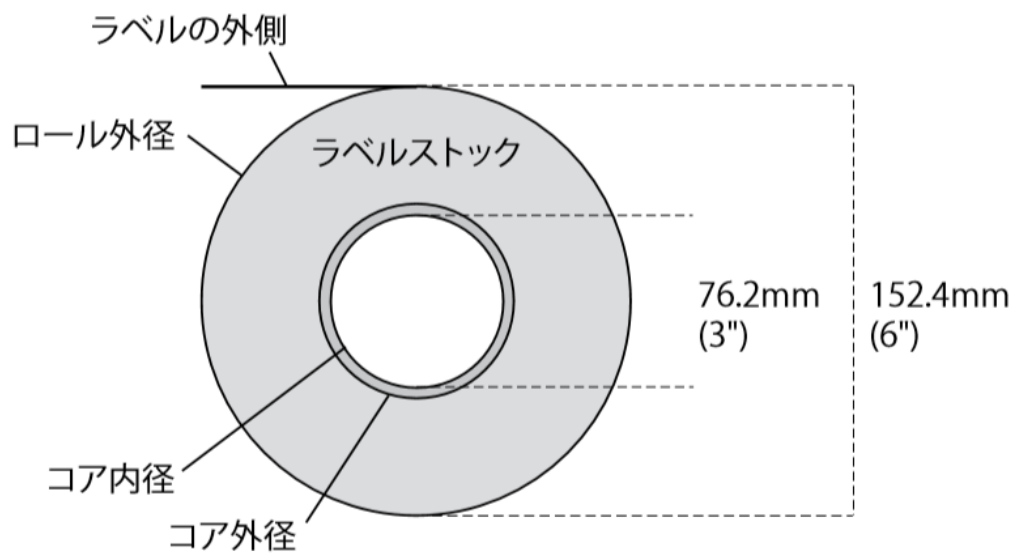
1. プリンターが印刷部分から用紙を排出できるか
2. センサーがダイカットに設定されている場合、センサーが台紙を読み取れるか

全面ラベルまたは反射ラベルモードで印刷している場合は、上記2は適用されません。ダイカットモードで台紙を通してプリンターが読み取る条件は、印刷部分から用紙を排出する条件よりもはるかに厚さを制限することになります。ただし、ラベルが余白センサーから見える程度に台紙の不透明度を調整すると、印刷部分から用紙を引き出す能力に対応できるかどうかだけが厚みの条件になります。これらの理由により、台紙の重量又は厚さは、簡単に決めることはできません。

大量印刷の前には、すべてのラベルを必ずテスト印刷するようにしてください。

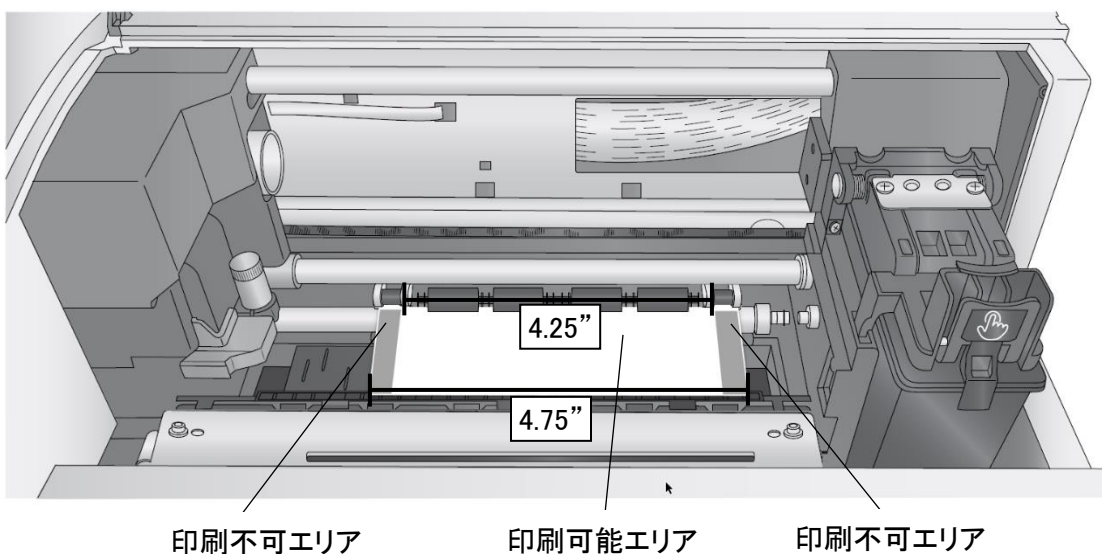


ロールの仕様:



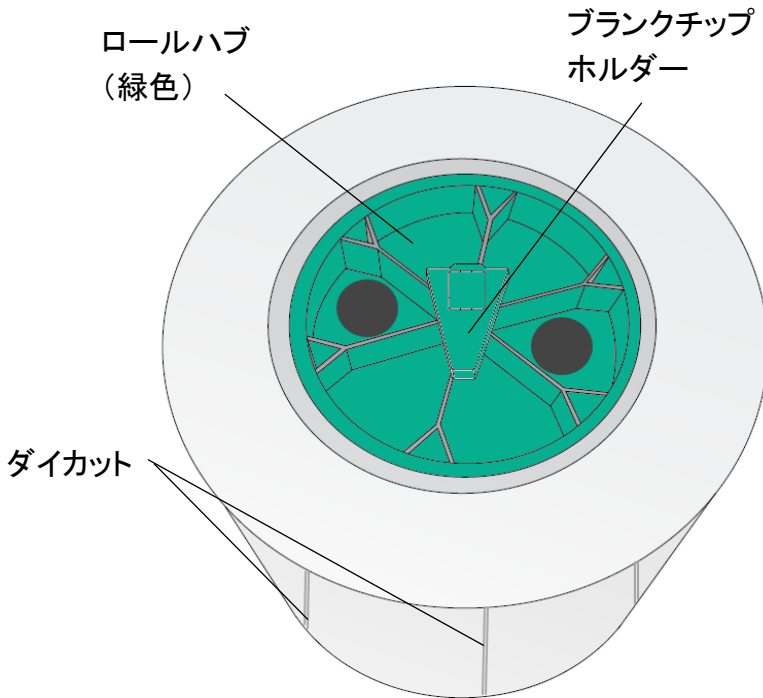
ラベルの向きに関する注記: アプリケーターを使用してラベルを貼り付ける場合は、必ずアプリケーターの正しい向きに合ったラベルを注文してください。例えば、ほとんどのアプリケーターはラベルの側面から貼り付けていくので、その場合は横向きにラベルを印刷します。

全面ラベルに関する注記: 実際のラベル幅は 4.75 インチですが、ラベル両端には下図の通り印刷不可エリアがあります。よって実際に印刷が可能な幅は 4.25 インチとなります。



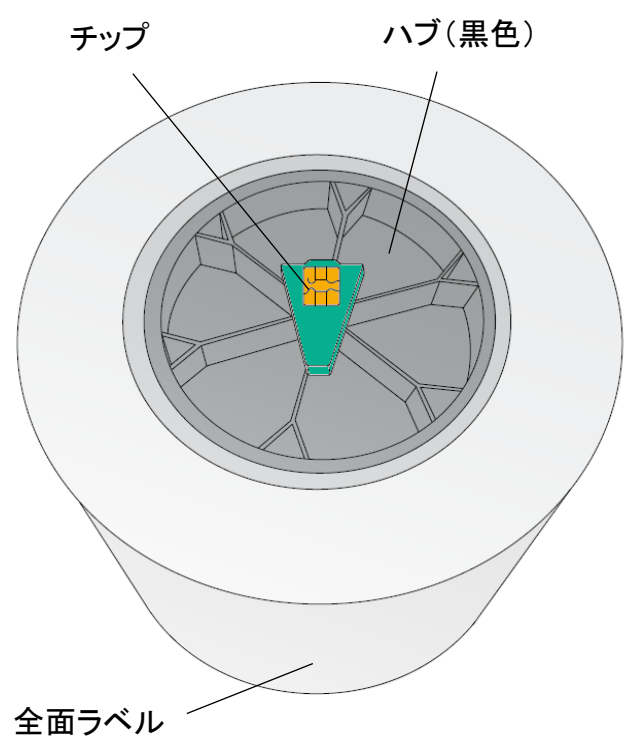
2B 全面ラベルの取り付け

全面ラベル. 全面ラベルを使用する場合は、必ず Primera 純正ラベルを使用してください。純正ラベルには、ラベルの残量などをドライバー上で認識するための専用チップが付属しています。純正ラベルを正しくプリンターにセットすると、PrintHub (ドライバー) の画面右上にラベル残量がパーセンテージで表示されます。ドライバー上でこのラベル残量表示が確認できない場合、デジタルダイカッターは作動せず、ラベルのカットが行われなくなります。



ダイカットラベルロール

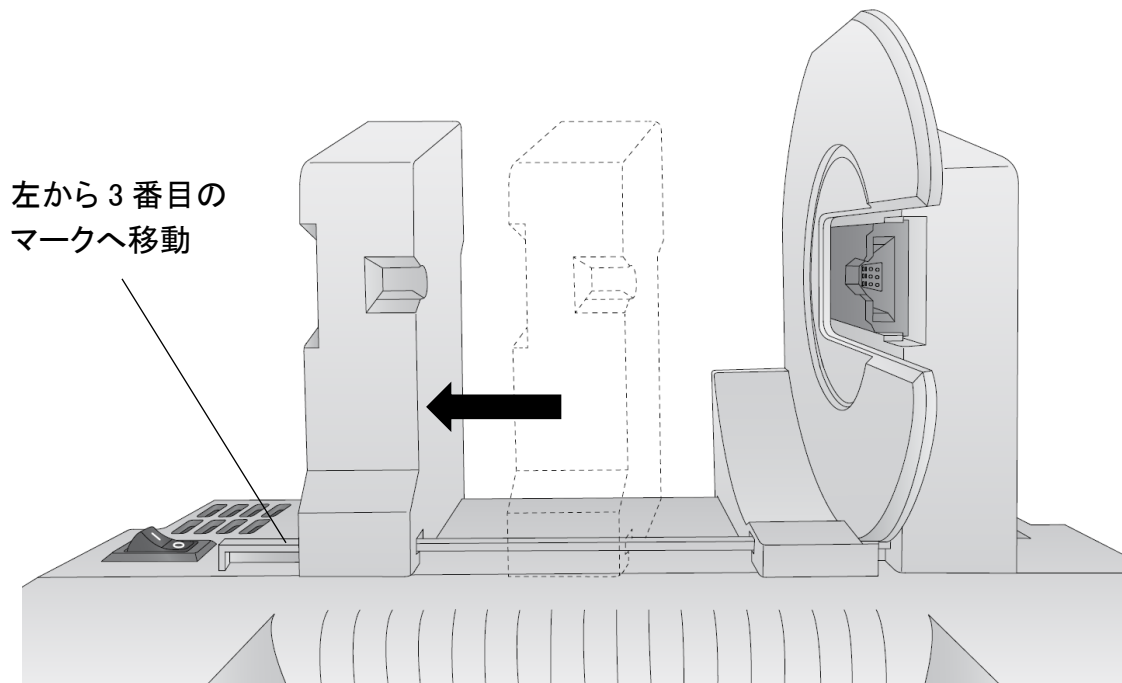
(緑色のロールハブを取り付ける必要があります)



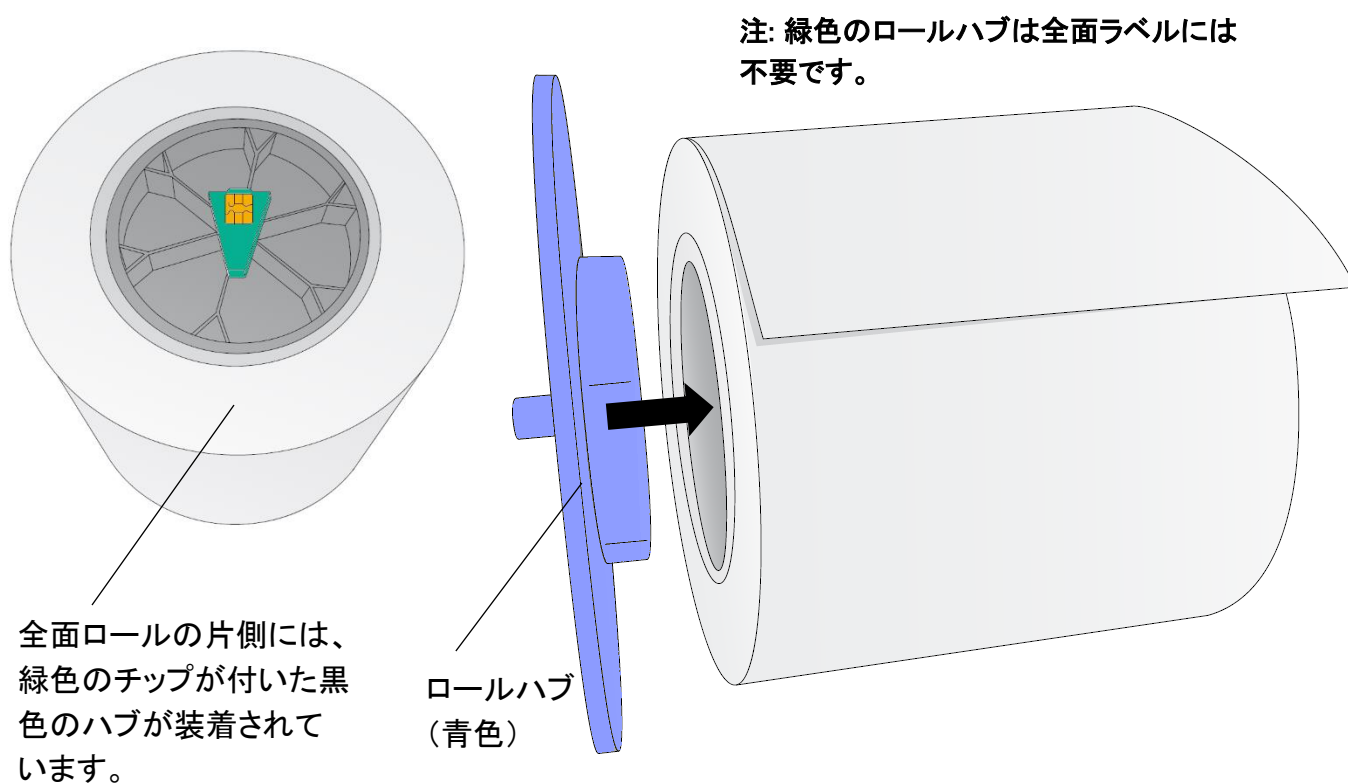
全面ラベルロール

(あらかじめハブ/チップが装着されています)

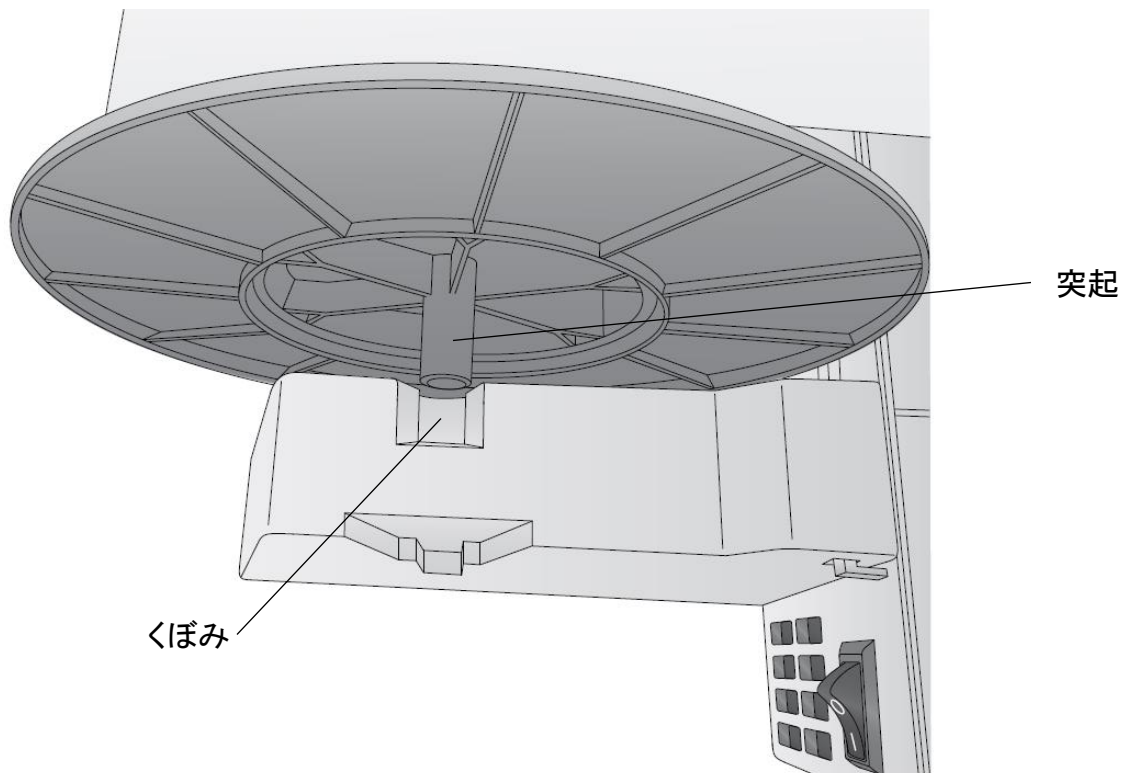
1. ロールホルダーをデジタルダイカットラベルのプリセット位置(左から3番目のマーク)に移動します。



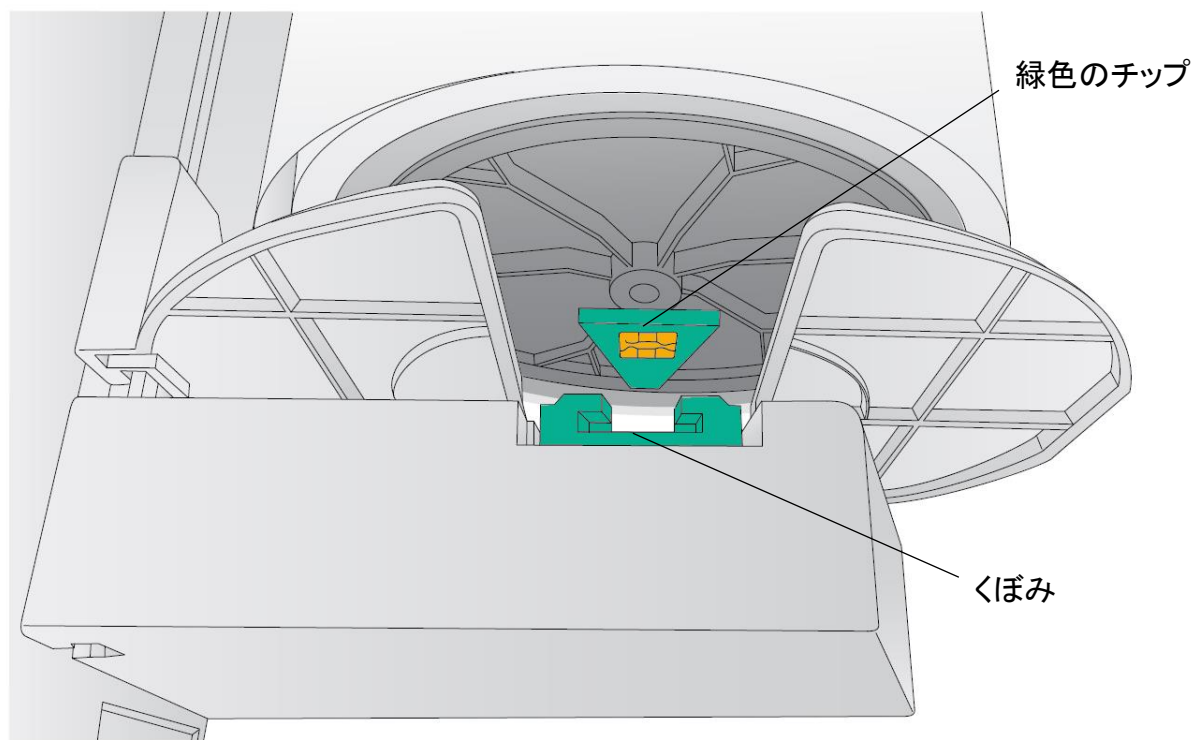
2. デジタルダイカット用紙の開いている側に青色のロールハブを取り付けます。



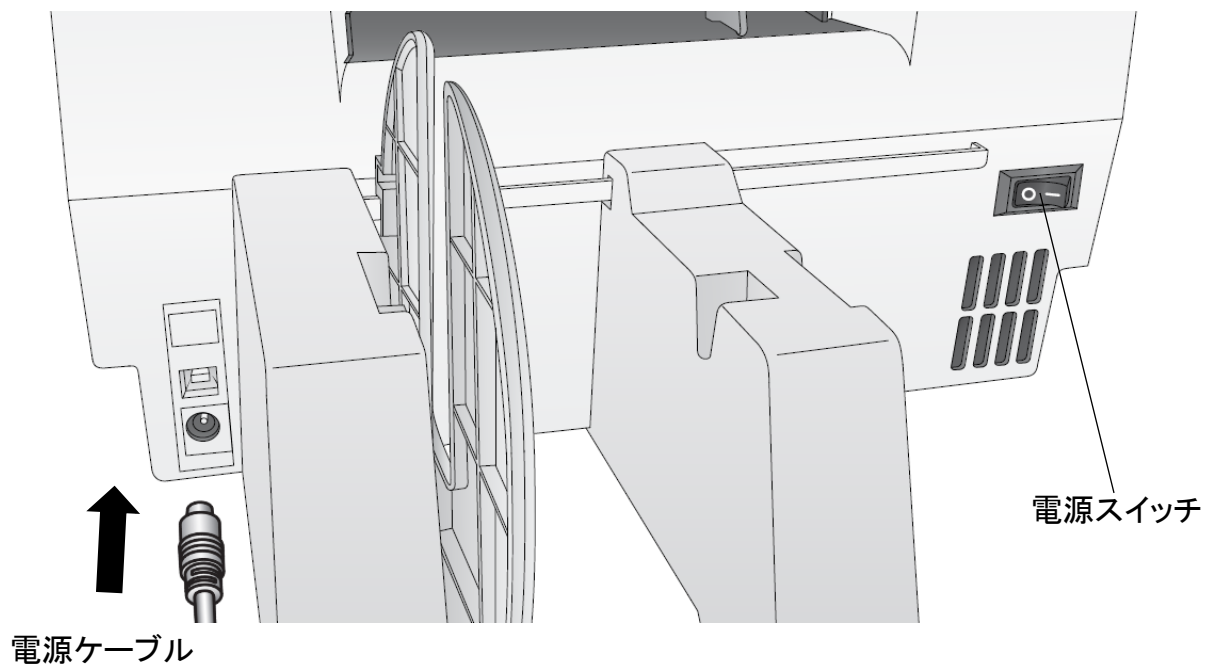
3. ロールハブ(青色)の突起がロールホルダーのくぼみに入るようにセットします。



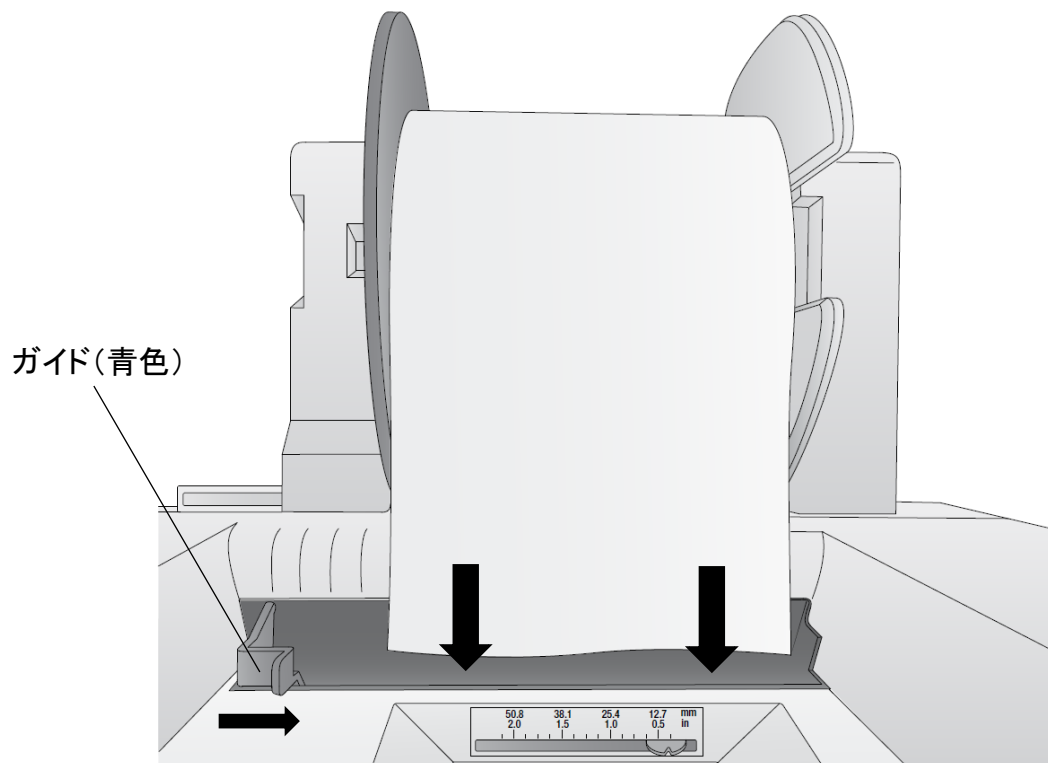
4. 緑色のチップをロールホルダーの緑色のくぼみにはめ込みます。



5. 印刷を開始する前に、電源ケーブルを差し込み、プリンターのスイッチをオンにしてください。

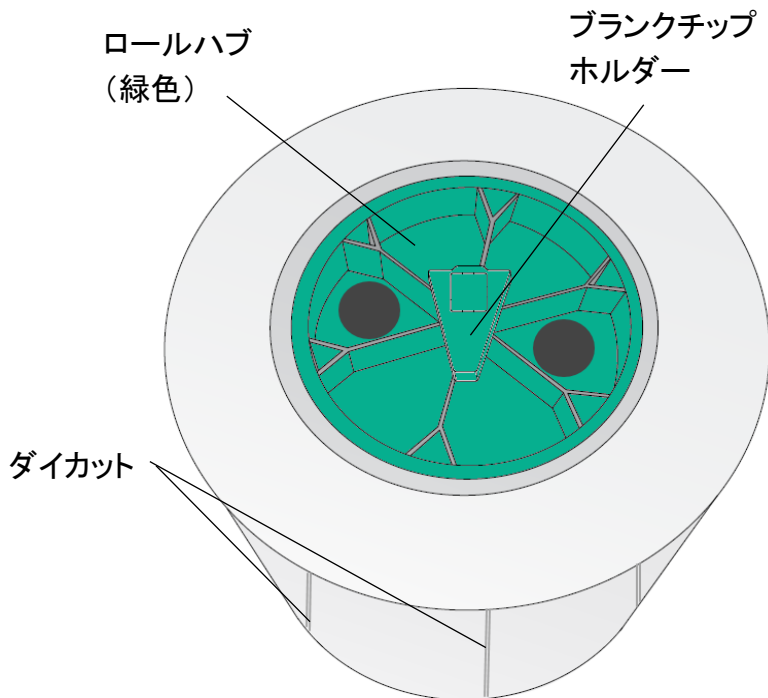


6. ロールの先端をプリンターに差し込んでください。プリンターが用紙を検出すると音が鳴りますが、そこで止めてしまわず、更にプリンターが用紙を引き込むまで挿入していきます。
7. ガイド(青色)を用紙に合わせて調整してください。



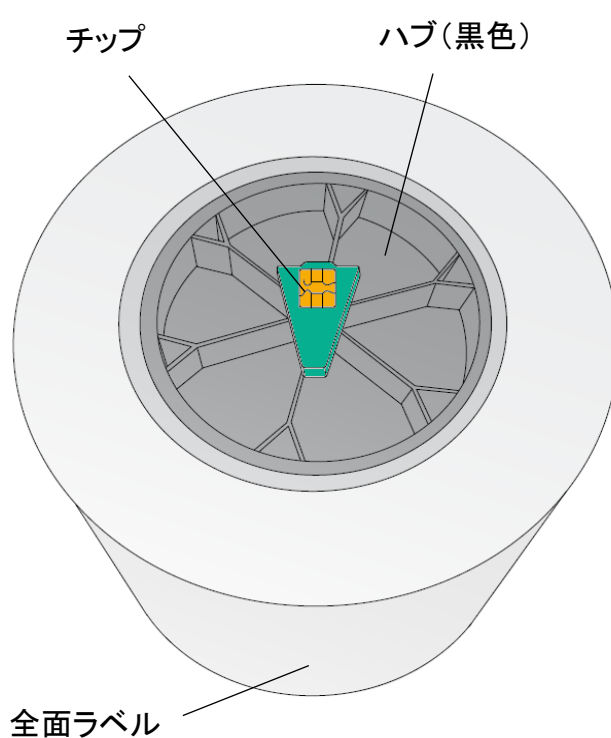
2C ダイカットラベルの取り付け

ダイカットラベル. 本機は、Primera 製以外にも様々な種類のダイカットラベルを使用できます。



ダイカットラベルロール

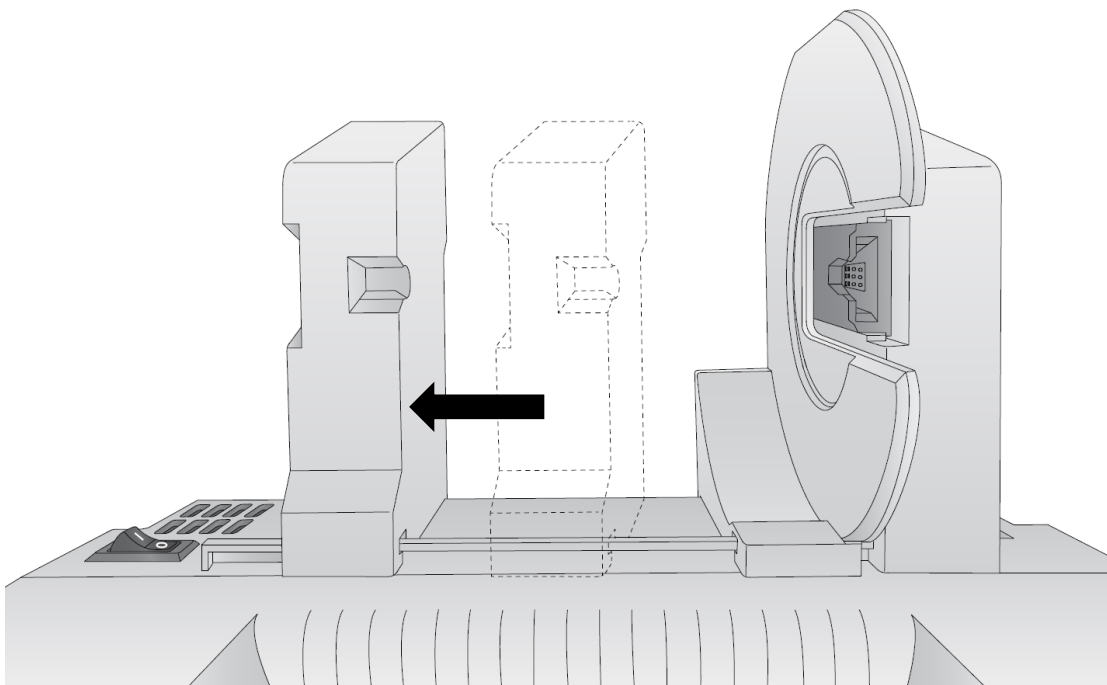
(緑色のロールハブを取り付ける必要があります)



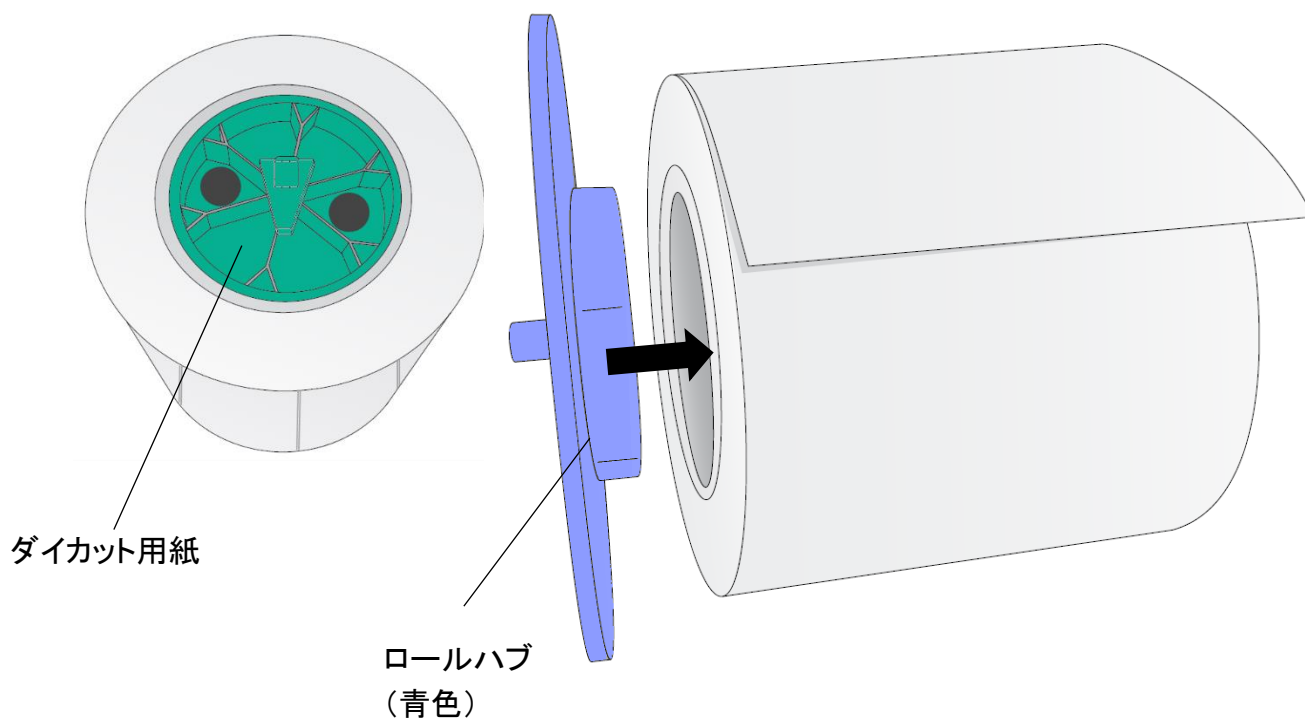
全面ラベルロール

(あらかじめハブ/チップが装着されています)

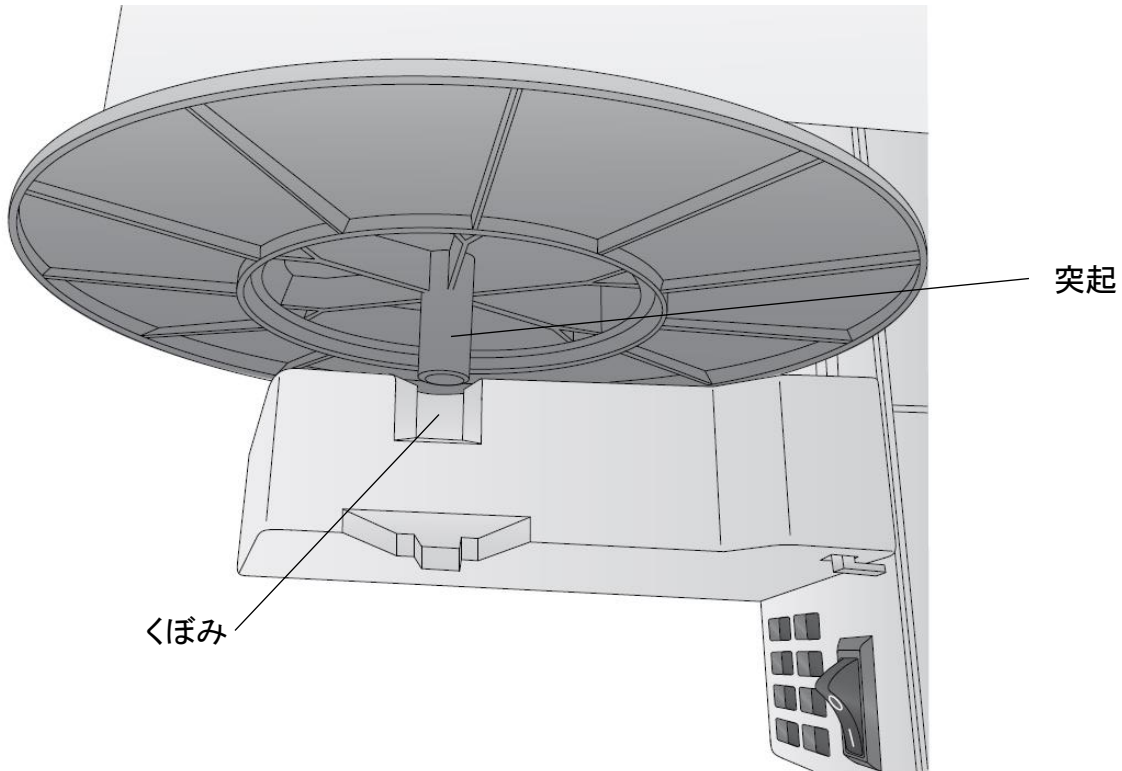
1. ロールホルダーを、取り付ける用紙の幅に合わせておおよその位置に移動します。
位置については後から調整することができます。



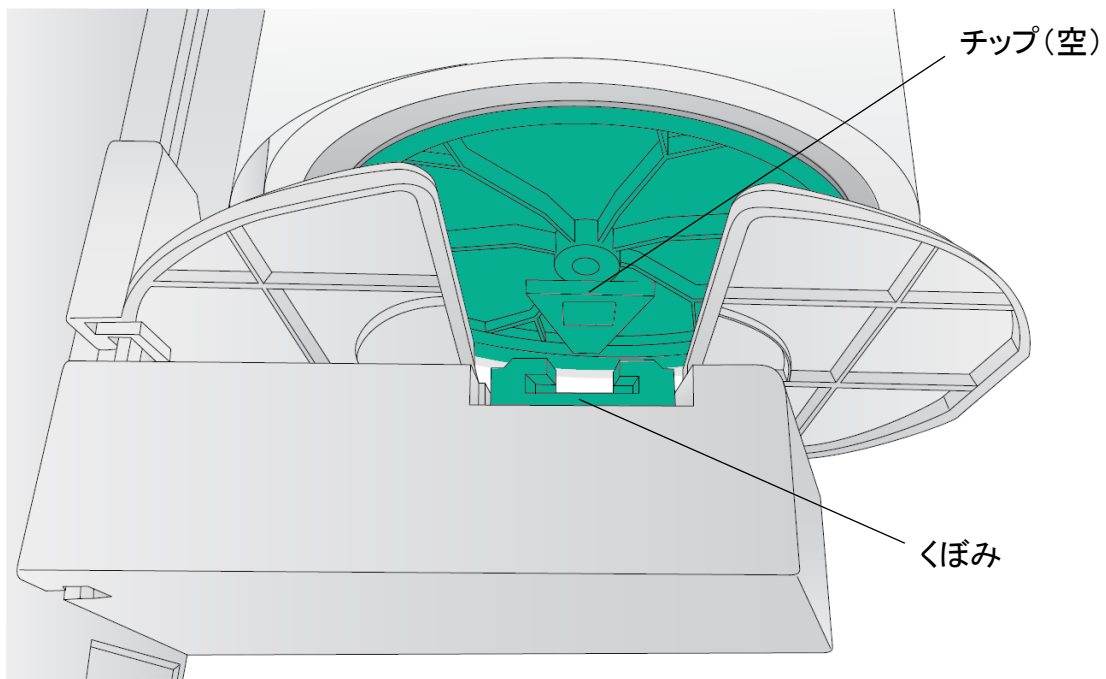
2. ダイカットラベルの右側の側面に緑色のハブを取り付けます。
3. 用紙の左側に青色のロールハブを取り付けます。



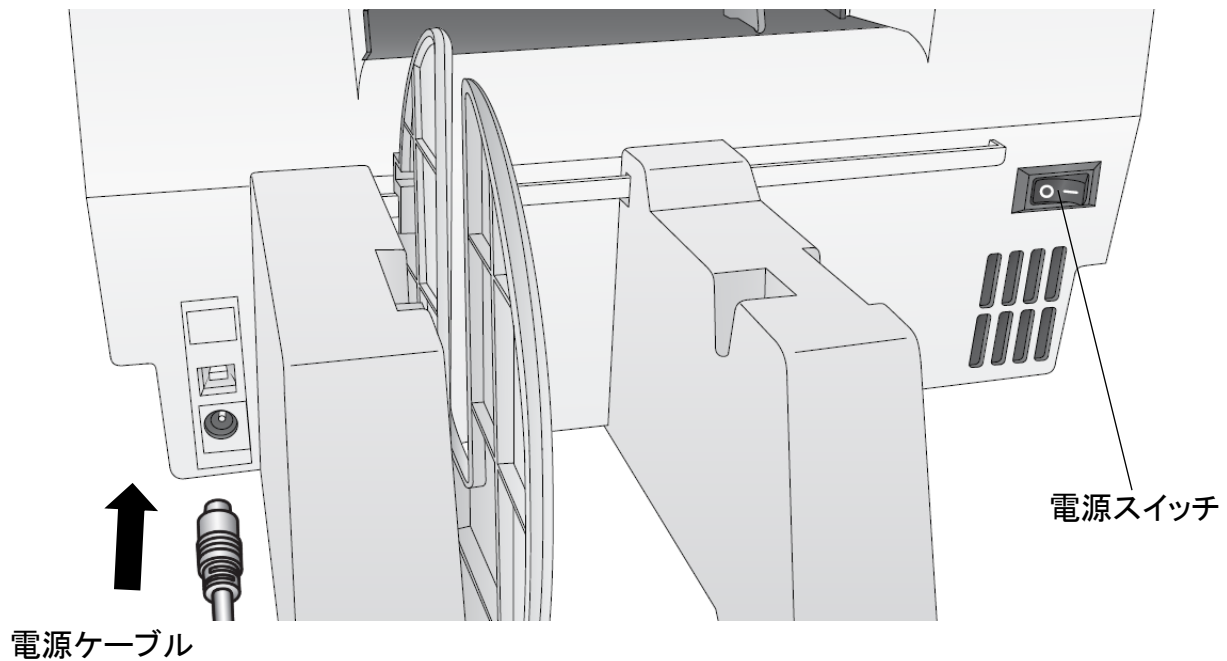
4. 青いハブの突起がロールホルダーのくぼみに入るようにセットします。



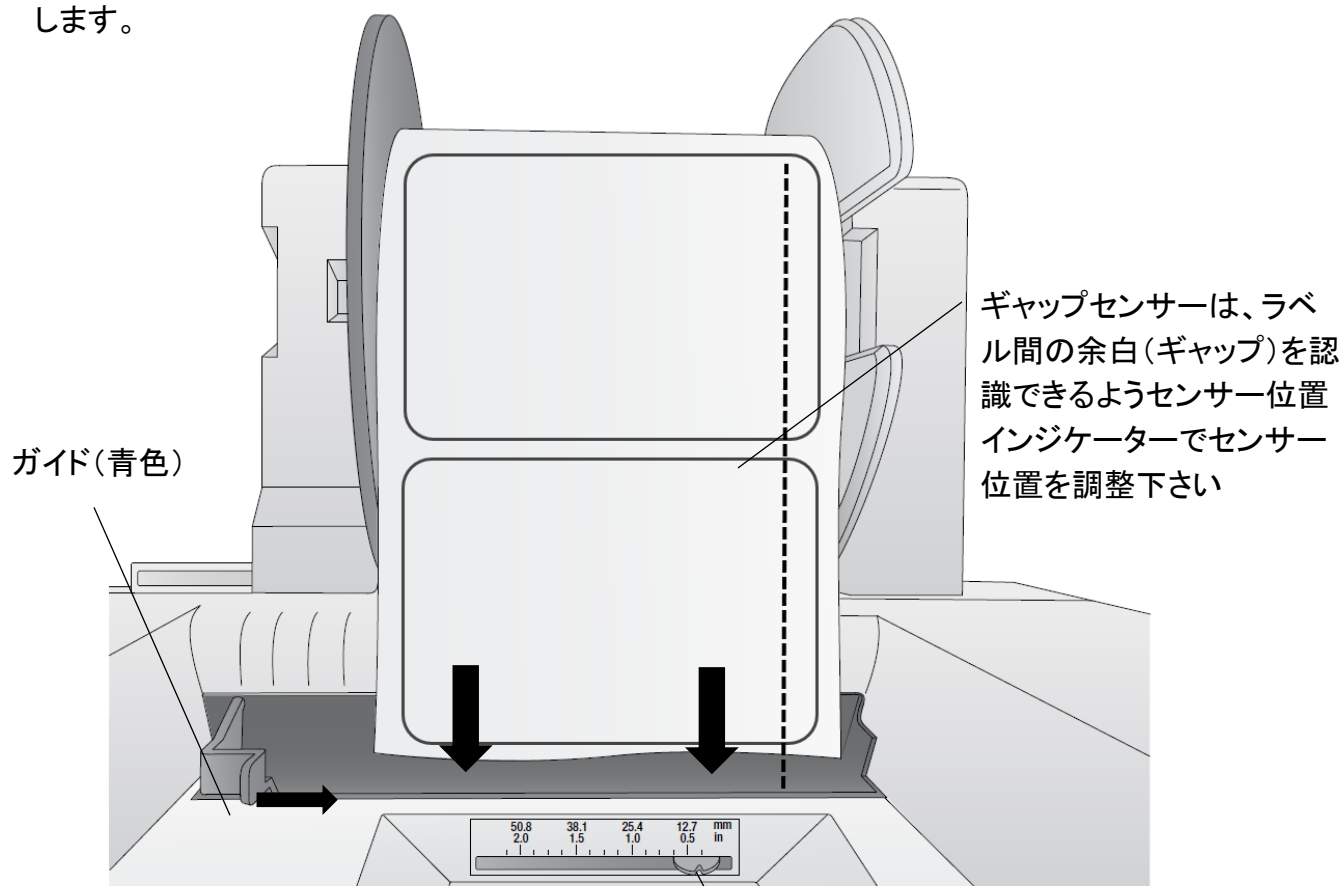
5. 空の緑色のチップをロールホルダーの緑色のくぼみにはめ込みます。



印刷を開始する前に、電源ケーブルを差し込み、プリンターのスイッチをオンにしてください。



6. ラベルの先端をプリンターに差し込んでください。ラベル幅に合わせて青色のガイドを調整します。

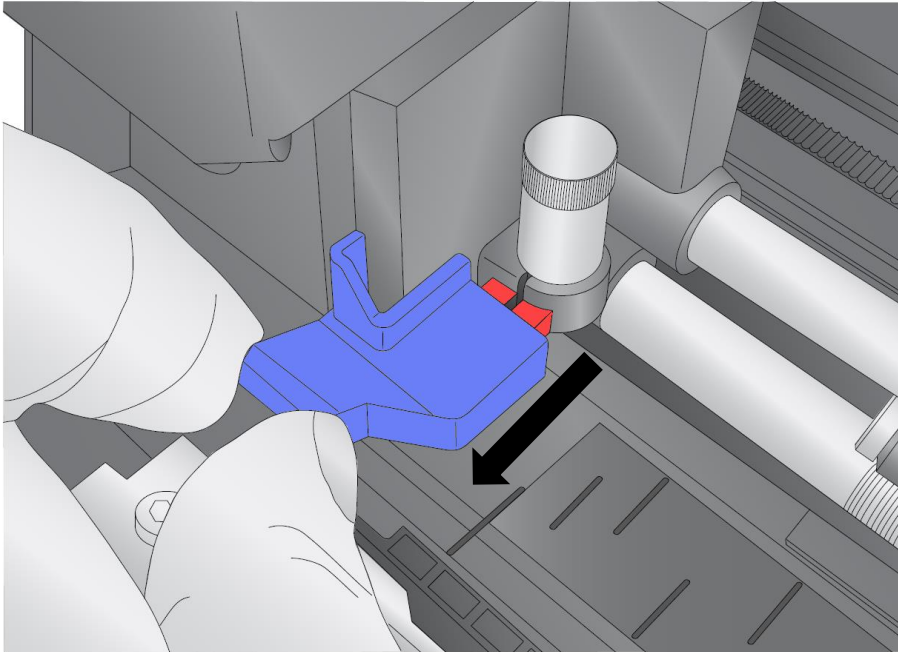


ラベルセンサーの位置に注意してください。
センサー位置インジケーターをスライドさせて、ラベルセンサー位置を調整します。ラベルセンサー位置はラベル間の余白(ギャップ)を感知できるように調整ください。
一般的なダイカットラベルの場合、特段調整する必要はありません。

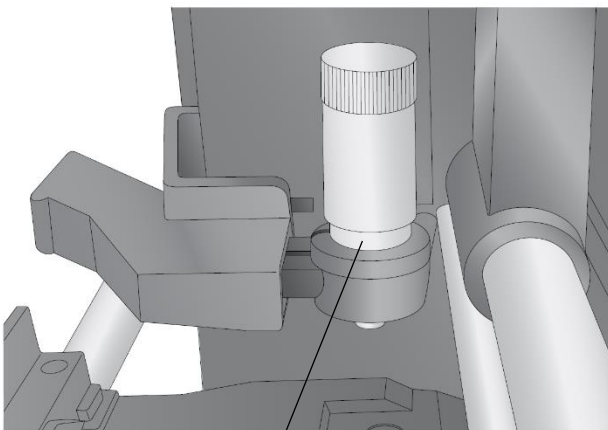
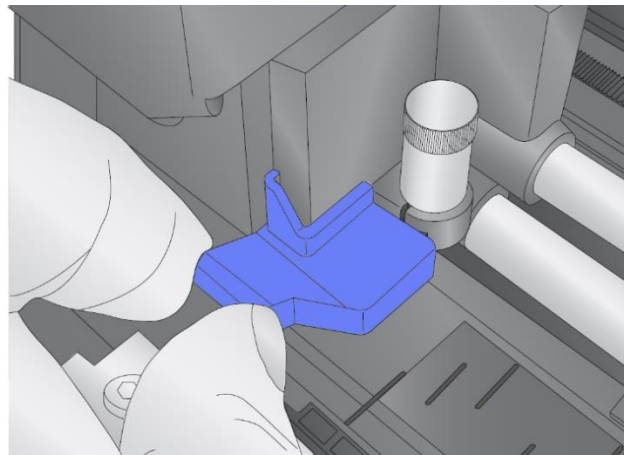
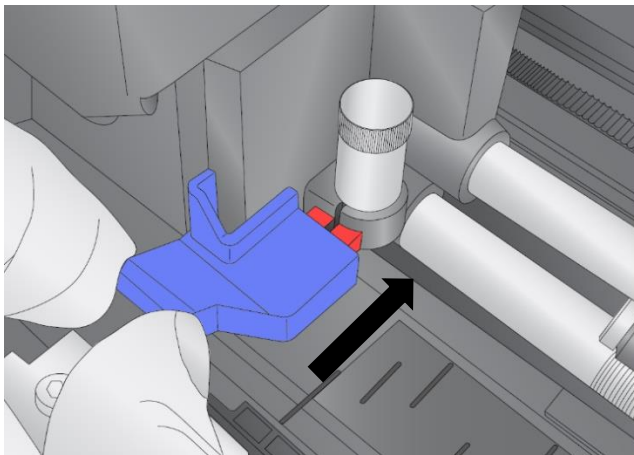
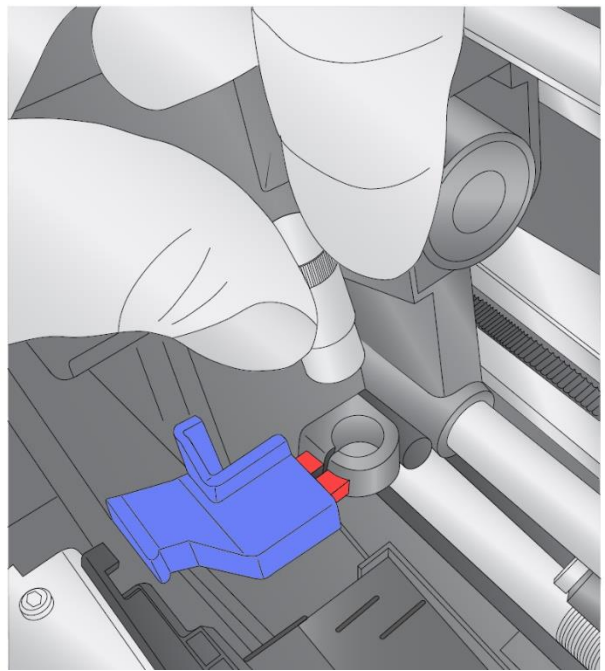
7. プリンターが用紙を検出し、内部に引き込むまで用紙を挿入していきます。

2D ブレードカッターの取付

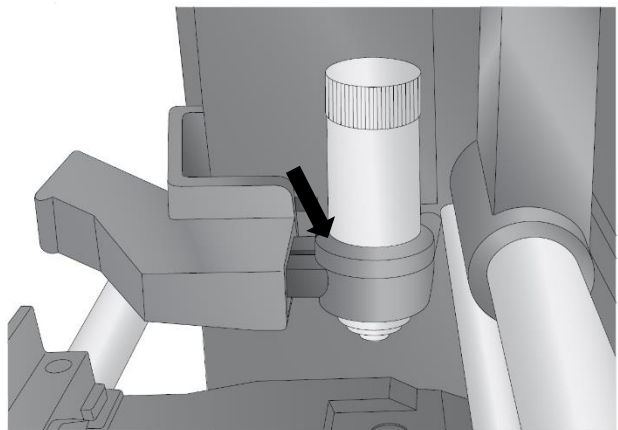
1. プリンターのカバーを開きます。
2. 青いハンドルを引き出し、下図のようにナイフカラーを緩めます。



3. ブレードカッターを取り付けます。
4. ブレードカッターを下まで完全に押し込みます。
5. カラーを戻してブレードカッターを固定します。



完全に押し込めていない状態



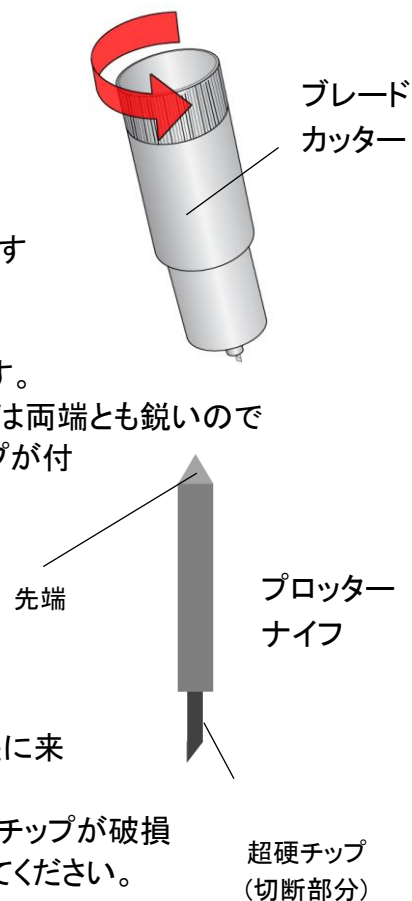
正しい状態

2E プロッターナイフの交換

プロッターナイフが消耗するとカット圧を最大にしても切断できなくなります。その場合は、プロッターナイフを交換してください。

プロッターナイフの交換は以下の手順に従ってください:

1. 2Dの説明に従って、ブレードカッターを取り外します。
2. ブレードカッターのキャップを反時計回りに回します。
3. プロッターナイフを取り外します。固い面に叩きつけて、ナイフを外すことができます。
4. 新しいプロッターナイフを準備し、プラスチックカバーを取り外します。
プラスチックカバーはナイフの切断部分についていますが、ナイフは両端とも鋭いので取扱の際は十分にお気を付けください。切断部分には、超硬チップが付いています。
5. ナ이프の切断部分をホルダーに挿入します。
6. ブレードカッターのカバーを使って、プロッターナイフの先端が中央に来るようにします。
プロッターナイフが中央に来るまで、カバーを回してください。超硬チップが破損する恐れがありますので、キャップを無理に押し込まないようにしてください。



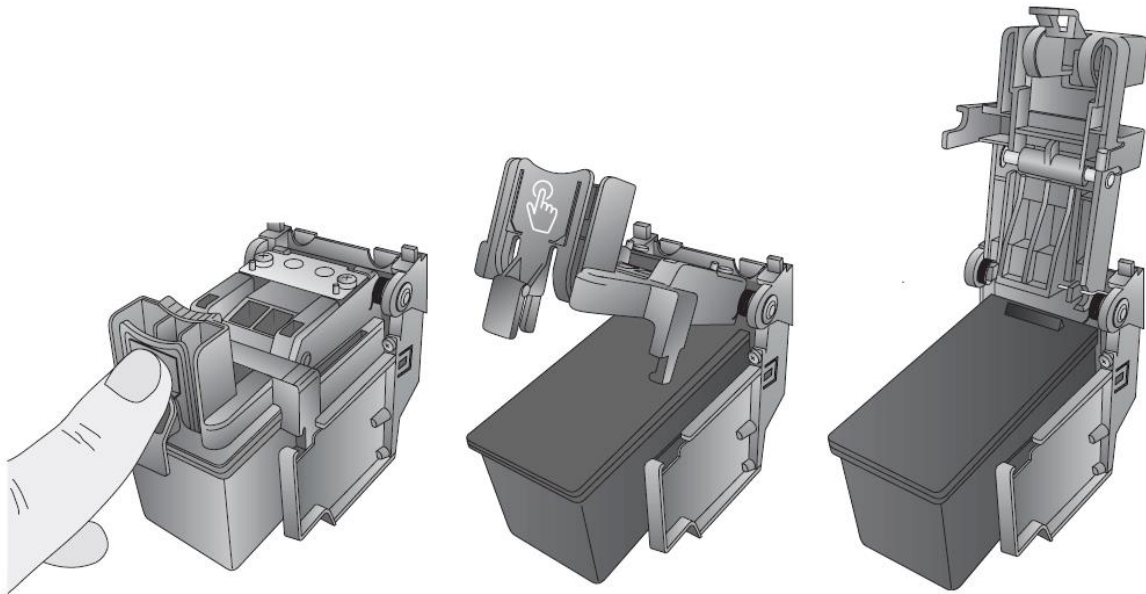
2F インクカートリッジの交換

インク残量低下のエラーメッセージが出たら、カートリッジを交換してください。

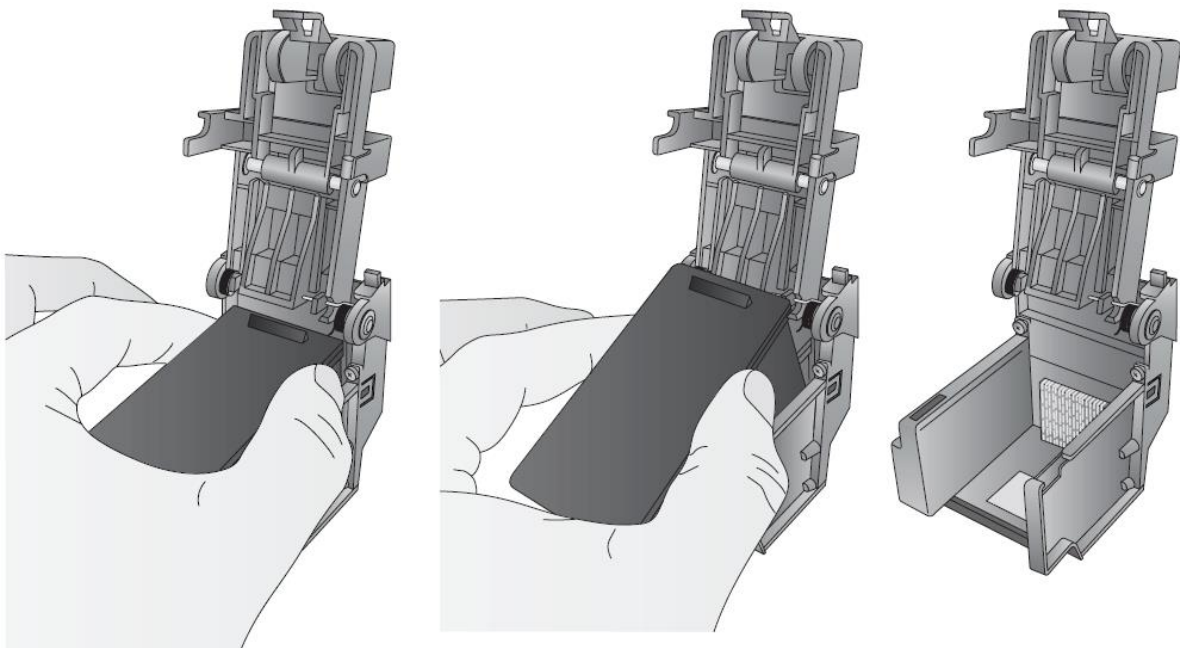
残量 10% の時と 0% の時にエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示されたら、Feed ボタンを押して用紙送りをします。

カートリッジを交換の手順は以下の通りです：

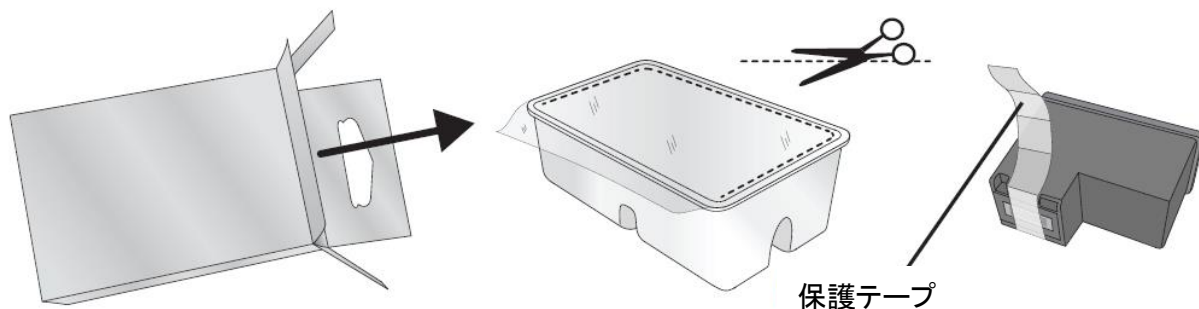
1. プリンターの前カバーを開けます。自動的にカートリッジが右側に移動します。
2. カートリッジホルダーの前面にあるタブを押します。



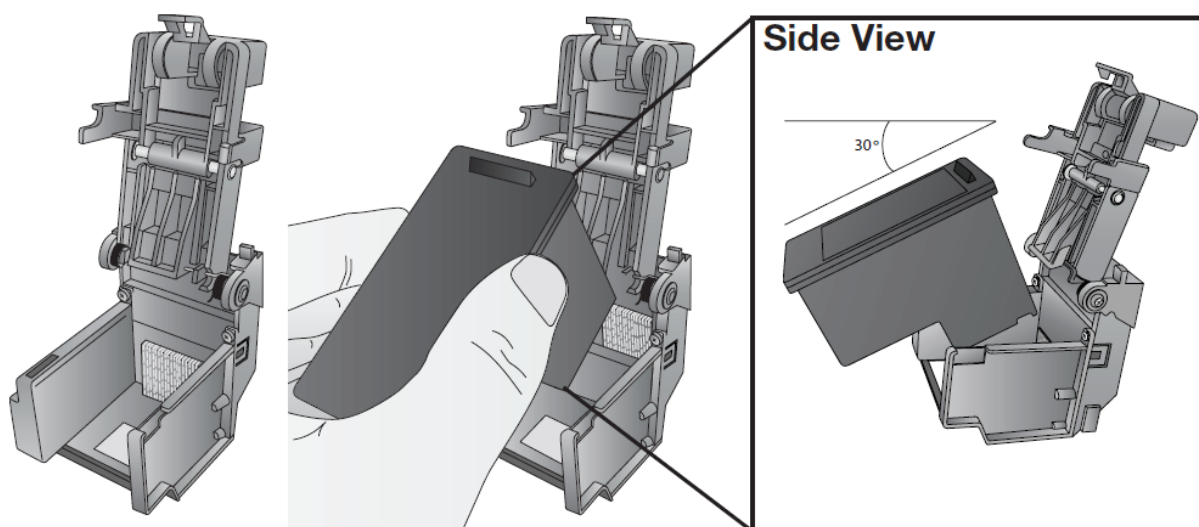
3. カートリッジを取り外します。



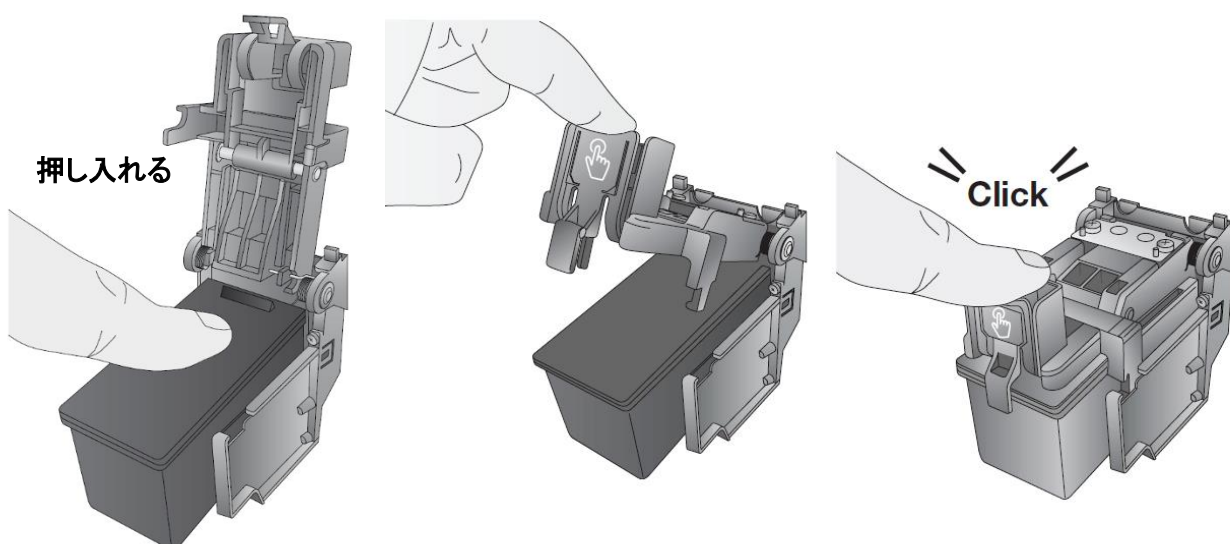
4. 新しいカートリッジをパッケージから取り出し、フィルムと保護テープを取り外します。



5. 新しいカートリッジを空のホルダーに入れます。
注:カートリッジを入れるときは、手前に少し(30度ほど)傾けてください。



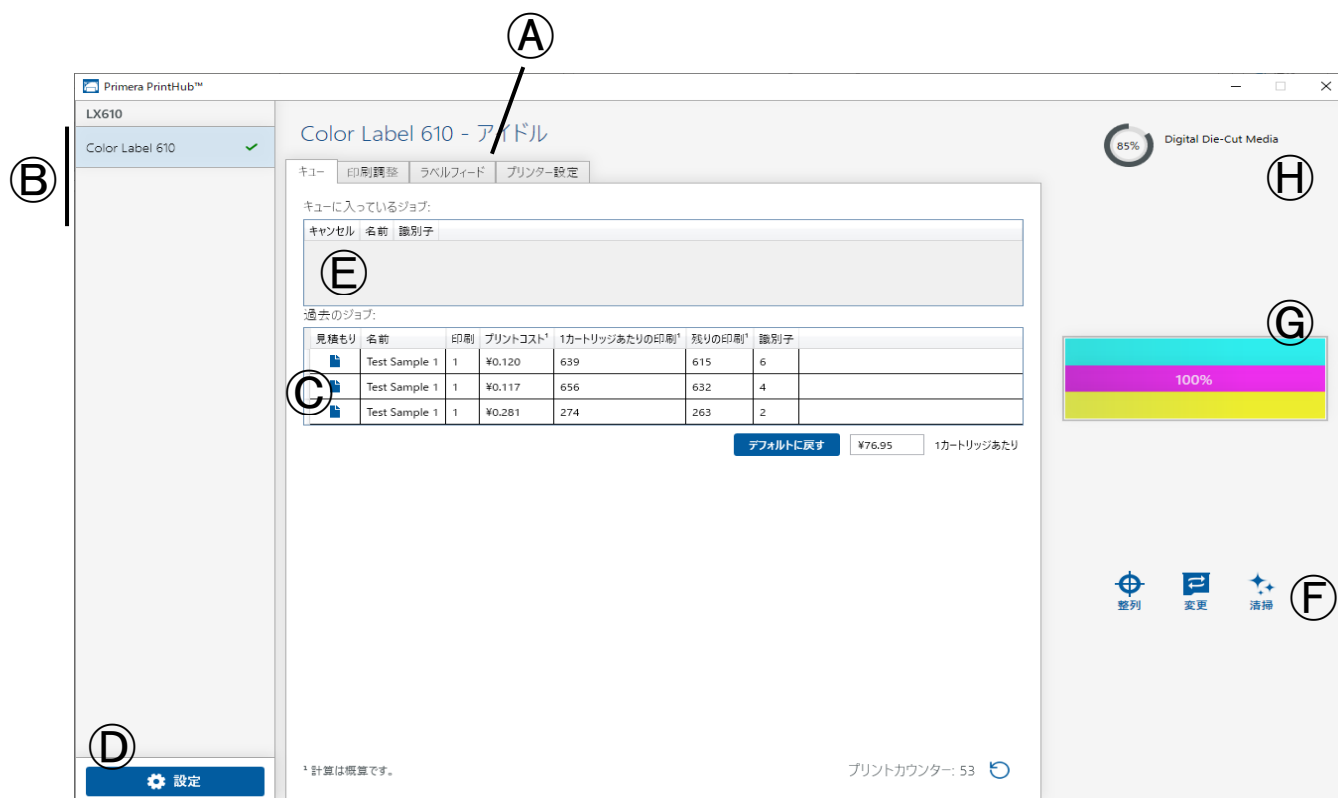
6. カートリッジをホルダーの奥までしっかり押し入れてください。
ホルダーのフタを、カチッと音がするまで軽く押しつけて閉じます。



第3章 Primera PrintHub

Primera PrintHub は、プリンターのインク残量やメンテナンス、印刷位置調整、インクコスト計算、その他いくつかの機能を管理するためのソフトです。PrintHub はドライバーと一緒に自動的にインストールされ、ドライバーの環境設定からアクセスできます。

1. USB でプリンターと PC を接続し、プリンターの電源を入れます。
2. スタート- プログラム- Primera Technology - Primera PrintHub に移動します。



- A. アライメント、センサーモード、出力モードなど詳細設定を行います。
- B. 複数の Primera プリンターが接続されている場合、ここに一覧表示されます。
- C. 過去のジョブには、過去 5 回分のジョブとインクコスト情報が表示されます。ドキュメントのアイコンをクリックすると、インクコストレポートが表示されます。
- D. アプリケーション設定を行います。
- E. 現在印刷中のジョブが表示されます。
- F. よく使う機能が表示されます。
- G. 現在のインク残量が表示されます。(10% 単位で表示)
- H. 全面ラベルの状態と残量が表示されます。(全面ラベル使用の場合)

3A XY カッター設定 カット圧とストレッチ係数の調整

カッターオフセット、カット圧、ストレッチ係数の設定は、PrintHub の XY カッターのタブで確認できます。



カットのオフセット カットズレが発生した場合、**横オフセット**と**縦オフセット**の設定で調整が可能です。「テスト印刷を送信」ボタンを押し、また下図を参考にして、いずれの方向にオフセットするかを確認してください。



カット圧 はメディアに対するカットの深さを調整します。ラベル層をしっかりと切断し、なおかつ剥離紙(ライナー)は切り取らない程度の深さが理想的です。ライナーを切り取るほど深く切ってしまうと、ラベルから剥離紙がきれいに剥がれなくなる可能性があります。またナイフの下にあるカッティングマットの交換頻度が上がってしまうため、カット圧を強く設定する事は避けてください。

初期設定ではカッターは光沢紙ロールを使用する際の設定になっています。他のメディアを使用する場合はカット圧の調整が必要になります。

ナイフストレッチ係数 はメディアの厚みや質感によって調整されます。厚みや質感はラベルによって異なりますが、それにより排出スピードを調整する必要があります。(初期設定は光沢紙ロールとなります)これにより排出されるラベルの長さを短くすることができます。

ソフト上のデザインによりも実際に排出されたラベルが長い/短いと感じた場合、ストレッチ係数を調整する必要があります。ストレッチ係数を増やすと長くなり、減らすと短くなります。

カッター消耗によるナイフ圧の調整

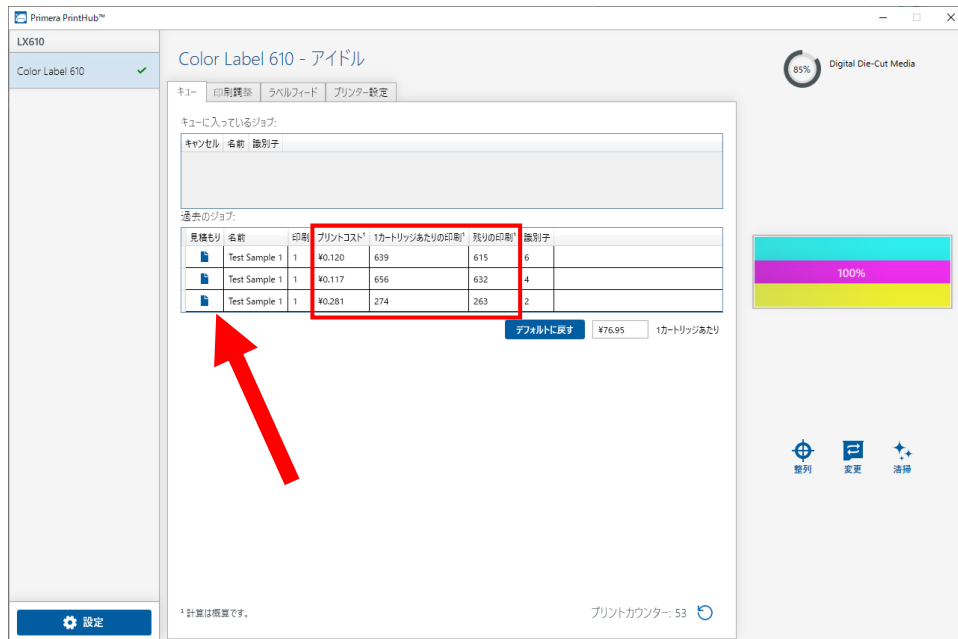
使用を続けるとブレードカッターの消耗が進むため、使い始めの時と同じラベル紙を使用する場合でも、高いカット圧が必要になる場合があります。そのため、光沢紙ラベルを使用する場合であっても、カット圧の調整が必要な場合があります。

カット圧を調整する必要があるかの判断は、以下の手順で行ってください。

1. 印刷後、ラベルを台紙から剥がそうとします。
2. 裂け目がないか確認します。ラベルをはがしたときにラベルが裂ける場合は、カット圧を上げる必要があります。台紙を切りすぎしまわないように、カット圧の数値は少しずつ上げてください。
3. ラベルを剥がした後の台紙を確認します。完全に切れてしまっている場合は、圧力を下げてください。
4. 剥がしたときにラベルが裂けないように、また台紙が完全に切れないように、カット圧を調整してください。

3B インクコスト試算の使用

インクコスト試算は、PrintHub の「キュー」タブに表示されています。直近の 5 回の印刷ジョブのインクコストがリストに表示されています。リスト下に入力したカートリッジあたりのインクコスト(実際に購入したカートリッジ価格を入力)に基づいて、各ジョブのラベルあたりのインクコストが表示されます。現在使用しているカートリッジのインク残量での印刷可能枚数と、新品カートリッジを使用した場合の印刷可能枚数の両方が表示されます。



詳細なインクコストレポートを表示するには、表示したいジョブの横にあるドキュメントアイコンをクリックします。この画面からレポートを印刷または保存できます。ドロップダウンを使用して通貨を変更したり、ジョブ名を変更したり、この画面からインクコストを調整したりすることも可能です。

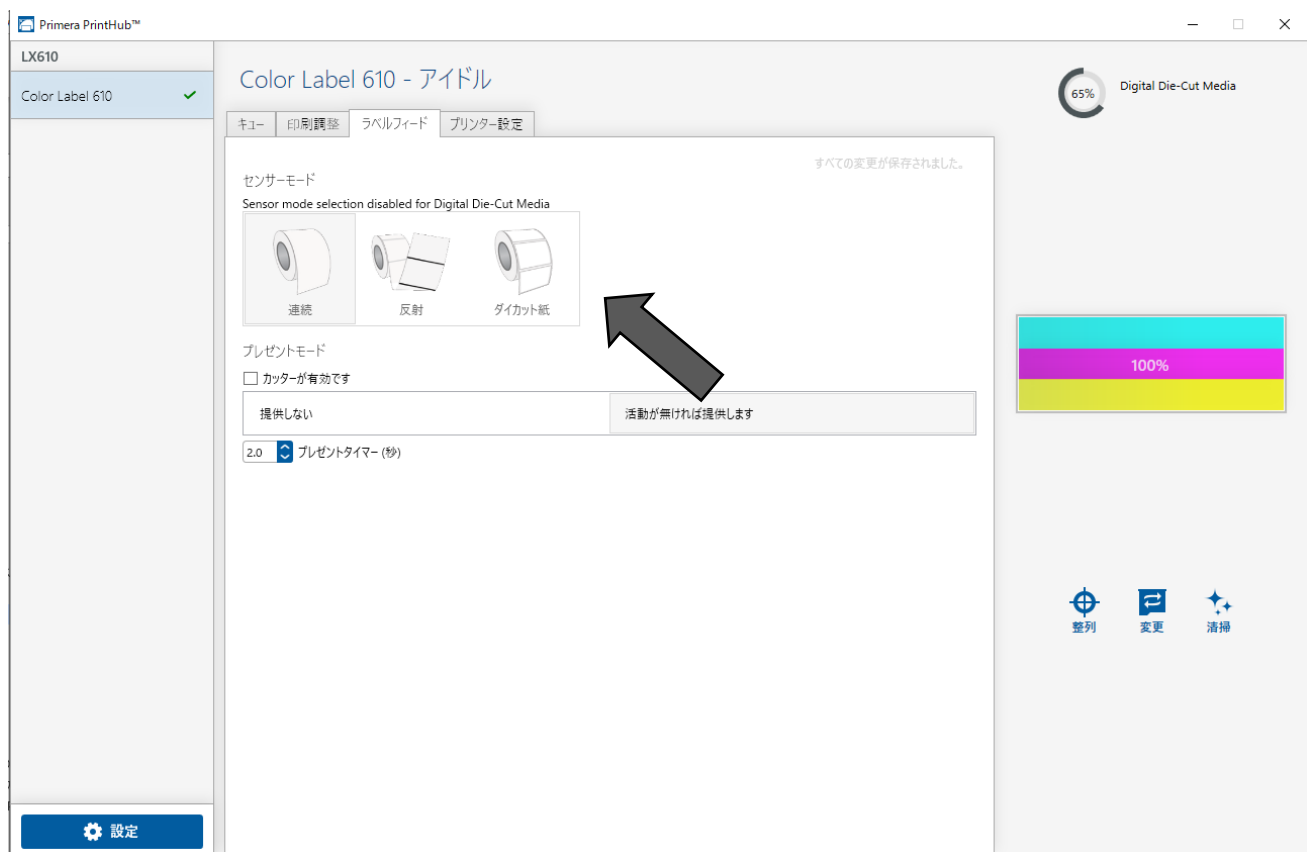


3C 余白センサーモードを設定する(ダイカットラベルの場合)

余白センサーモードとは、プリンターが各ラベルの印刷開始位置を検出するために使用する方法です。余白センサーモードを調整するには、PrintHub を開きます。ほとんどの場合、この設定の変更は必要ありません。

初期設定では、標準的なダイカットラベルを感知するように設定されています。透明または背面にブラックマークのあるダイカットラベルを使用する場合は、この設定を変更する必要があります。全画面ラベルを挿入すると、この設定画面が自動的に表示されます。

1. USB ケーブルでプリンターと PC を接続し、電源を入れます。余白センサーモードの設定は、プリンターの内部メモリーに保存されるため、プリンターの電源が入っていて PC と正常に通信していないとアクセスできません。
2. スタート- プログラム- Primera Technology - Primera PrintHub に移動します。
3. Label Feed(左から 3 番目のタブ)をクリックします。
4. 設置しようとするラベル紙に最も近い画像をクリックして、余白センサーモードを選択します。
5. センサーモードを設定したら、ラベル紙をセットします。



センサーモードは 3 つあります:

ダイカット紙(初期設定): 画像のような標準的なダイカットラベルを使用する場合は、ラベルのサイズに関係なくこの設定を使用します。

反射: ラベル紙の裏側に、ラベル間の間隔を示す黒い線(ブラックマーク)があるラベルを使用する場合は反射モードを使用します。透明ラベルや台紙の左側に余白があるラベルには、裏側にブラックマークがあらかじめ印刷されている必要があります。ブラックマークは、不規則な形状のラベル、直径 4 インチより大きい円ラベル、またはラベル自体では印刷開始位置を感知できないラベルにも使用できます。

連続(センサーオフ): ダイカット、ブラックマーク等のない全面ラベルを使用する場合は、連続モードに設定します。これで余白センサーがオフになります。このモードでは、印刷開始位置を設定しません。プリンターは、最初のラベルを印刷し、その直後に次のラベルを印刷します。印刷間に余白を作るには、印刷中のラベルデザインの端に必要な大きさの余白を追加するだけです。全面ラベルを挿入すると、自動的にこの設定に切り替わります。

3D カットモードを設定する

[Present Mode]を使用して、プリンターが印刷後にラベルがカットされるかどうかを調整します。カットモードを設定するには、PrintHub を開きます。

1. USB ケーブルでプリンターとPC を接続し、電源を入れます。Output/Cut Mode 設定はプリンターのメインボードに保存されているため、プリンターの電源を入れてPC と正常に通信しないとアクセスできません。
2. スタート- プログラム- Primera Technology - Primera PrintHub に移動します。
3. 「Label Feed」タブをクリックします。
4. カッターが有効になっているか、無効になっているかによって、異なるオプションが表示されます。カッターが無効になっている場合、ラベルのカットオプションが表示されず、カッターを有効にすると、カットオプションが表示されます。

カッターオプション(カッターが有効な場合)



ボタンを押した後、カットします： このオプションを選択すると、プリンターの Feed(フィード)ボタンを押した後にカットされます。

ラベルカウント後にカット： このオプションを選択すると、指定したラベル数の印刷が終了した後に切り取られます。

活動が無ければ、カットします： このオプションを選ぶと、キュー内の最後の印刷ジョブ終了後、1秒以内に次の印刷ジョブを受信しない場合にカットされます。複数印刷の場合や、キュー内の複数のジョブの最後にカットできます。

ラベルごとにカットします： このオプションを選ぶと、すべてのラベルごとにカットされます。

カッターオプション(カッターが無効の場合)



提供しない:このモードでは、最後のラベルが印刷された後でもラベルは移動しません。つまり、最後に印刷されたラベルの一部はプリンターに残ったままとなります。これは、ラベルリワインダが装着されている場合にのみ使用する必要があります。

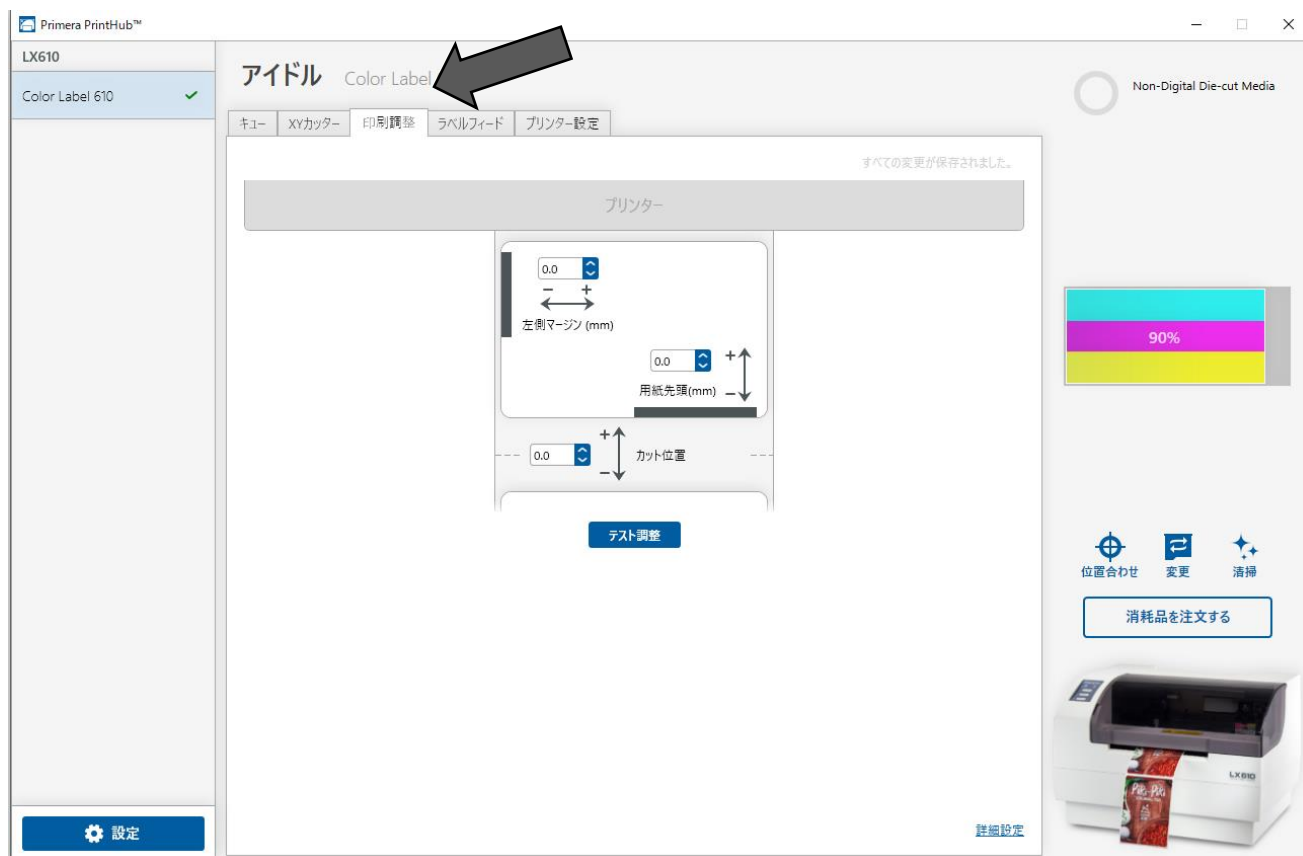
活動が無ければ提供します:この設定は、プリンターがキュー内の最後の印刷ジョブ終了後 1 秒以内に次の印刷ジョブを受信しない場合、印刷ジョブの最後に表示されます(印刷されたラベルがすべて前面から排出されます)。この機能を使用して、複数コピージョブ、複数ページジョブ、またはキュー内の複数の個々のジョブの終了時にプレゼンテーションを行うことができます。

3E プリントアライメントの調整

LX610 は光センサーでラベルの先頭を検知し、上下左右の端まで印刷することができます。そのため、特定の種類のラベルで動作するようにプリンターを調整する必要があります。

LX610 は、標準ラベルの端まで正確に印刷するように工場出荷時に調節されています。ただし、左側の余白やその他の変数の変動により、各ロールの開始時にこれらの設定の微調整が必要な場合があります。特に標準ラベル以外のラベルを使用する場合は必要となります。

PrintHub を使用して印刷位置を調整します。印刷調整 タブ(2 番目のタブ) に移動します。



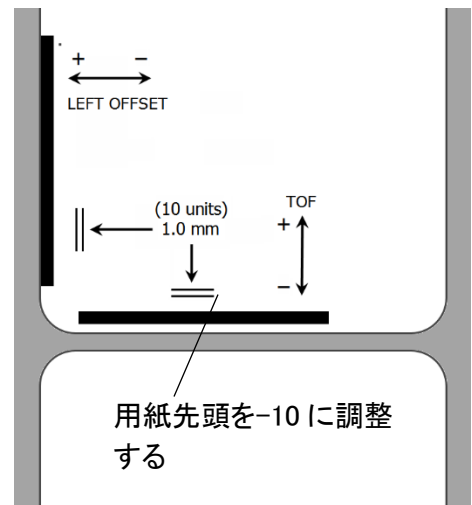
スキャンエッジを調整するには右下の「詳細設定」を押して下さい。初期設定ではプリンターはメディアの端をスキャンしてスタート位置を認識しますが、メディアによってはスキャンがうまくいかないケースもあります。その場合、スキャンエッジのチェックボックスを外してください。

スキップ数の初期値は1ラベルとなっていますが、カウントを増やしたり減らすことによってスキャンの頻度を変更することができます。



「テスト調整」をクリックして、右側に表示されているアライメントを印刷します。印刷されたものを見て、余白スペースを確認します。黒い2重線が、ラベルの下縁と左端に印刷されている必要があります。右図の例では、用紙先頭(mm)には約-10が必要です。

1. **左側マージン(mm)**: この値は、印刷されたラベルを左右に調整します。現在値を大きくすると印刷ラベルが右に移動し、小さくすると、左に移動します。
2. **用紙先頭(mm)**: この値は、ラベル上の印刷開始位置を上下に移動します。現在の値を大きくすると印刷ラベルが下(前方)に移動し、小さくすると、上(後方)に移動します。値を設定するとすぐに自動的に保存されます。調整後、テスト調整ボタンをクリックして、テストパターンを印刷し、適切に調整されているかを確認してください。
3. **カット位置**: この値は、最後に印刷されたラベルが、切り離しのために提供されたときの位置を調整します。出力モードが「ラベルを提供 (Present the label)」に設定されている場合にのみ適用されます。現在の値から増やすと、切り離し位置がプリンターに近づきます。現在の値から減らすと、切り離し位置がプリンターから遠ざかります。値の調整後、「設定」ボタンをクリックして値をプリンターに送ります。

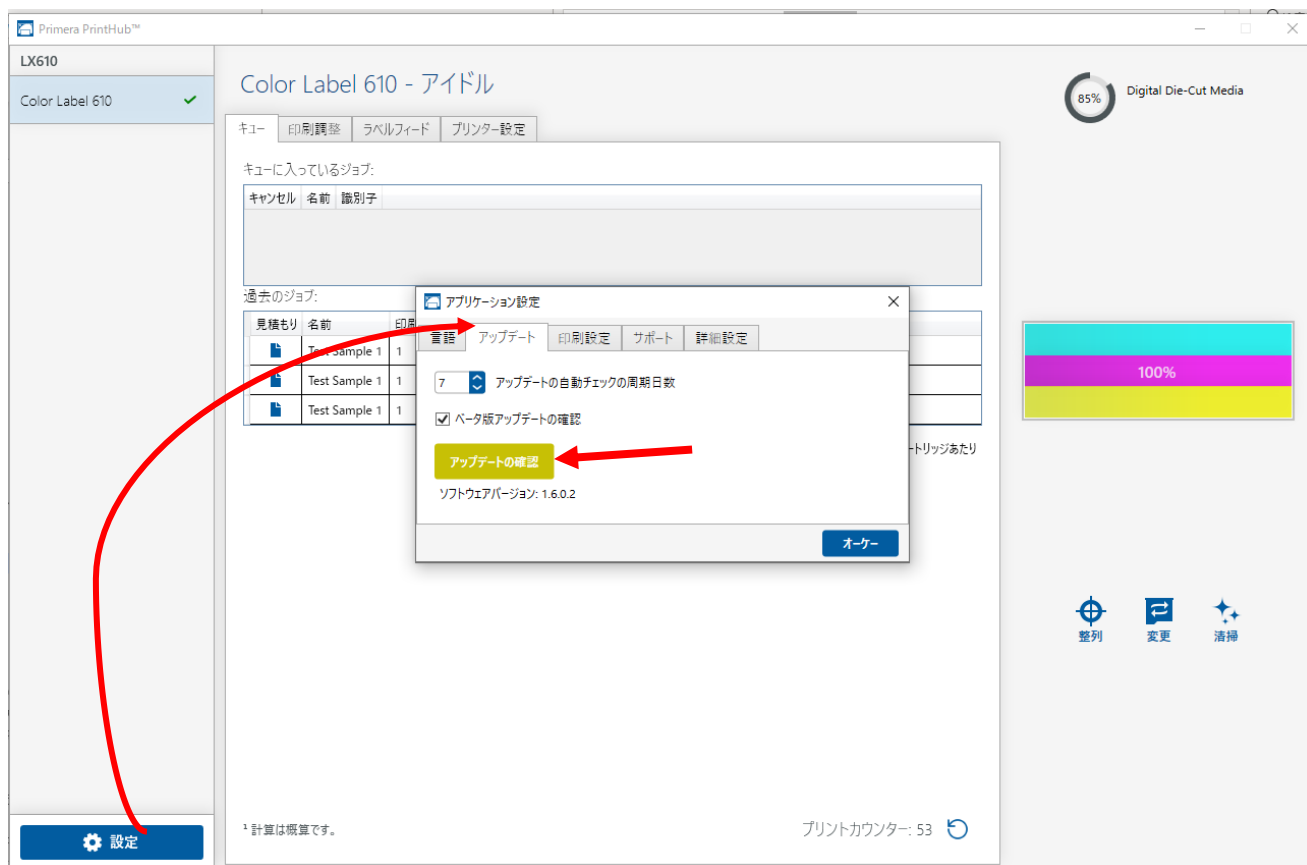


3F PrintHub の設定

ソフトウェアとプリンターの一般的な設定は、左下の青い「設定」ボタンをクリックすると確認できます。プリンターの詳細設定は、「プリンター設定」タブで行います。

言語: 言語はオペレーティングシステムの言語設定と同じに設定されています。ただし、言語タブで通貨設定を変更することはできません。

アップデート: PrintHub、プリンタードライバー、プリンターファームウェアは自動的に更新されます。新しいバージョンがある場合は、7 日ごとにソフトウェアを更新するよう求められます。「アップデートの確認」ボタンをクリックすると、手動でアップデートをチェックすることもできます。ベータ版ソフトに更新したい場合は、「ベータ版アップデートの確認」ボタンをクリックします。

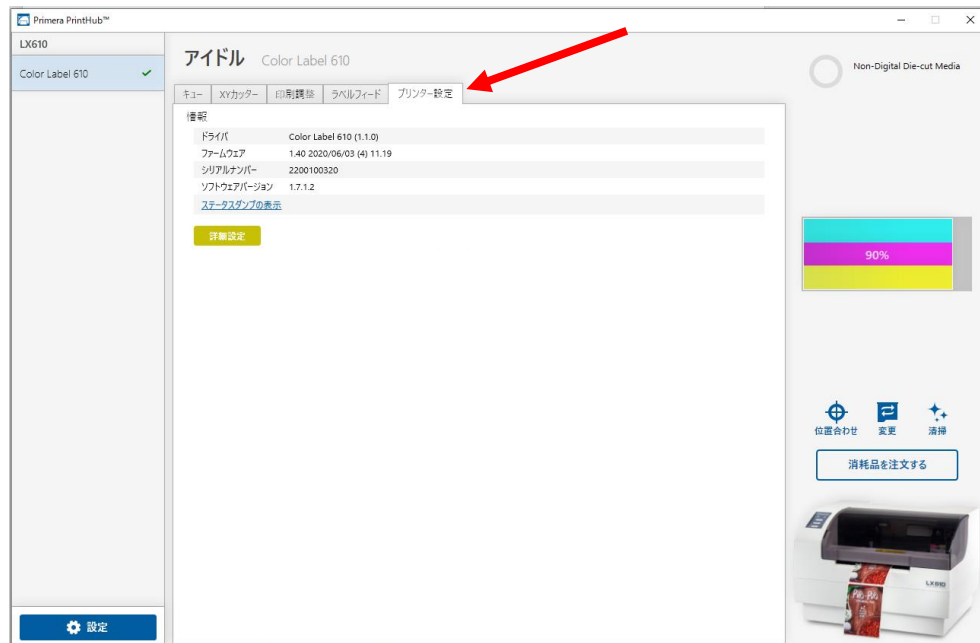


印刷設定: 「印刷完了後にこのアプリケーションを閉じる」にチェックを入れると、印刷完了後に PrintHub を閉じることができます。印刷ジョブをプリンターに送信するたびに PrintHub が自動的に開きます。PrintHub を PC 上で他プログラムの前に開かないようにする場合は、「印刷中に最小化」をチェックしてください。

サポート: 「Generate Support Report」ボタンをクリックすると、最近のすべてのログファイルが入った zip ファイルがデスクトップに現れます。これをサポートセンターに送ることで、印刷上の問題の解決に役立てることができます。

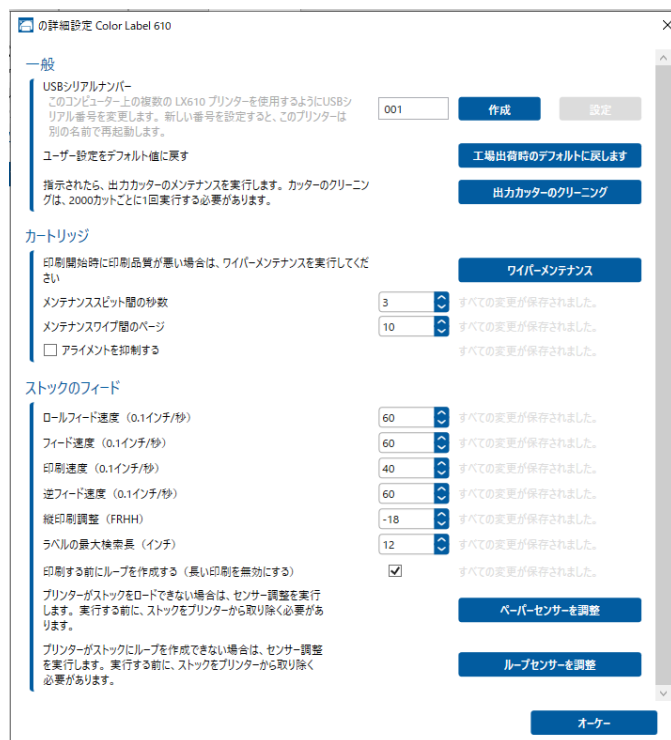
3G PrintHub プリンター設定

プリンター設定は、PrintHub の「プリンター設定」タブで行います。



このセクションには、現在のドライバー、ソフトウェア、ファームウェアのバージョンが表示されます。

詳細設定: 詳細設定をするには詳細設定ボタンを押して、以下の設定を表示します。



一般

3G1.複数プリンターのサポート

同じ PC に複数のプリンターをインストールして、同時に使用することができます。その場合、2 台目以降のプリンターの USB シリアル番号を変更する必要があります。

シリアル番号の変更方法:

1. 新しいプリンターを 1 台ずつ接続します。現在の USB シリアル番号が表示されます。
2. 「作成」をクリックします。現在接続されているプリンターに基づいて、次に使用可能な USB シリアル番号が表示されます。最初のプリンターでは 2、次のプリンターでは 3 というように設定します。
3. 「設定」をクリックします。プリンターのリセットが開始され、設定ウィンドウがグレーに変わります。リセットが完了すると、設定ウィンドウが再度入力可能になります。
4. 次のプリンターを接続してください。自動的に新しいプリンター用のドライバーがインストールされ、新しいプリンター名が Color Label 610(Copy 1)となります。Windows のプリンターリスト上のプロパティからプリンター名を変更することが可能です。
5. 左側の列に 2 つ目のプリンター(Color Label 610(Copy 1))が表示されます。このプリンターの詳細を確認する場合はプリンター名をクリックしてください。さらにプリンターを追加接続する場合は、手順 2-4 に従ってください。

工場出荷時のデフォルトに戻します:すべてのプリントアライメントおよびその他の設定が工場出荷時の初期設定に戻ります。

カートリッジ:ここでは、カートリッジ設定を調整できます。「メンテナンススピット間の秒数」の値を上げると、インクの使用量が減少しますが、同時に印刷品質が低下する可能性があります。メンテナンスワイプ間のページを増やすと、印刷速度が速くなりますが、同時に印刷品質が低下する可能性があります。

「アライメントを抑制する」をチェックすると、新しいカートリッジが取り付けられるたびにカートリッジの位置合わせを促すウィンドウが表示されないようになります。カートリッジ交換後すぐに印刷が開始できますが、印刷品質が低下する可能性があります。

ストックのフィード:これらの設定は、サポートセンターから指示された場合にのみ調整してください。

TOF エラーを受信している場合は、用紙センサーを校正します。校正を行う前にプリンターからすべての用紙/ラベル紙を取り出してください。

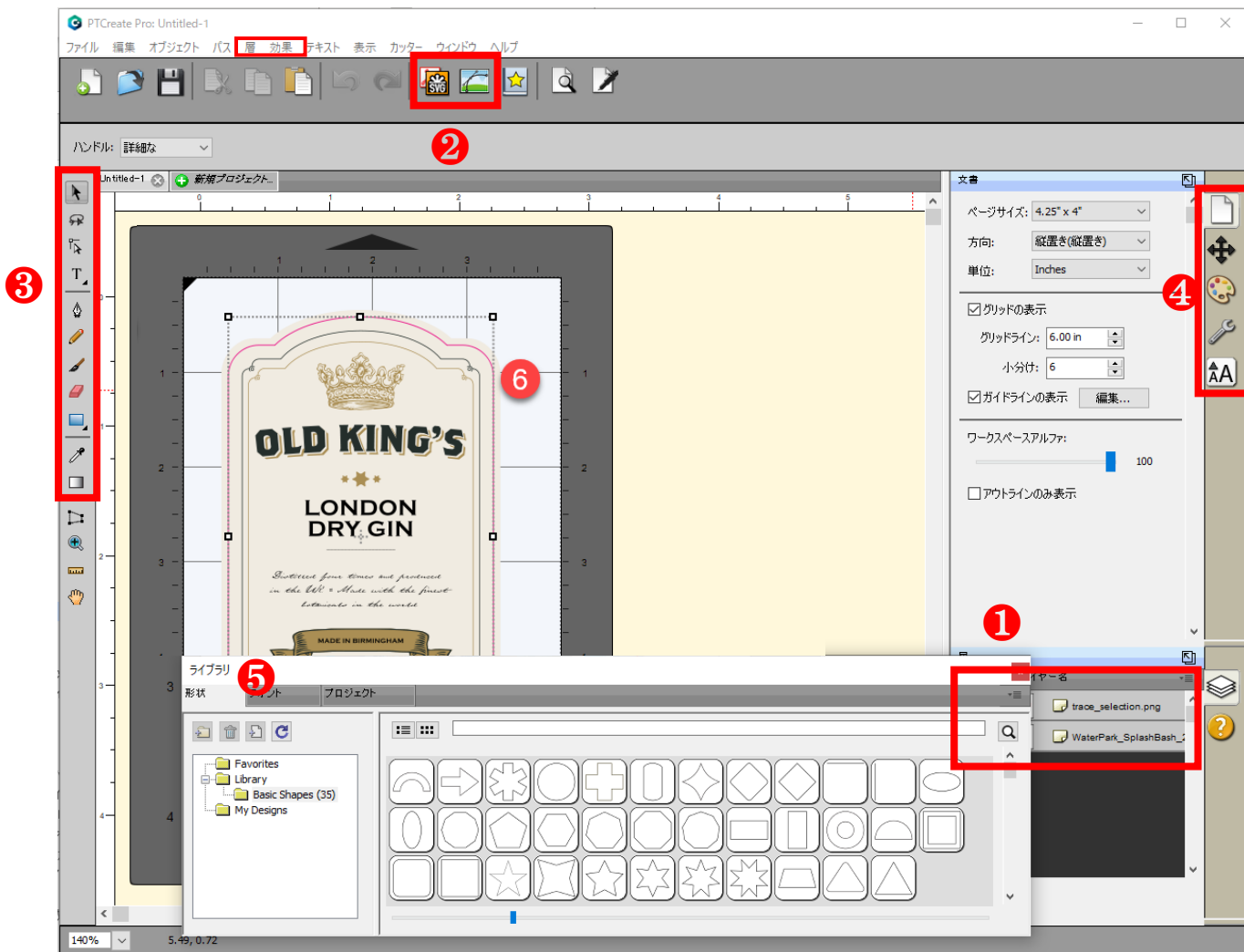
第4章 PTCreat を使用した印刷・カット

PTCreate は、LX610 のプリント・カットのレイアウト専用ソフトです。「印刷のみ」、「カットのみ」、「印刷とカット」いずれも設定できます。

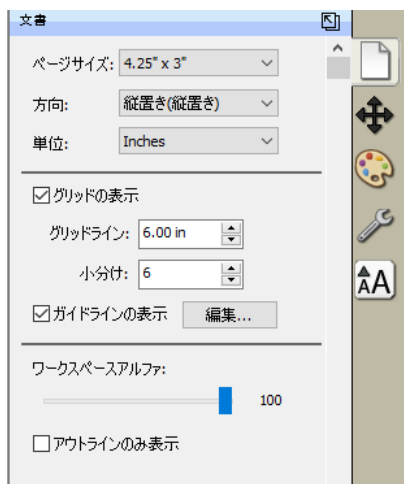
PTCreate の無償版は製品 HP からダウンロードが可能です。Professional 版は別売りとなり、使用するにはアクティベーションコードが必要です。

Mac の場合 : Mac ユーザーは Pro 版しかご使用になれません。以下の画像は Windows 版のものですが、Pro 版については Mac 版も Windows 版もほぼ同じです。

4A 概要(無償版と Pro 版)

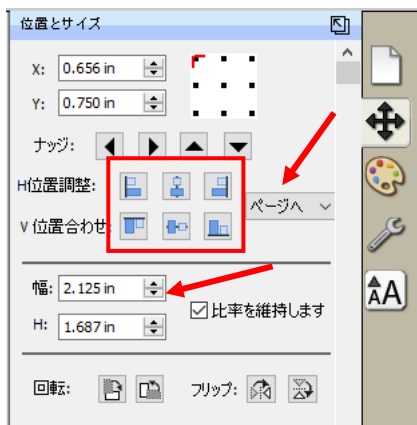


- ① Layers (Pro 版のみ) レイヤーを使用すると、インポートされた SVG ファイルのレイヤーや PTCreat 内で追加されたオブジェクトを表示および操作できます。SVG ファイルは、Adobe Illustrator などのプログラムで作成できます。
- ② Import: 画像ファイル(無償版および Pro 版) とベクトルファイル(Pro 版のみ) を利用できます。画像ファイルは、印刷するグラフィック、カットライン、またはその両方を同じファイルに含めることができます。
Trace (Pro 版のみ): 複雑なカットラインを作成することができます。
JPG、BMP、TIF、またはインポートしたその他の画像ファイルをトレースし、自動でカットラインを作成できます。
- ③ Advanced Design Tool(Pro 版のみ): グラデーション、スポイト、消しゴム、鉛筆、ペンツールなどのデザインツールを使って、PTCreat で独自のデザインを作成できます。
- ④ ドキュメント、位置とサイズ、塗りと線、スタイル、テキスト



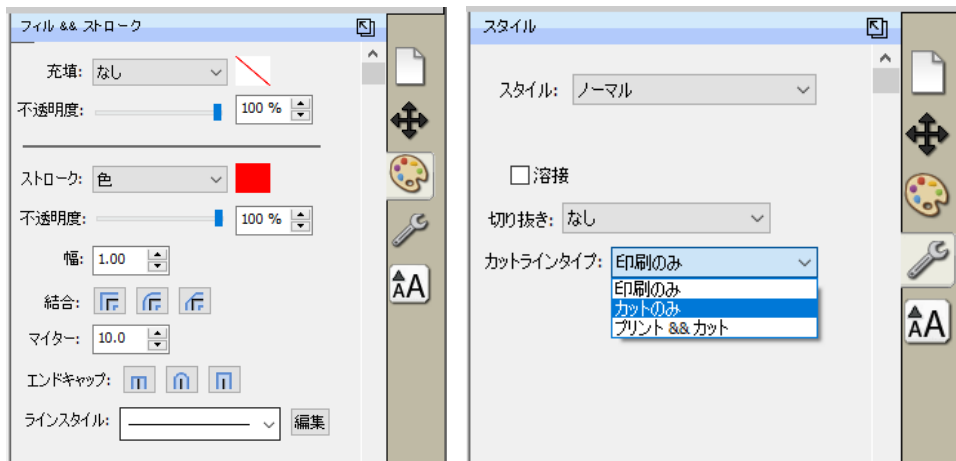
■ドキュメント

このタブは、印刷するページサイズを調整するために使用します。



■位置とサイズ

ページ上のカットラインとオブジェクト、両方を移動します。手で画像を動かすよりもはるかに簡単です。



■ **フィル&ストローク**: カットラインのスタイルを変更するときに使用します。基本的に、この設定は初期設定のままにしておくことをお勧めします。カットラインが見えにくい場合は、ここで色を変えることができます。

■ **スタイル**:ここでは、オブジェクトを「プリント」、「カット」、または「両方」のどれにするかを指定できます。初期設定では、読み込みボタンで読み込んだ画像はすべて「プリント」に設定されます。矩形ツールまたは円ツールを使用して作成されたオブジェクトは、「カット」に設定されます。必要に応じて設定を変更してください。

■ **テキスト**:テキストタブでは、テキストのフォント、サイズ、およびその他のプロパティを調整できます。左側のツールバーにあるテキストツールを使用してテキストを追加できます。

⑤ **Library**: 標準で用意されたいくつかの図形があり、カットオブジェクトまたはプリントオブジェクトとして使用可能です。

⑥ **ページレイアウト**: 実際の画像が表示されます。クリック-ドラッグでオブジェクトの移動が可能です。また、カットラインの確認も可能です。上図の例では、カットラインが赤で示されています。

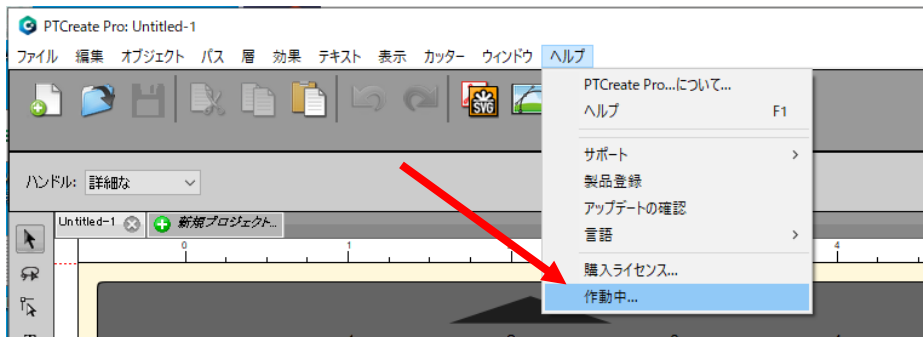
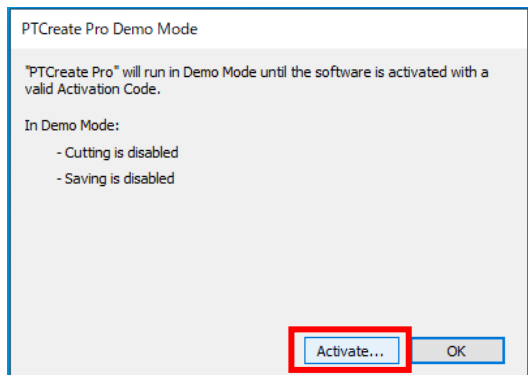


4B PTCreat Software アクティブ化

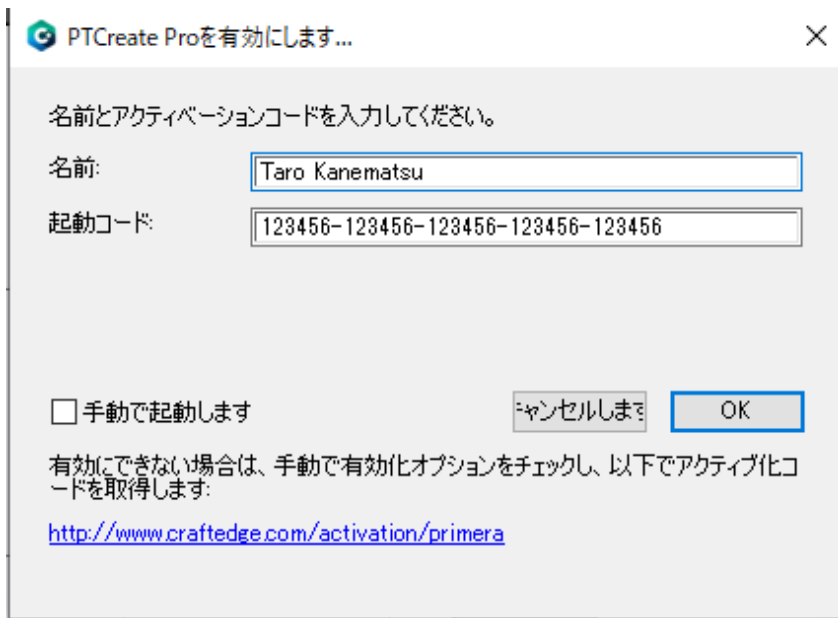
PTCreate ソフトウェアの Pro 版を使用する場合、アクティブ化する必要があります。

Pro 版を購入すると、別途アクティベーションコードを送付します。

アクティベートするには、ソフトウェアを開いたときに表示されるアクティベーションウィンドウに従うか、ヘルプ- 作動中に移動します。



アクティブ化ウィンドウが表示されます。ハイフンを含む 30 桁のアクティベーションコードを入力します。[OK]をクリックします。



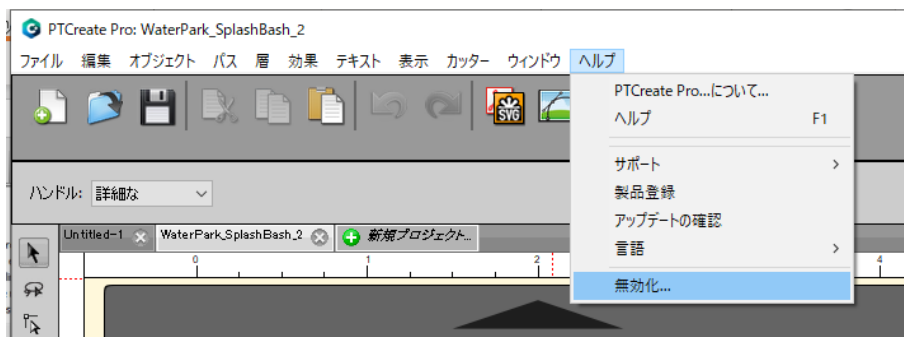
これで、このコンピュータでソフトウェアがアクティブ化されました。

注意: アクティブ化には、インターネットアクセスが必要です!

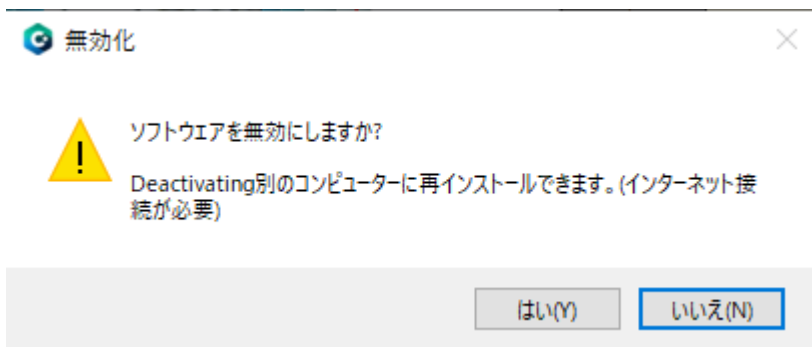
4C PTCreat Software 非アクティブ化

アクティベーションを別の PC に移動するには、まずそれまで使用していた PC からアクティベーションを削除する必要があります。

アクティベーションを削除するには、ヘルプ- 無効化... に移動します。



確認メッセージが表示されます。



注意: 非アクティブ化には、インターネットアクセスが必要です!

PC が故障したために非アクティブ化できない場合は、サポートセンターに連絡して別のアクティベーションコードを受け取ってください。Pro 版をお持ちの場合は、手続きを迅速化するために、お手元に注文番号を用意してください。

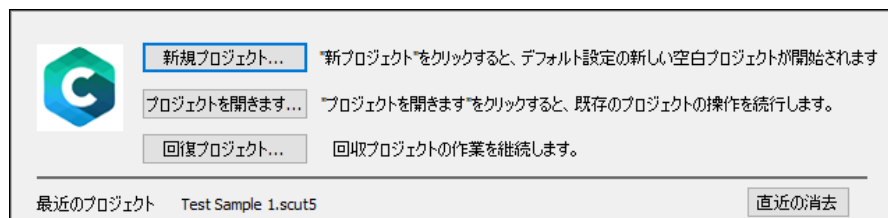
4D PTCreate 無償版でのプリントおよびカットのセットアップ方法

ラベルの印刷とカットの基本的な手順について説明します。

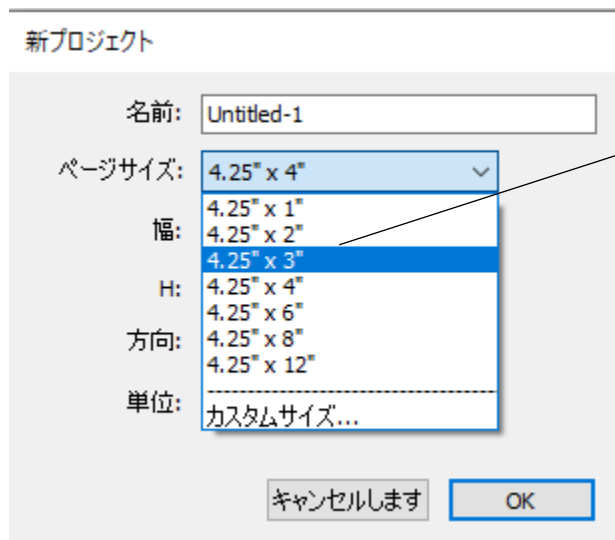
4D.1 ラベルサイズを選択する(ページレイアウト)

ソフトウェアをアクティベートすると、プロジェクトを開くか新規作成するかのウィンドウが表示されま

1. 「新規プロジェクト」を選択します。

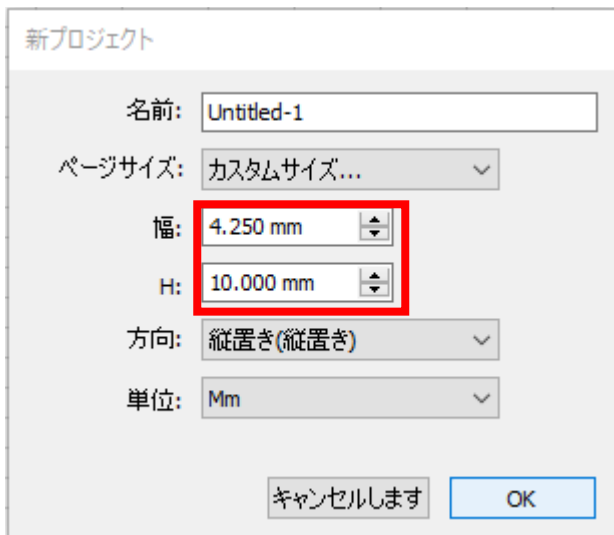


2. ページサイズを設定します。すべてのダイカットラベルの幅は 4.25" であるため、標準の最大幅は自動的に 4.25 に設定されます。この例では、サイズを 4.25 x 3 に設定して、約 4" x 3" ラベルを使用します。



ページサイズを切断するラベルサイズより大きく設定し、塗り足し部分を作成します。これにより、印刷部分の内側に必ずラベルが収まることとなり、印刷ずれを防ぐことができます。

3. ページの高さまたは幅をカスタムサイズに設定するには、「幅:」および「H:」ボックスに数字を入力するか、矢印でサイズを変更してください。



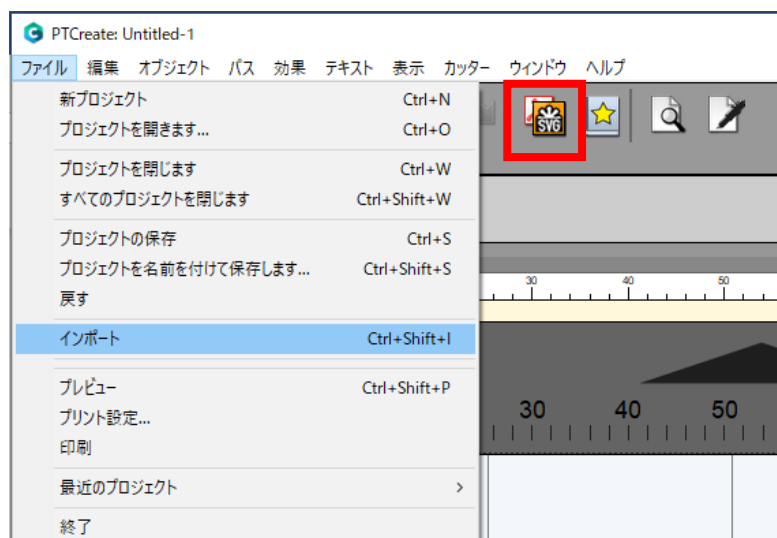
4D.2 フラットイメージのインポート(JPG、BMP、PNG、TIF、GIF)

PTCreate 無償版では、印刷専用の画像ファイルをインポートできます。インポートできる画像形式は、JPG、BMP、PNG、TIF、GIF です。

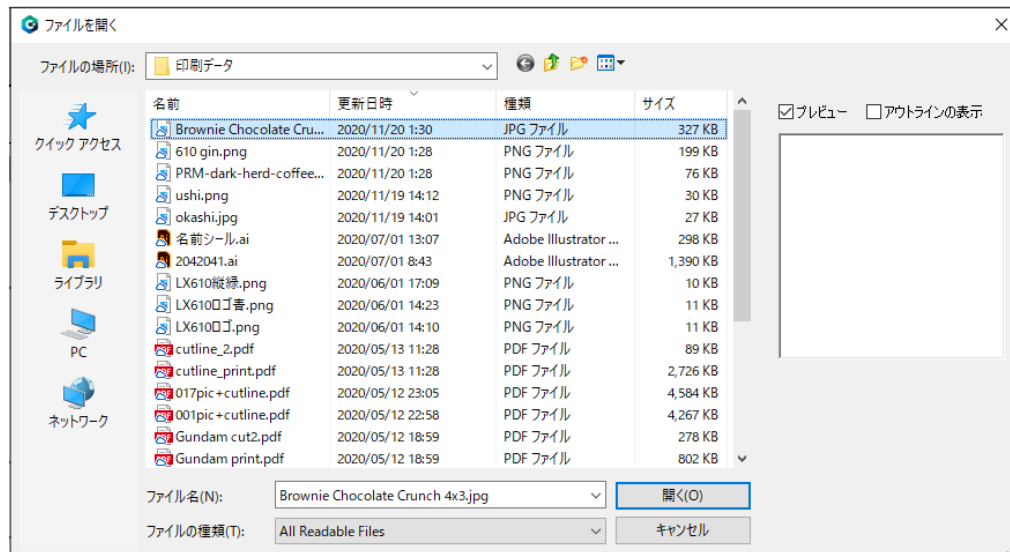
注意:インポート画像の解像度は 300 DPI 以上であることを推奨しています。解像度が大きい画像は手動でサイズ変更できます。解像度が小さすぎると、印刷画質が劣り、ピクセル化されたように見えることがあります。ウェブサイトからダウンロードされた画像はスクリーン表示用のため、一般的に 72 DPI 程度となります。

画像を取り込んで印刷するには、次の手順に従います。

1. 「ファイル」からインポート、またはショートカットバーのインポートアイコンを選択します。

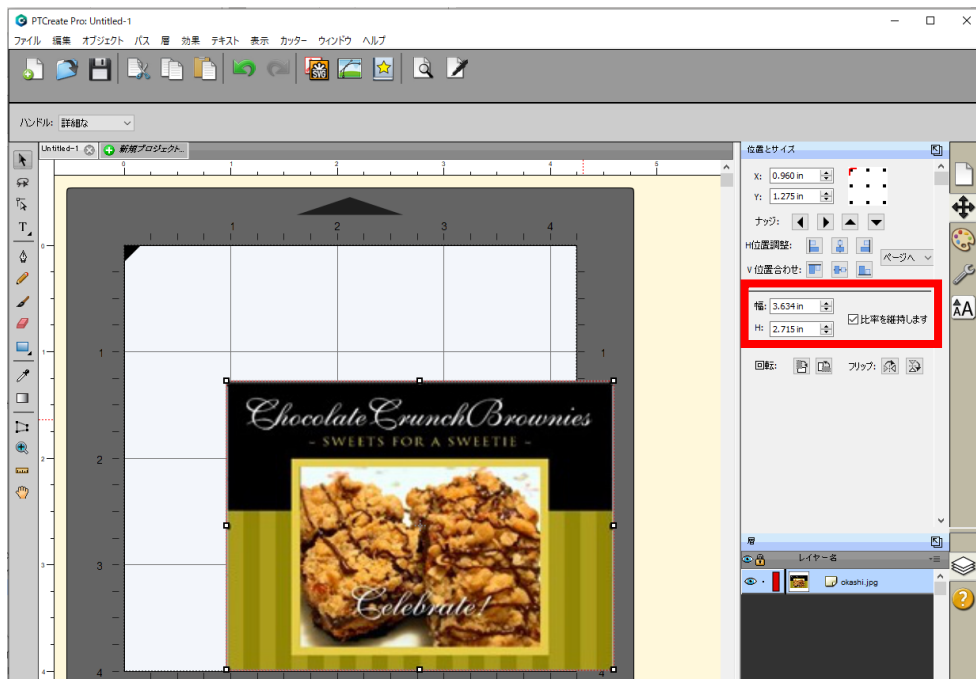


2. 使用するファイルを参照し、開くを選択します。

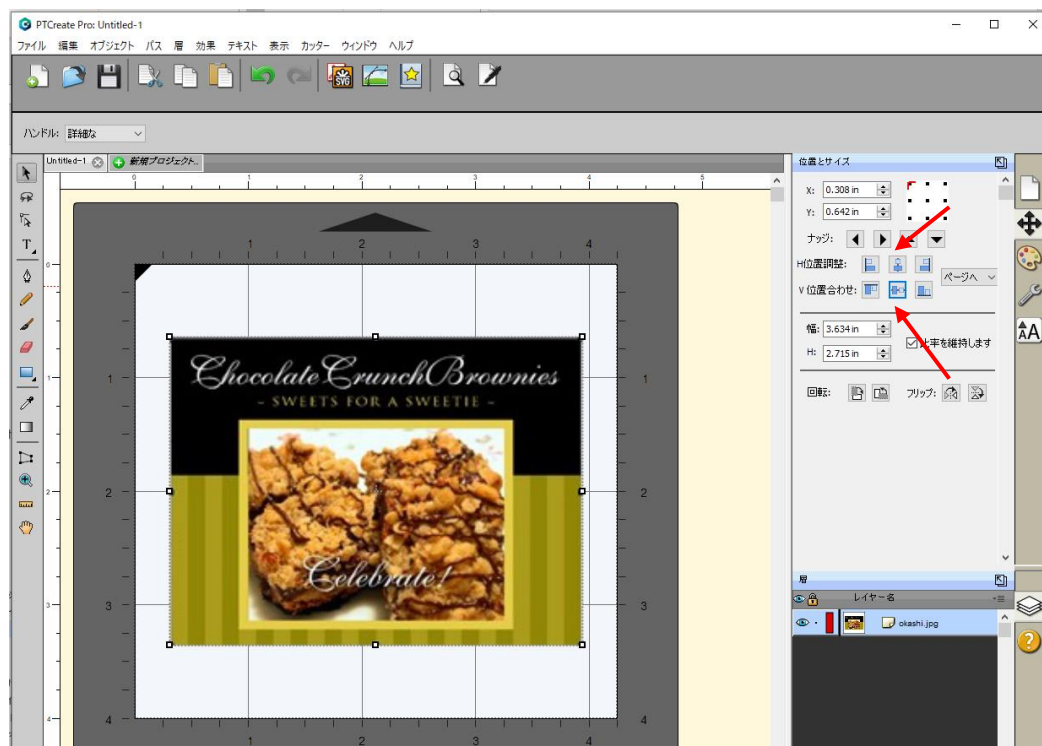


3. ファイルがページレイアウトに表示されます。

4. 手動で位置を移動したり、サイズを大きくすることができますが、[位置とサイズ]ウィンドウを使用した方が簡単に操作できます。ページレイアウトのサイズに合わせてサイズを設定します。この場合、幅を 3.25" に設定し、Keep Proportions ボックスにチェックを入れます。



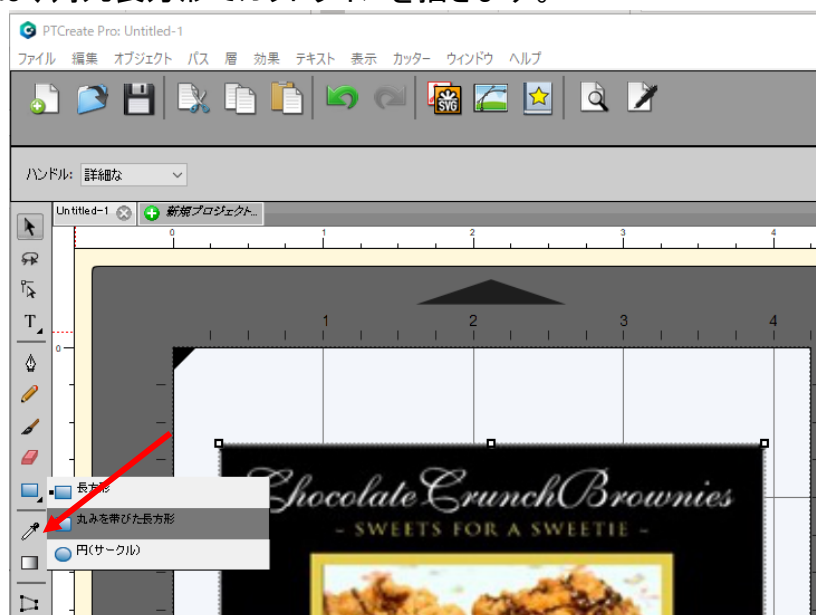
5. 画像をページに対して水平方向および垂直方向にセンタリングします。



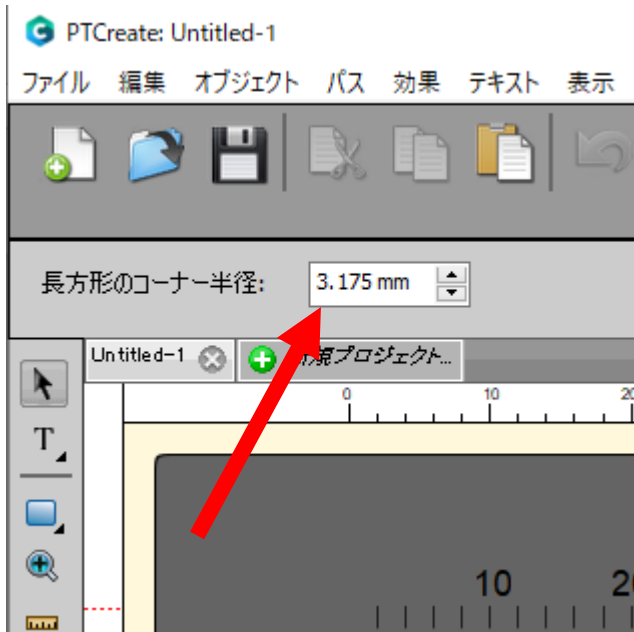
4D.3 カットラインの追加

PTCreate 無償版では、カットラインを追加するために、おおよその場所に長方形ツールを使用して描くか、ライブラリから既存のデザインを使用できます。長方形ツールを使用する場合、角丸長方形も選択することができます。この例では、角丸長方形でカットラインを描きます。

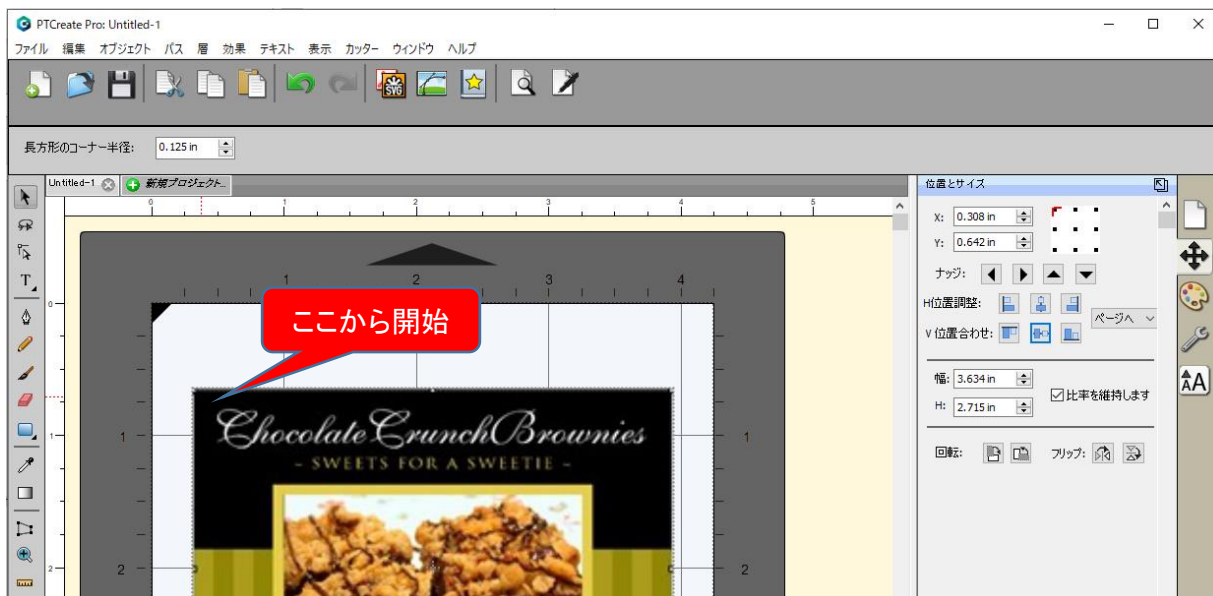
1. 長方形アイコン上で右クリックし、「Rounded Rectangle (丸角長方形)」を選択します。

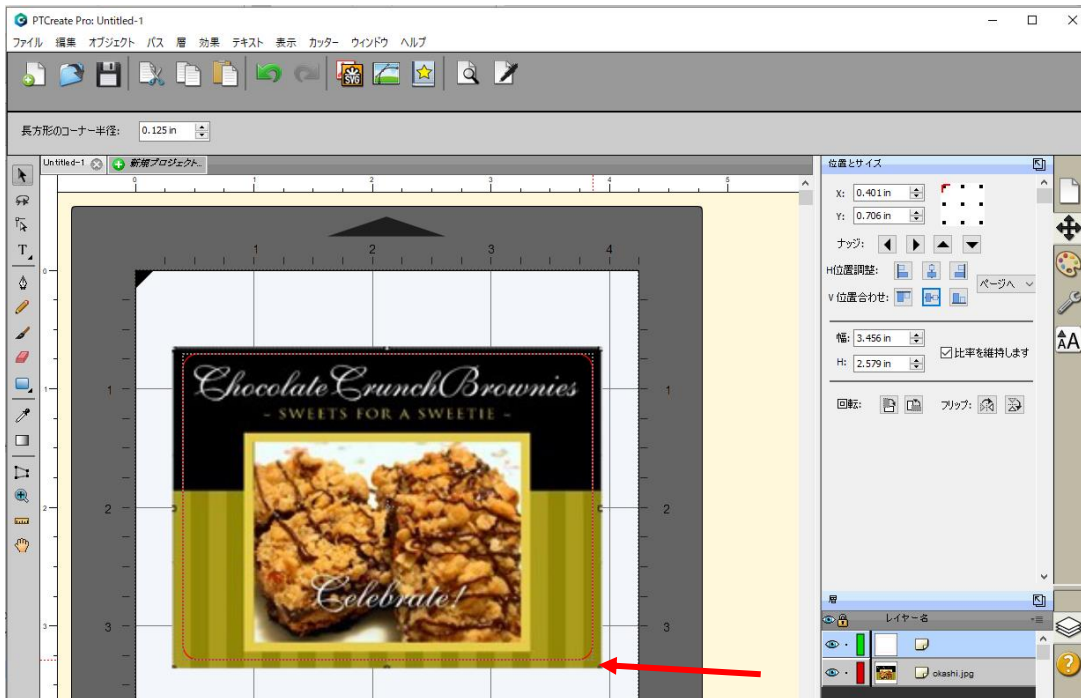


2. カットラインの描画を開始する前に、角丸の丸みを調整します。カットラインを描いた後は変更できません。

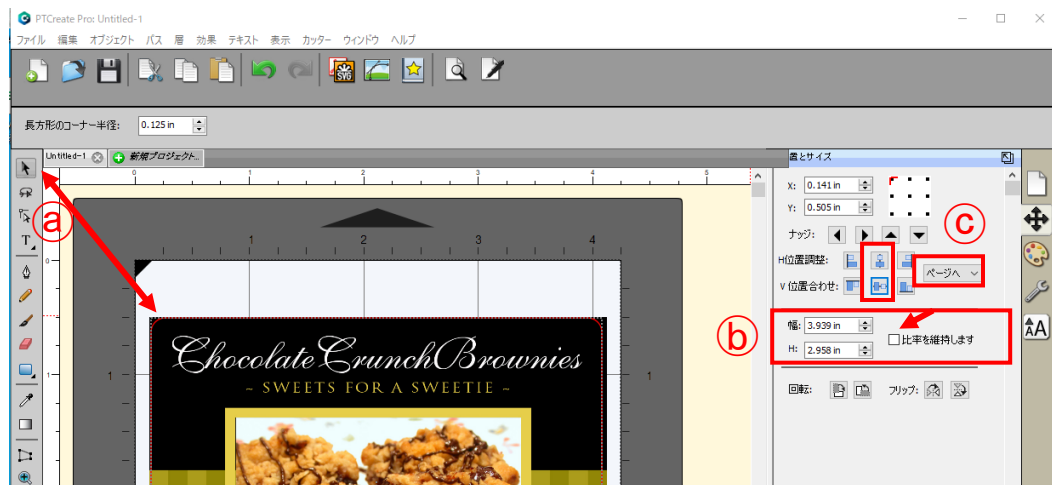


3. デザインの左上角からマウスをドラッグして、角丸長方形のカットラインを描きます。



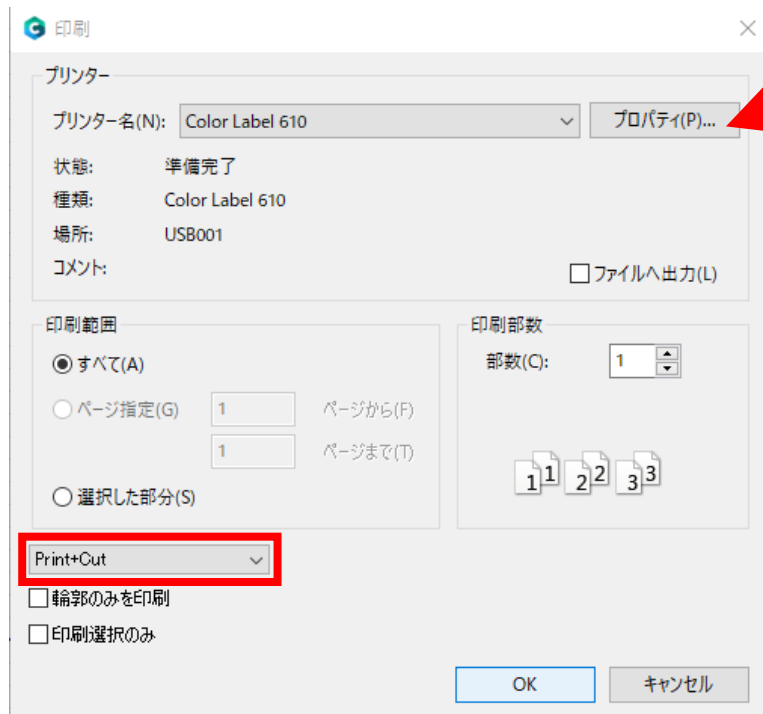


4. カットラインを所定の位置に作成後、サイズとポジションを調整できます。ここで調整したサイズが最終的にカットされるラベルサイズになります。一般的なフチなし印刷のカットラインからの塗り足し幅は 2 mm です。これにより、毎回、カットが印刷ラベル内に完全に収まるようになり、ラベルの端に余白部分ができなくなります。
 - a. まず、矢印ツールを使用してカットラインを選択します。オブジェクトの選択がうまくいかない場合、まず任意のオブジェクトを選択し、次に TAB キーを押して正しいオブジェクトを選択してください。
 - b. 次に、サイズを変更します。印刷部分の高さと幅よりも少し小さいサイズに調整します。この例では、カットラインは 3.937 x 2.937 になります。さらに調整が必要な場合は「比率を維持します」のチェックボックスを外してください。
 - c. 最後に、水平方向と垂直方向にセンタリングして、位置を調整します。



4D.4 印刷する

印刷するには、ファイルメニューに移動し、「印刷」を選択するか、ショートカットバーの印刷アイコンをクリックします。印刷ダイアログの表示で Print+Cut が選択されていることを確認します。プロパティボタンをクリックして、印刷品質、彩度、カラーマッチングなどのプリンター設定にアクセスします。プリンタードライバー設定の詳細については、5E を参照してください。

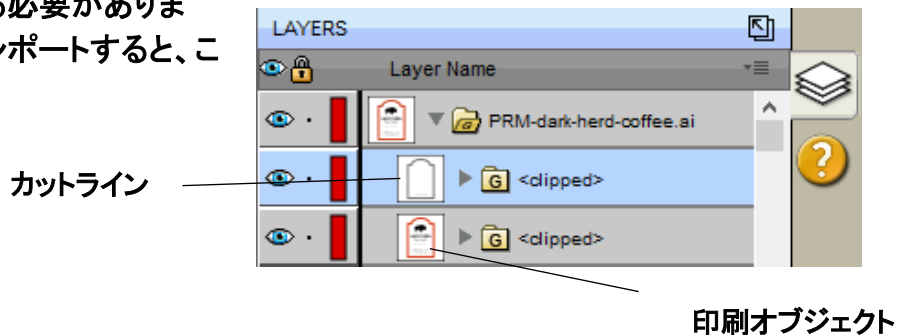


注意: 印刷する前に、セクション 4H に記載されている印刷プレビューボタンをクリックすることをお勧めします。

4E: PTCreat Pro 版 – ベクトルファイルカットを使用して印刷とカットを設定する方法

Adobe Illustrator や Corel Draw などの高度なプログラムを使用する場合は、印刷ファイルとカットラインを AI、EPS、または SVG 形式のベクターファイルとしてまとめて保存できます。その後、PTCreate Pro にインポートして、カットするレイヤーとプリントするレイヤーを指定できます。これにより、複雑なカットを正確に正しい形状で、正しい位置に作成することができます。

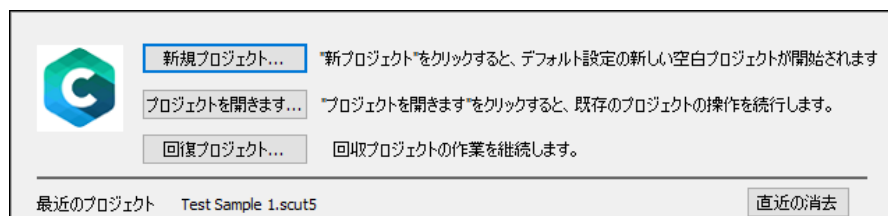
注意: PTCreat Pro を開始する前に、オブジェクトとカットラインを一緒に作成し、同じファイルに 2 つの別々のレイヤーとして保存する必要があります。ファイルを PTCreat Pro にインポートすると、これらのレイヤーが表示されます。



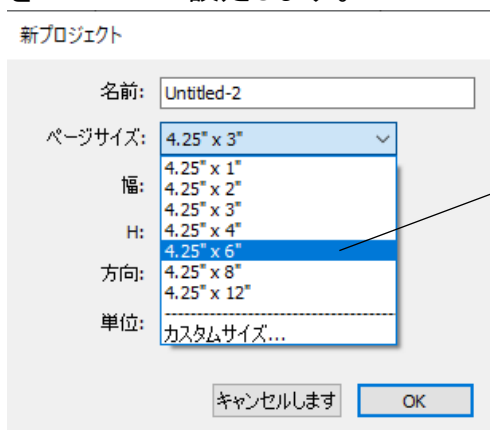
4E.1 ラベルサイズを選択する(ページレイアウト)

ソフトウェアをアクティブ化すると、プロジェクトを開くか新規作成するかのプロンプトが表示されます。

1. 「新規プロジェクト」を選択します。

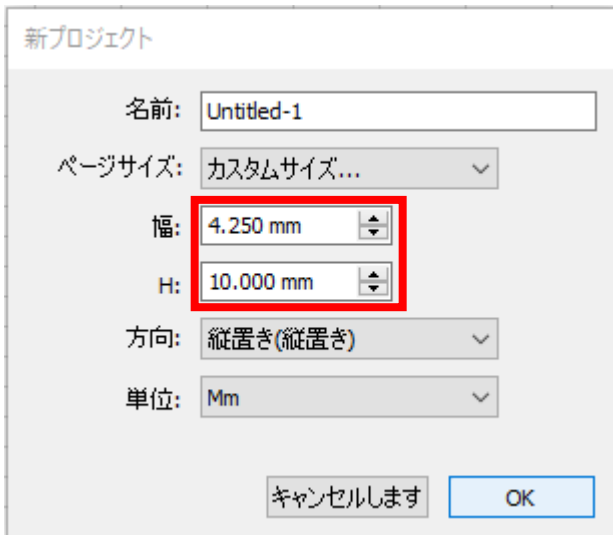


2. ページサイズを設定します。この例では、約 4" x 6" ラベルを作成するためにページサイズを 4.25 x 6 に設定します。



ページサイズを切断するラベルサイズより大きく設定します。これにより、毎回、カットが印刷ラベル内に完全に収まるようになり、ラベルの端に余白部分ができなくなります。

3. ページの長さまたは幅をカスタム設定するには、「幅:」および「H:」ボックスに数字を入力するか、矢印でサイズを変更してください。

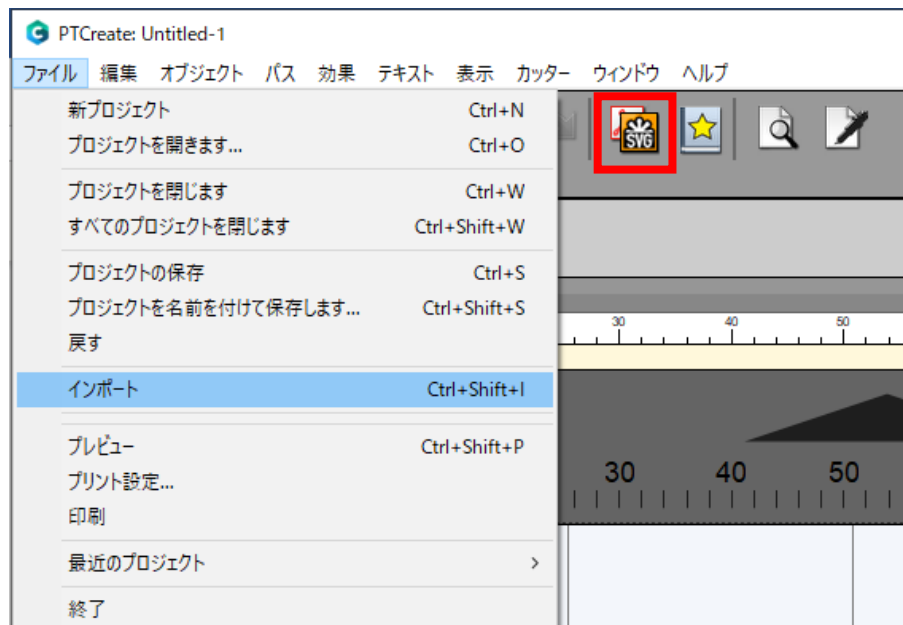


4E.2 フラットイメージのインポート(JPG、BMP、PNG、TIF、GIF)

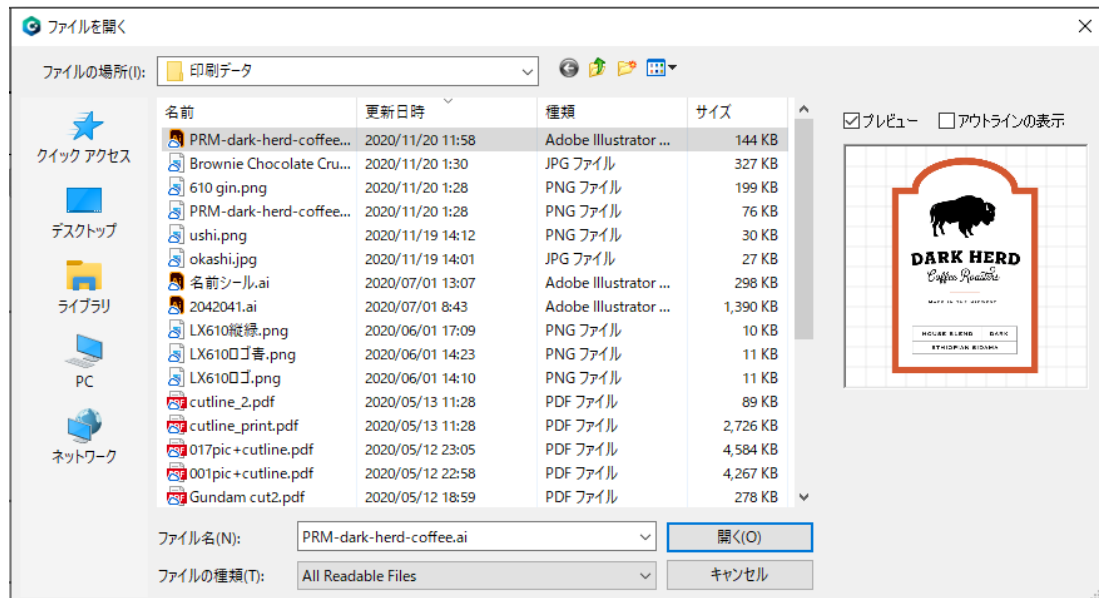
PTCreate Standard では、印刷専用のフラットファイルをインポートできます。インポートできる画像形式は、JPG、BMP、PNG、TIF、GIF です。

画像を取り込んで印刷するには、次の手順に従います。

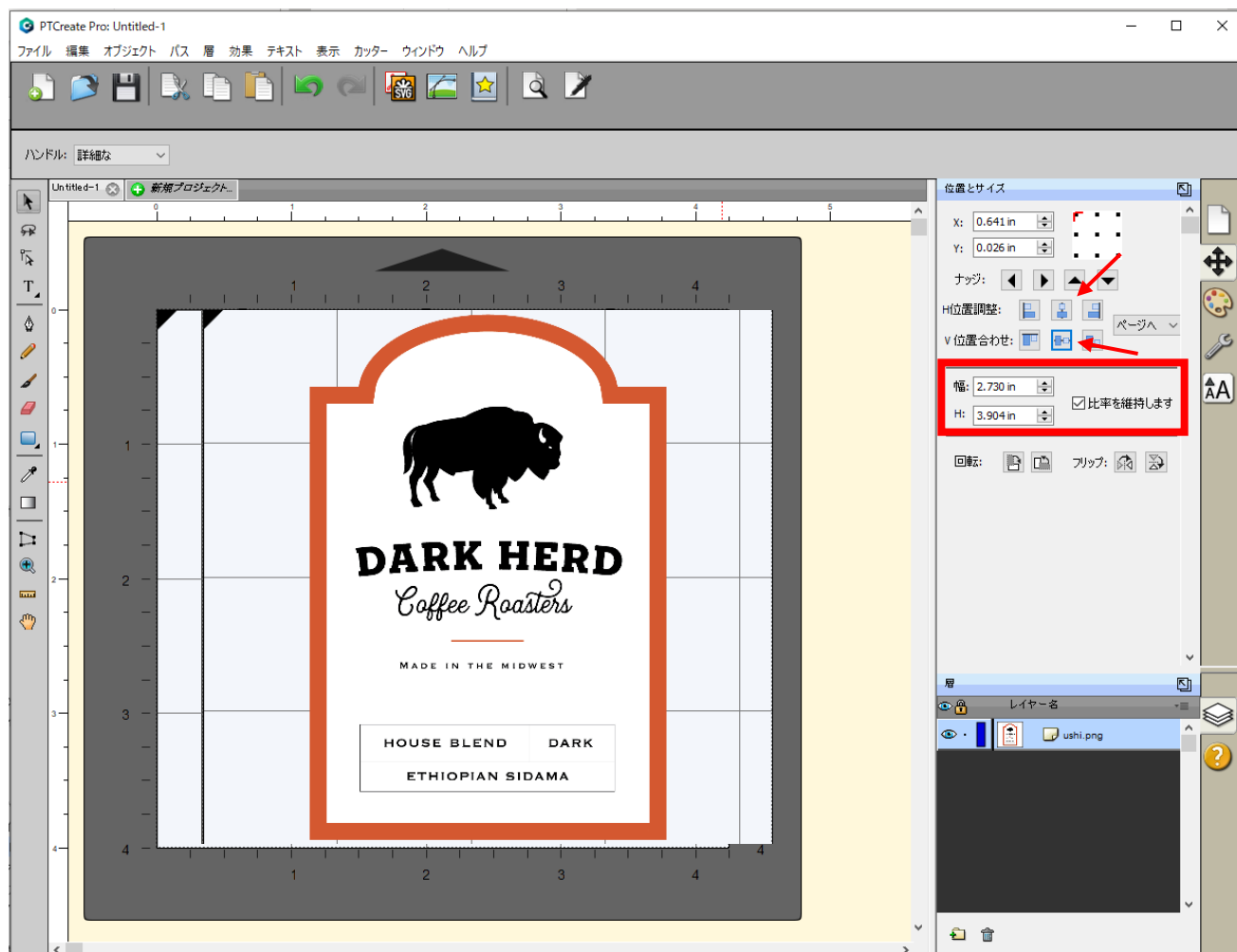
1. 「ファイル」からインポート、またはショートカットバーのインポートアイコンを選択します。



2. 使用するファイルを参照し、開くを選択します。

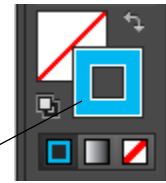


3. ファイルがページレイアウトに表示されます。手動で位置を移動したり、サイズを大きくすることができますが、位置とサイズウィンドウを使用した方が簡単に操作できます。ページレイアウトのサイズに合わせてサイズを設定します。画像をページの中央に配置します。



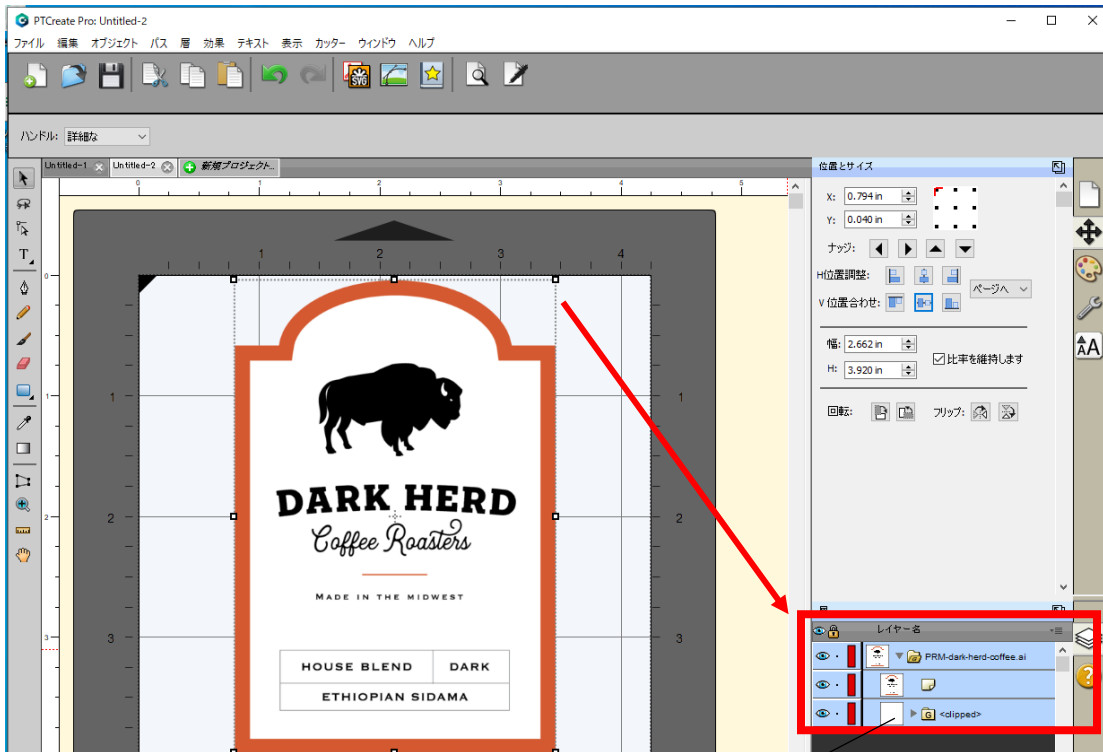
4E.3 読み込んだベクトルファイルのレイヤーを操作する

ベクターファイルをインポートすると、レイヤーウィンドウにレイヤーが表示されます。カットラインは、最前面でデザインから切り離されている必要があります。印刷される他のレイヤーの下に埋め込むことはできません。カットラインレイヤーは、アウトラインを推奨します。



アウトライン

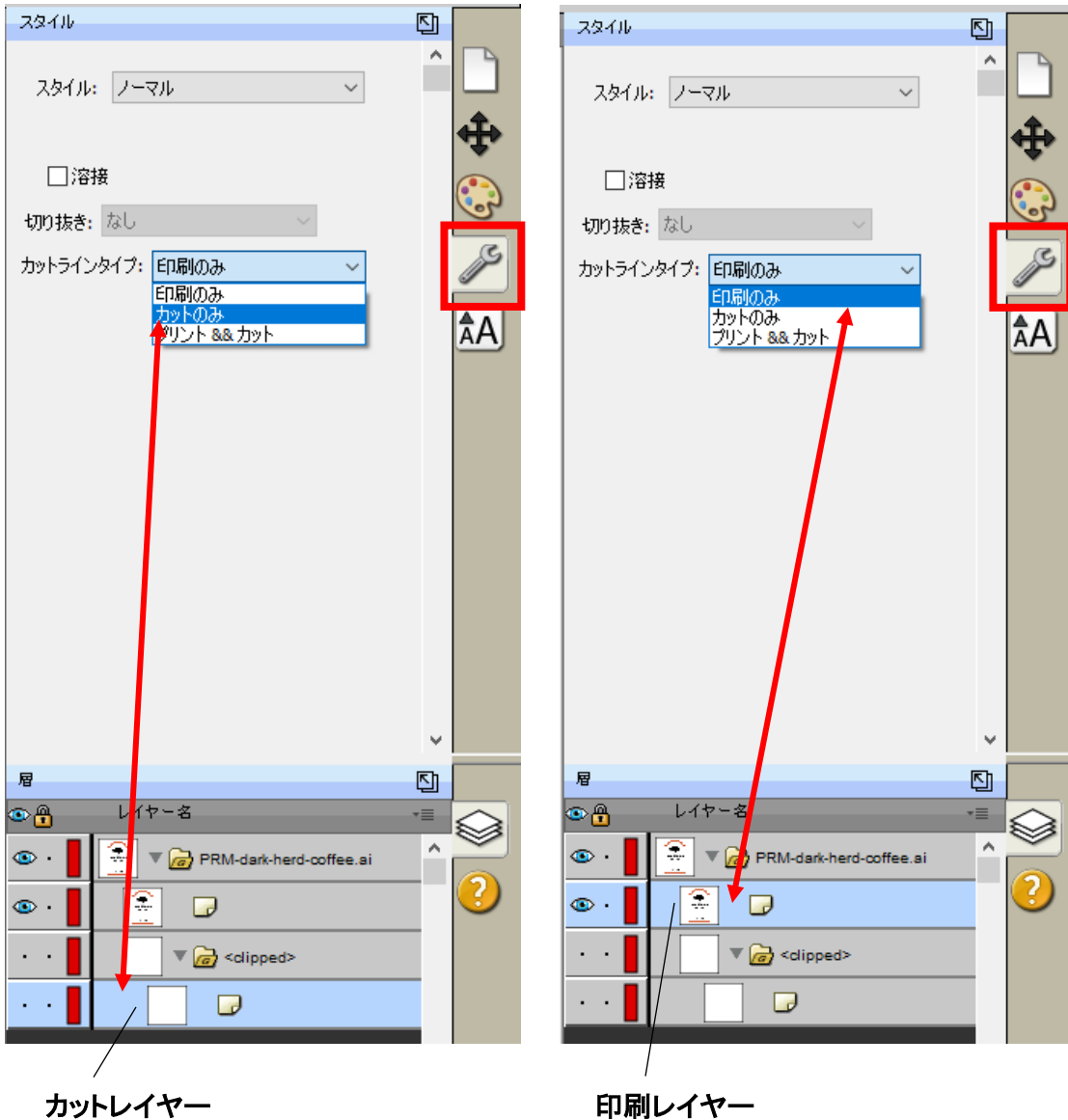
1. サブレイヤーを表示してカット線を見つけるには、矢印をクリックしてレイヤーグループを開きます。



矢印をクリックしてレイヤーグループを開きます

注意: 印刷する前に、セクション 4H に記載されている印刷プレビューボタンをクリックすることをお勧めします。

2. カット線のレイヤーを選択し、上の「スタイル」タブをクリックします。
 - A. 「カットのみ」を選択
 - B. スタイルがノーマルになっていることを確認します。
3. 次に、印刷レイヤーを選択し、「スタイル」タブをクリックし、「印刷のみ」を選択します!



4. 印刷するには、ファイルメニューに移動し、印刷を選択するか、ショートカットバーの印刷アイコンをクリックします。印刷ダイアログの表示で「プリント & カット」が選択されていることを確認します。プロパティボタンをクリックして、印刷品質、彩度、カラーマッチングなどのプリンター設定にアクセスします。プリンタードライバー設定の詳細については、5E を参照してください。

4F PTCreat Pro 版 を使用したプリントとカットのセットアップ方法- 輪郭カット

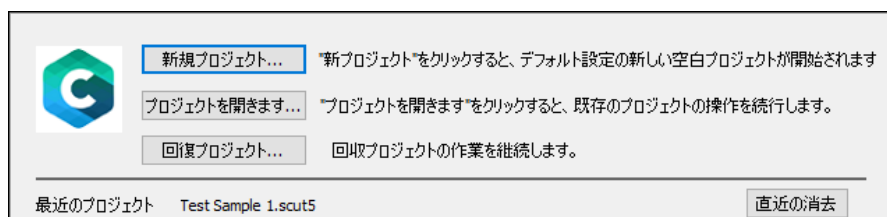
PTCreate Pro 版にあるトレース画像/輪郭カット機能を使用してラベルを印刷およびカットするための手順について説明します。

4F.1 ラベルサイズを選択する(ページレイアウト)

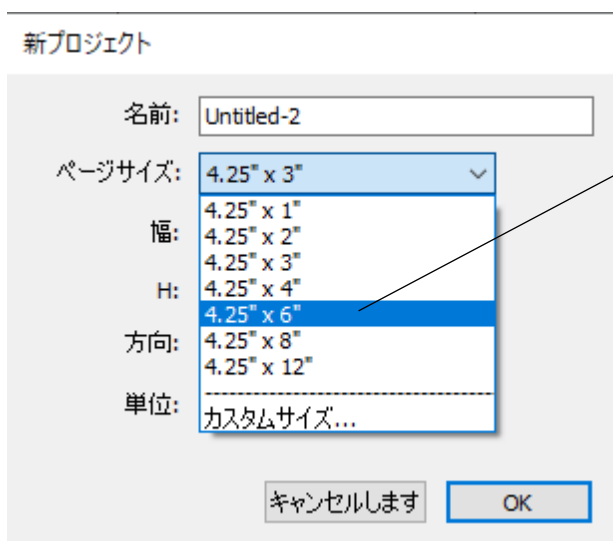
ソフトウェアをアクティブ化すると、プロジェクトを開くか新規作成するかのプロンプトが表示されま

ず。

1. 「新規プロジェクト」を選択します。

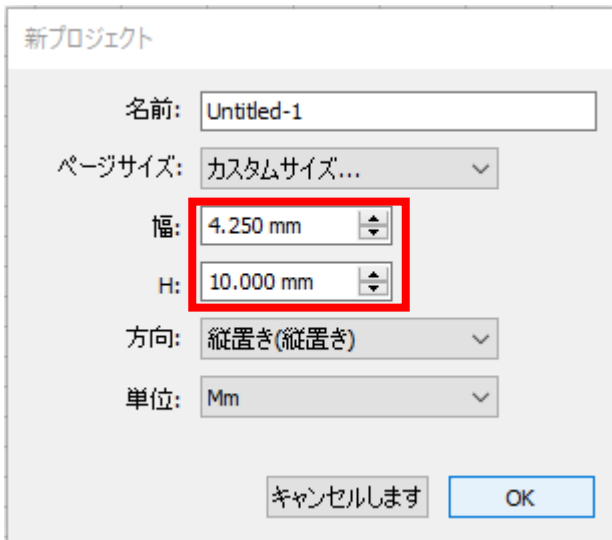


2. ページサイズを設定します。ページサイズを設定します。この例では、約 4" x 6" ラベルを作成するためにページサイズを 4.25 x 6 に設定します。



ページサイズを切断するラベルサイズより大きく設定します。これにより、毎回、カットが印刷ラベル内に完全に収まるようになり、ラベルの端に余白部分ができなくなります。

3. ページの長さまたは幅をカスタム設定するには、「幅:」および「H:」ボックスに数字を入力するか、矢印でサイズを変更してください。



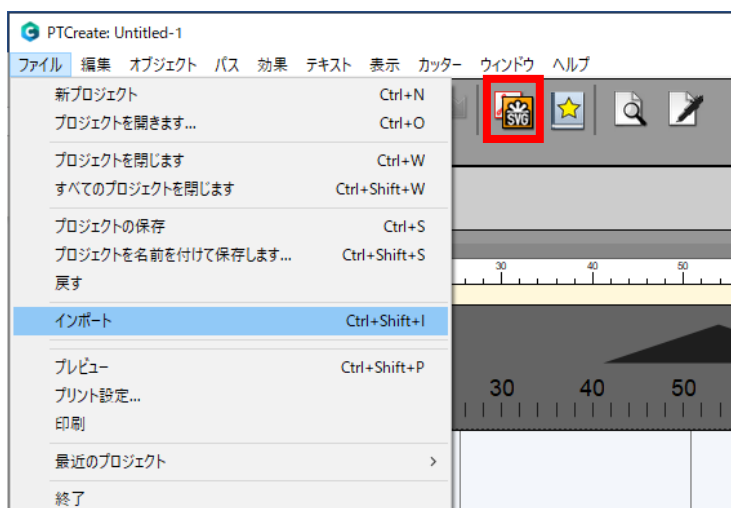
4F.2 イメージのインポート

PTCreate Pro では、フラットファイルとベクトルファイルをインポートできます。AI、EPS、PDF、SVG、JPG、BMP、PNG、TIF、GIF の画像形式をインポートできます。

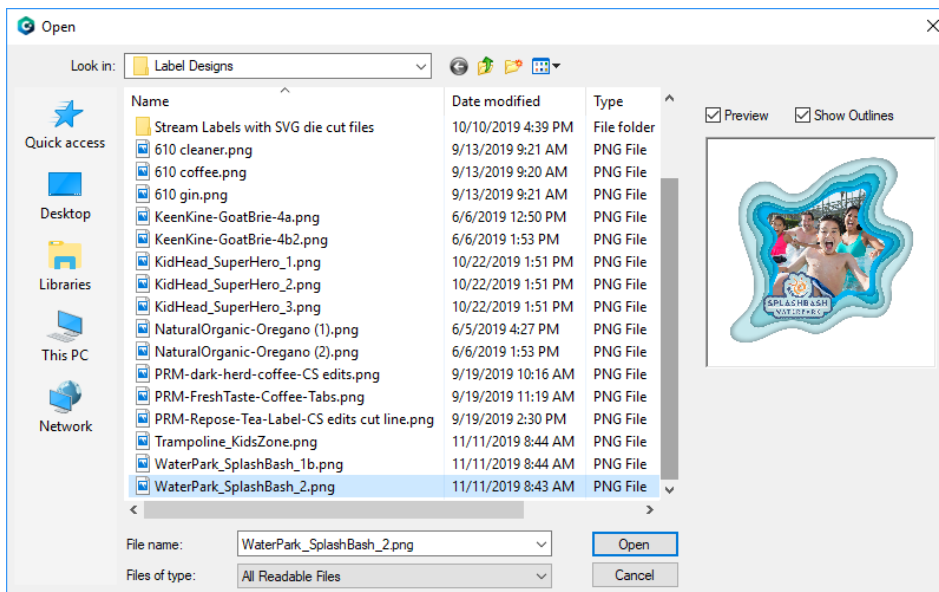
注意:インポート画像の解像度は 300 DPI 以上であることを推奨しています。ソフトウェアはこのサイズに最適化されています。大きい DPI イメージは手動でサイズ変更できます。解像度が小さすぎる、印刷画質が劣り、ピクセル化されたように見えることがあります。ウェブサイトからダウンロードされた画像はスクリーン表示用のため、一般的に 72 DPI 程度となります。

画像を取り込んで印刷するには、次の手順に従います。

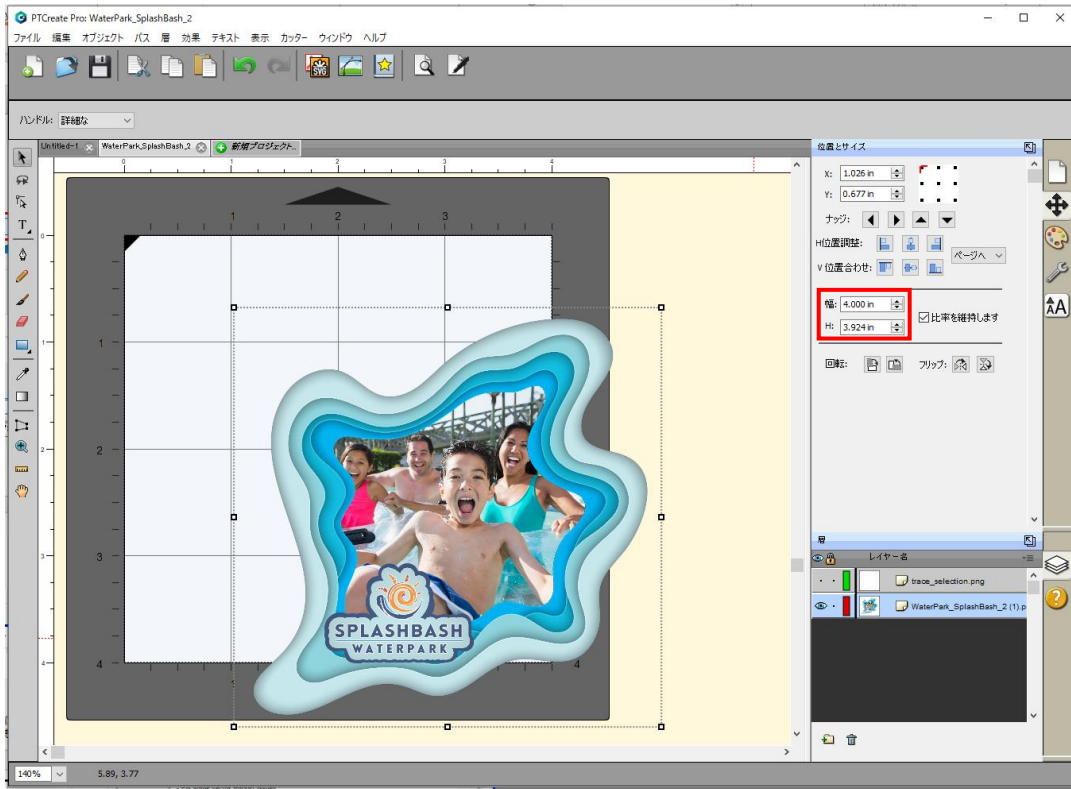
1. ファイルメニューまたはショートカットバーに移動し、「インポート」を選択します。



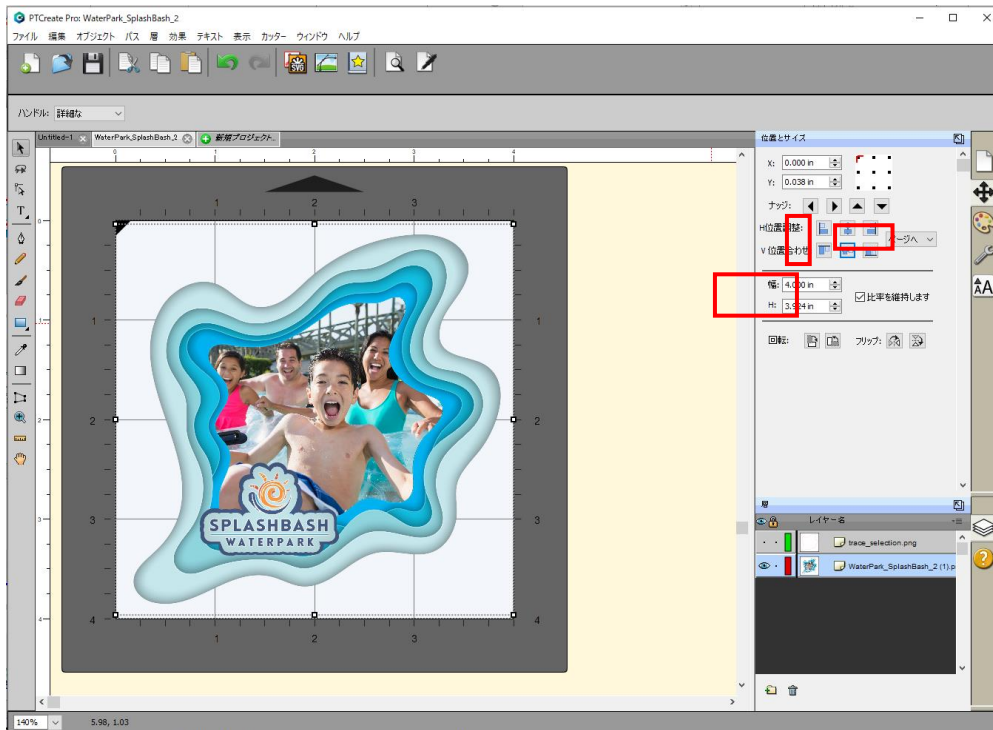
2. 使用するファイルを参照し、開くを選択します。



3. ファイルがページレイアウトに表示されます。
4. 手動で位置を移動したり、サイズを大きくすることができますが、[位置とサイズ]ウィンドウを使用した方が簡単に操作できます。ページレイアウトのサイズに合わせてサイズを設定します。この場合、幅を 3.25”に設定し、「比率を維持します」ボックスにチェックを入れます。



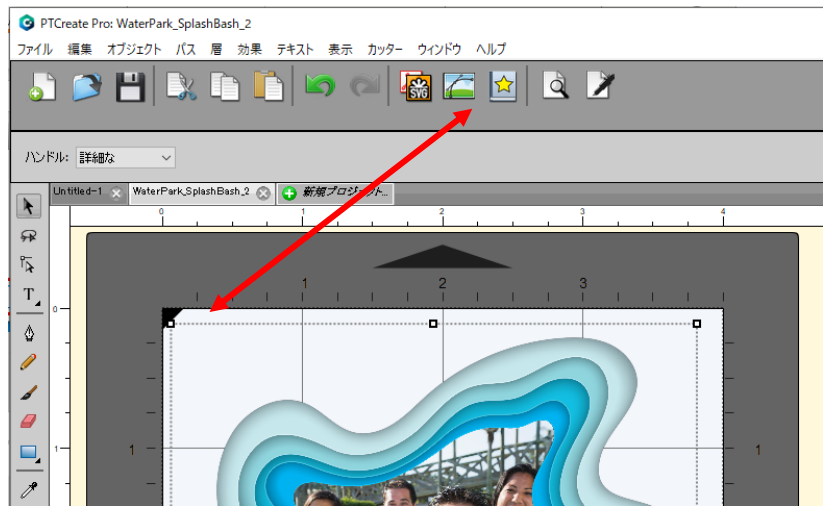
5. 画像をページに対して水平方向および垂直方向にセンタリングします。



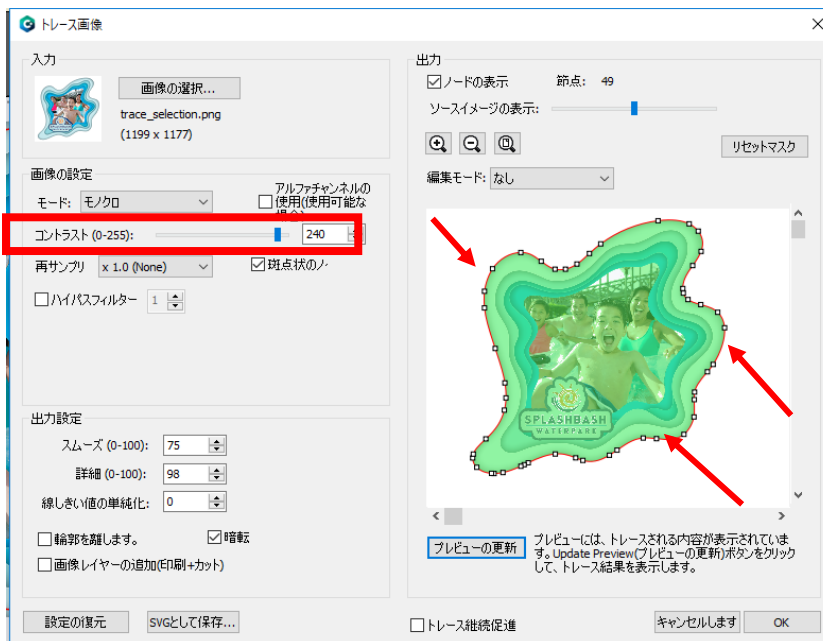
4F.3 画像のトレースとカットラインの作成

イメージをトレースするには、BMP、GIF、JPG、PNG などのフラットファイルが必要です。

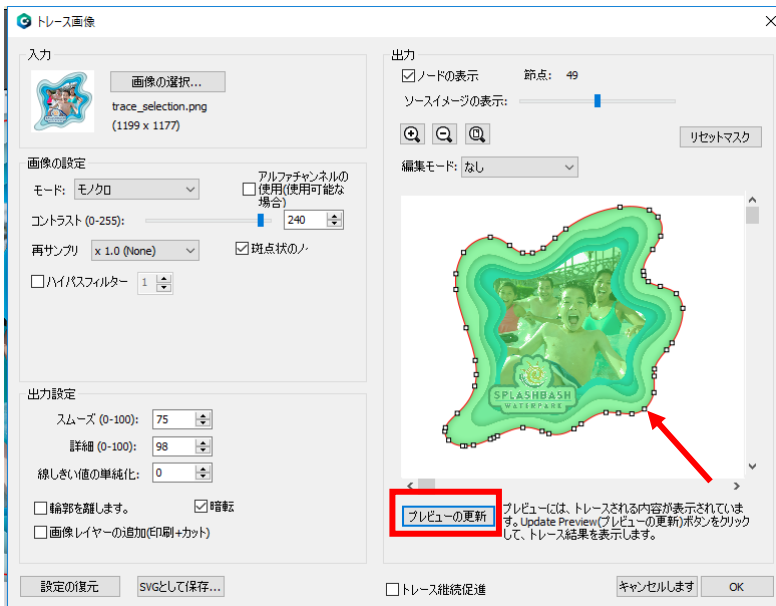
1. 読み込んだ画像オブジェクトを選択します。次に、「トレース画像」アイコンをクリックします。



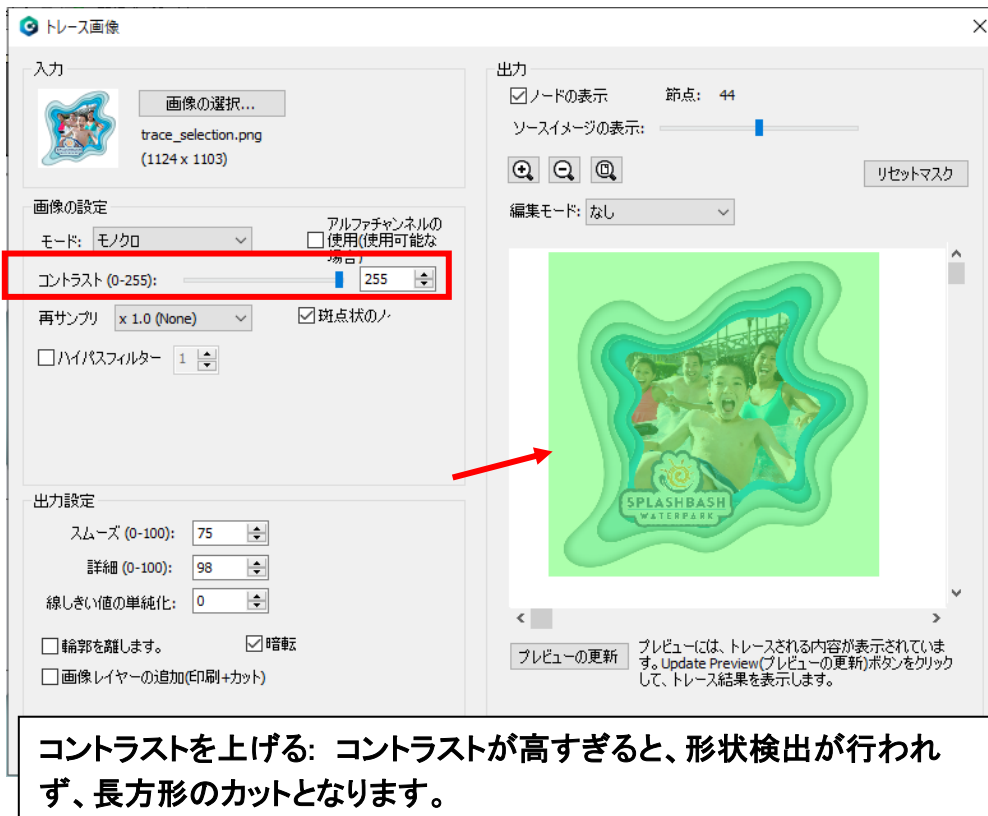
2. トレース画像 ウィンドウでは、多くのオプションを使用できます。プレビューを確認しながら、緑色にハイライトされた画像がカットしたい形状に表示されるまで、コントラストを調整して下さい。



- 「プレビューの更新」をクリックすると、カット線とポイント(ノード)の数が表示されます(「ノードの表示」をオンにした場合)。これらのノードは、ナイフがラベルをカットするために移動するイメージ上のポイントです。カットラインが正確に正しい位置またはサイズになっていない場合でも、あとで調整が可能です。

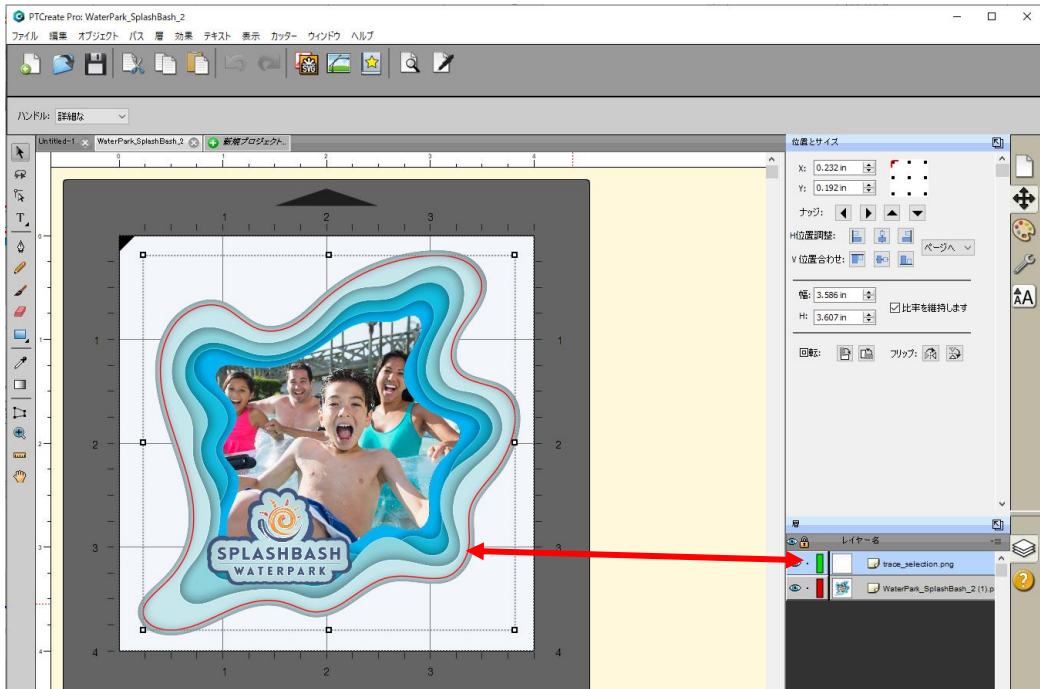


- コントラストを調整するときは、プレビューに注意してください。



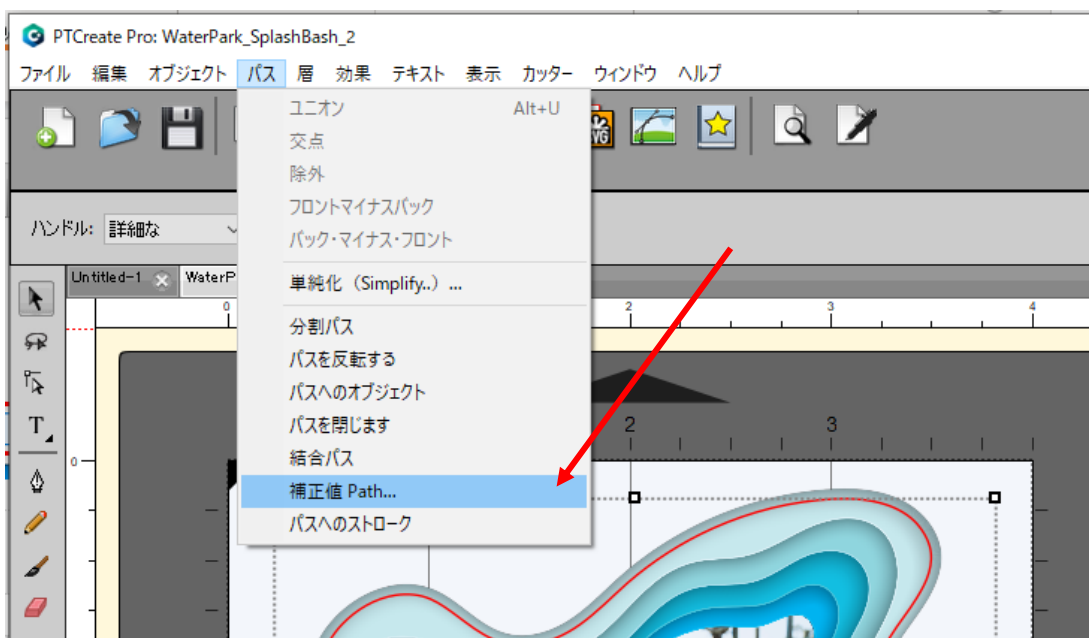


5. カットラインの形状に問題がなければ OK をクリックします。画像の上にカットラインが赤い輪郭として表示されます。レイヤーウィンドウにトレースレイヤーが表示されます。

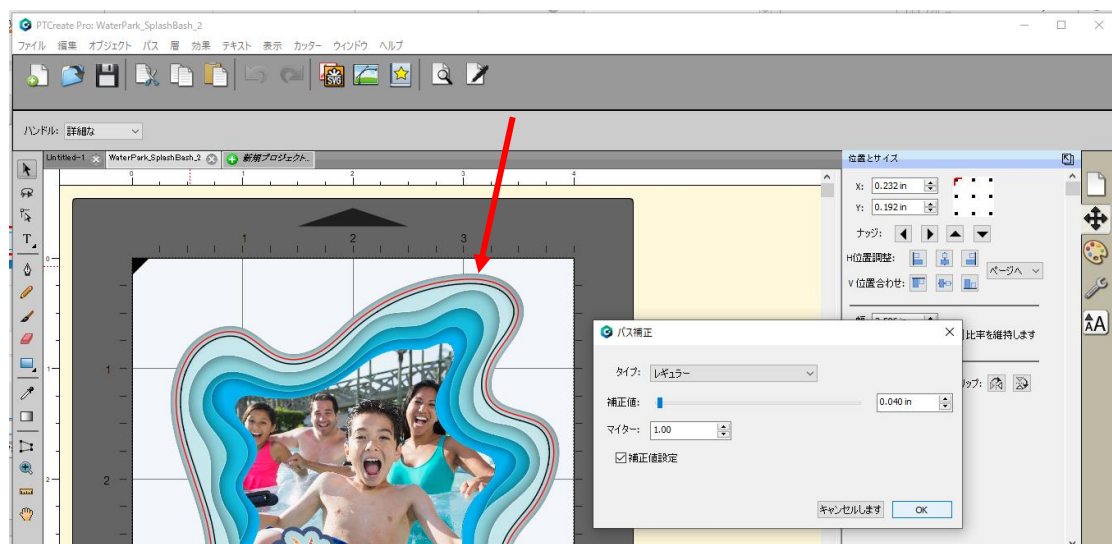


4F.4 カットラインをオフセットする

1. これで、塗り足しができるように、イメージ内のカットラインをオフセットする必要があります。カットラインを選択した状態で「パス」メニューに移動し、「補正值 Path..」を選択します。



2. 「補正值 Path..」ウィンドウで、補正值設定ボックスをチェックし、オフセットを調整します。この画像では、0.040 インチを選択しました。調整後のカットラインが黒く表示されます。



3. 「OK」をクリックしてオフセットを変更すると、新しいカットラインが表示されます。

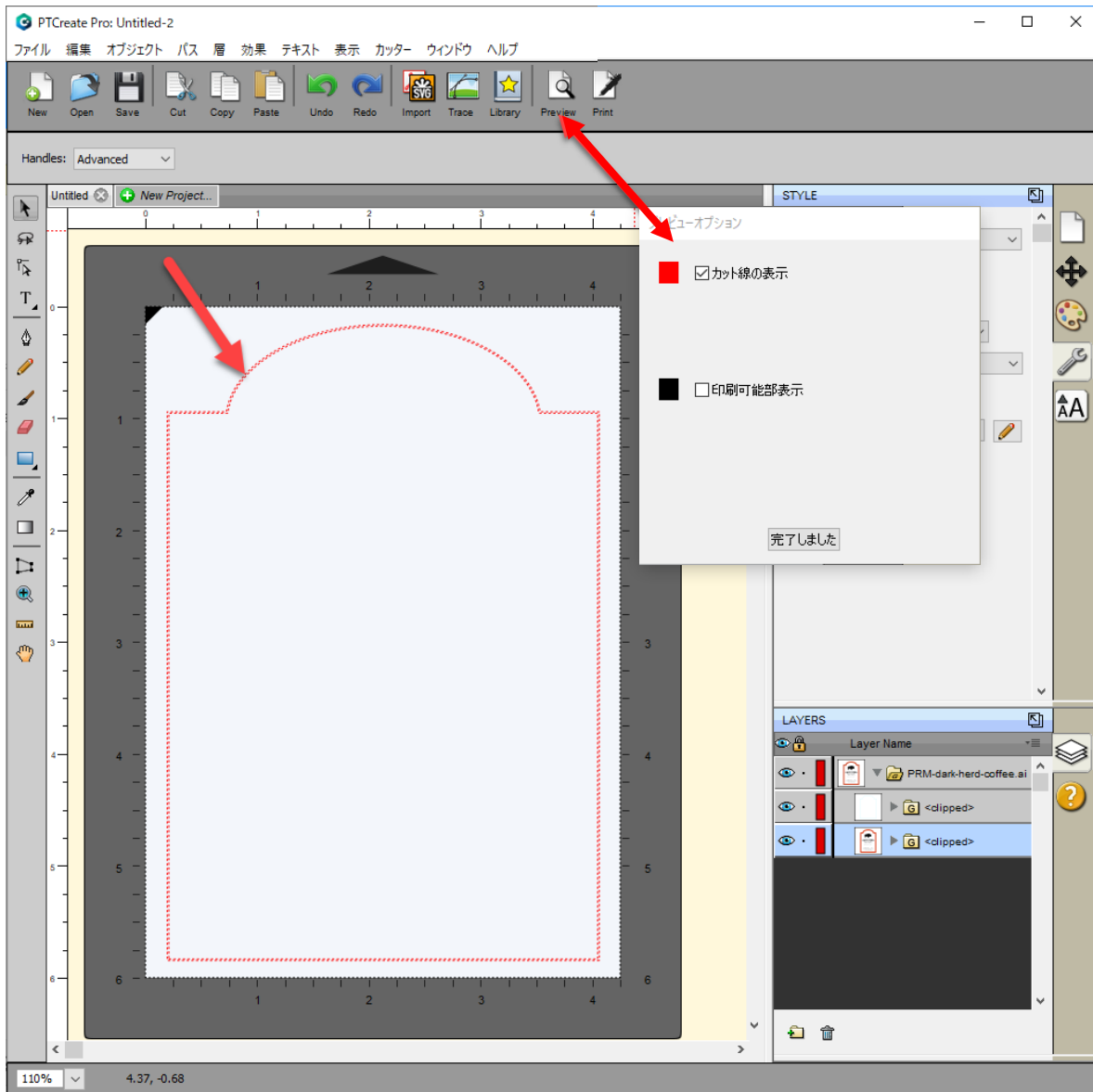


注意: 印刷する前に、セクション 4H に記載されている印刷プレビューボタンをクリックすることをお勧めします。

4. 印刷するには、ファイルメニューに移動し、印刷を選択するか、ショートカットバーの印刷アイコンをクリックします。印刷ダイアログの表示で Print+Cut が選択されていることを確認します。プロパティボタンをクリックして、印刷品質、彩度、カラーマッチングなどのプリンター設定にアクセスします。プリンタードライバー設定の詳細については、5E を参照してください。

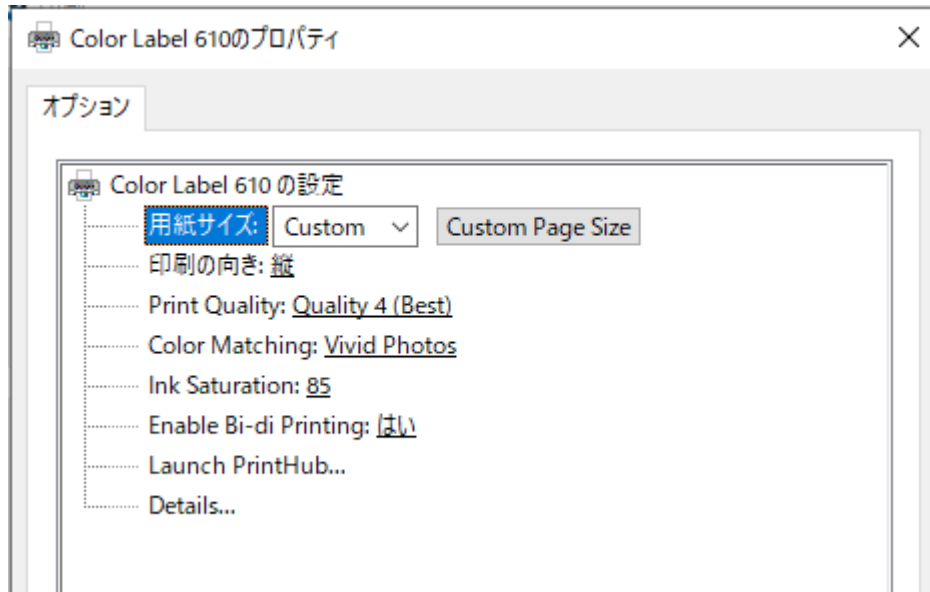
4G 印刷プレビュー

印刷する前に、「Preview」ボタンをクリックして、カットするオブジェクトと印刷するオブジェクトを確認できます。カット線の表示または[印刷可能部表示]をチェックして、印刷またはカットする内容を確認します。



第 5 章 印刷の詳細設定について:

5A プロパティの設定



用紙サイズ

寸法は、実際のラベルの幅と長さに合致するようにしてください。ラベルサイズの最大値・最小値については、2A を参照してください。

印刷の向き

印刷の向きには、縦向きと横向きの 2 つの設定があります。テキストとグラフィックスが左から右、または画面に表示されているように印刷される場合は、縦向きを選択します。印刷を画面に表示されているものから 90 度回転して水平に印刷したい場合は、横向きを選択します。向きを変更しても用紙サイズ(幅と長さ)は変わりません。

Print Quality

ドライバーには、4 つの印刷品質レベルがあります。画質が低いほど、印刷速度が速くなります。Quality 1 は利用可能な最速の印刷を提供し、Quality 4 は最高の品質を提供します。ラベルを設計する際には、印刷品質と印刷速度のバランスを良くとるために、異なるレベルでテスト印刷することをお勧めします。Quality2 が初期値です。

Color Matching

どのカートリッジが取り付けられているか(顔料または染料)に応じて、いくつかのオプションが利用できます。オプションは、取り付けられているカートリッジに応じて自動的に更新されます。

Vivid Graphics: 正確な色再現が必須ではないグラフィックイメージに最適です。このモードでプリントした画像は、多くのインクを使って作成されるため、より鮮やかに見えます。ただし、人物の画像を印刷すると、肌色が赤みを帯びた色合いになることがあります。

Vivid Photo: 正確な色再現が不可欠な写真画像に最適です。このモードでプリントした画像は、ビッドグラフィックモードでプリントした画像よりも明るく見えます。特に肌の色は、このモードの方が自然に見えます。

ICC Gloss Paper, *ICC Gloss Polyester* *ICC Matte Bopp* *ICC Gloss Premium* は、すべて *ICC* で既定されたカラーマッチングオプションです。*ICC* カラーマッチングプリントを作成するには、同じタイプのインストール済み *Primera* メディアに対応する設定を選択します。

-注意: カラーマッチングにはドライバでは制御しえない様々な要素が関与するため、ラベルの印刷において完璧なカラーマッチングは実現できない可能性があります。印刷色はラベルの表面がカートリッジのインクと反応することで生まれます。そのため、同じ画像を異なる表面を持つ別の種類のラベルに印刷した場合、全く異なる印刷出力になることがあります。

Ink Saturation

このオプションは、画像を印刷するときに使用するインクの量を調節します。インクが十分に印刷直後に乾燥していない場合やインクのムラや横筋が発生する場合、インクの値を下げて、ラベルに適用されるインクの量を調整することができます。インクコストもこちらの数値に影響を受けます。

Enable Bi - di Printing

印刷速度を最速にするには「はい」が有効ですが、カートリッジ交換ごとに位置合わせ印刷が必要です。場合により、「いいえ」に設定した方が印刷品質が上がります。

Launch PrintHub

この設定により、*Primera PrintHub* アプリケーションが開きます。

Details

現在のファームウェアとドライバーのバージョン情報、およびその他のプリンター設定を一括で確認するには、ここを選択します。

第 6 章 Mac で印刷する

6A 印刷ユーティリティ設定 (LX610 Config Utility)

インク量やメンテナンス、アライメント、その他昨日を設定するには、The LX610 Config Utility を使用します。

LX610 Config Utility:

The LX610 Config Utility はドライバーと一緒に自動的に PC にインストールされ、Mac 上でアップルアイコン→システム設定の「プリンター & スキャナー」からアクセスが可能です。

1. PC とプリンターを USB ケーブルで繋ぎ、プリンターの電源を入れます。Connect the printer via USB and turn on the power. The LX610 Config Utility はプリンター自身の情報にアクセスしますので、必ずプリンターの電源を入れてから設定を行ってください。

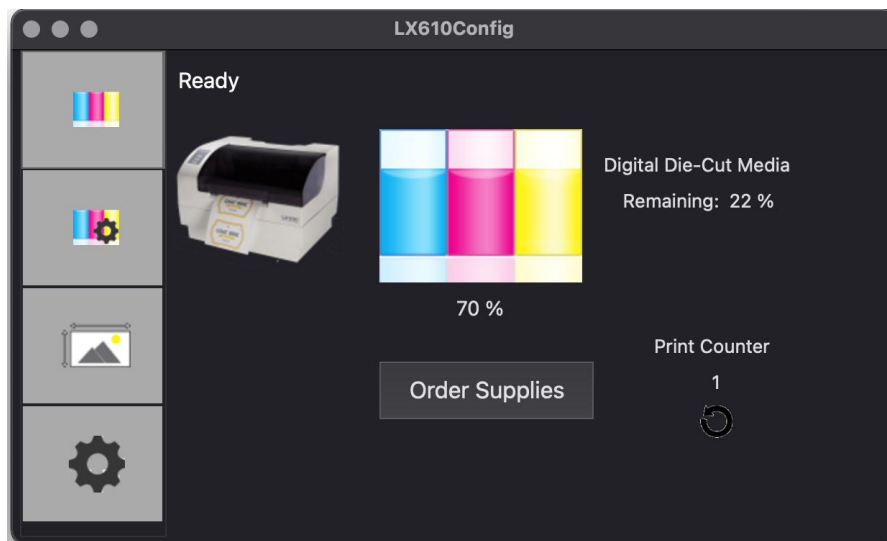


2. アップルのアイコンから、システム設定→プリンター & スキャナーへ進み、PTI Color_Label_610 をクリックします。オプションとサプライから「プリンターユーティリティを開く」を押してください。
もしくは、単純に PC からプリンターへ印刷を指示すると、自動的にユーティリティが開きます。
3. The LX610 Config Utility には4つのタブがあり、ウィンドウ上部に表示されます。各タブを開くと様々な機能があるウィンドウが現れます。



4.

- **Status Tab** (最初のタブ). インク量、プリントカウント、エラーメッセージが表示されま
す。
- **Cartridge Tab** (2 つ目のタブ). カートリッジの調整、清掃、交換の際に使用します。
- **Alignment Tab** (3 つ目のタブ). 縦・横の印刷アライメントを調整します。センサーモ
ードの変更や、出力カットモードや XY カッター調整を行います。
- **Settings Tab** (4 つ目のタブ). ファームウェアやドライバーのバージョン等、プリンター
の情報を表示します。アップデートを確認したり、他の詳細設定を行うことができま
す。



6B アウトプットモードを設定する

プレゼント/カットモードでは、印刷後のラベルがどのように排出されるか、また印刷後のラベルをいつどのようにカットするか、の設定が可能です。カッターを有効にするか、無効にするかによって異なった選択が可能です。カッターが無効の場合、ラベルの排出オプションが選択可能になります。カッターが有効な場合には、排出オプションではなく、カットオプションの選択が可能になります。

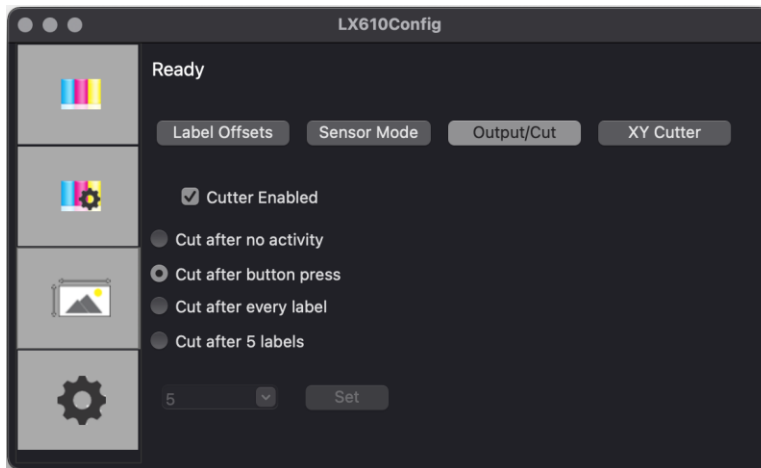
カットオプション (カッターを有効にする(Cutter Enabled)をチェックして下さい):

Cut after no activity. キュー内の最後の印刷ジョブ終了後、1 秒以内に次の印刷ジョブを受信しない場合にカットされます。複数印刷の場合や、キュー内の複数のジョブの最後にカットできます。

Cut after button press. プリンターの Load/Feed ボタンを押した後にカットされます。

Cut every label. ラベル毎にカットします。

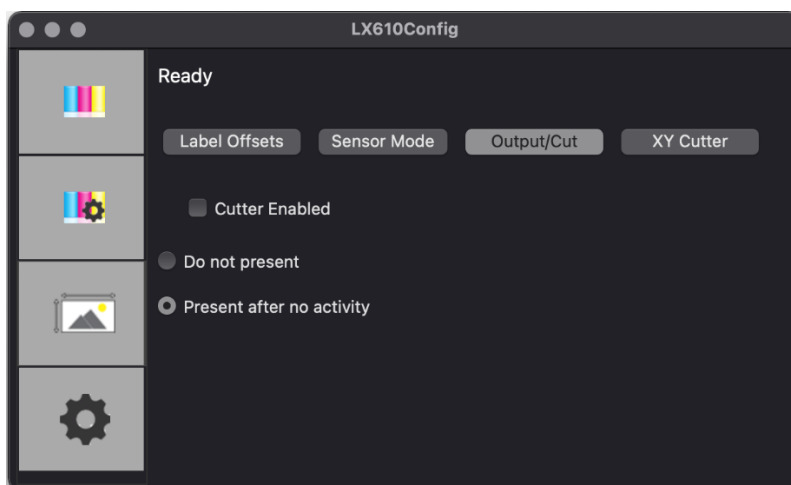
Cut after label count. 指定したラベル数の印刷が終了した後に切り取られます。



Present Options (カッターを有効にする(Cutter Enabled)のチェックを外してください)

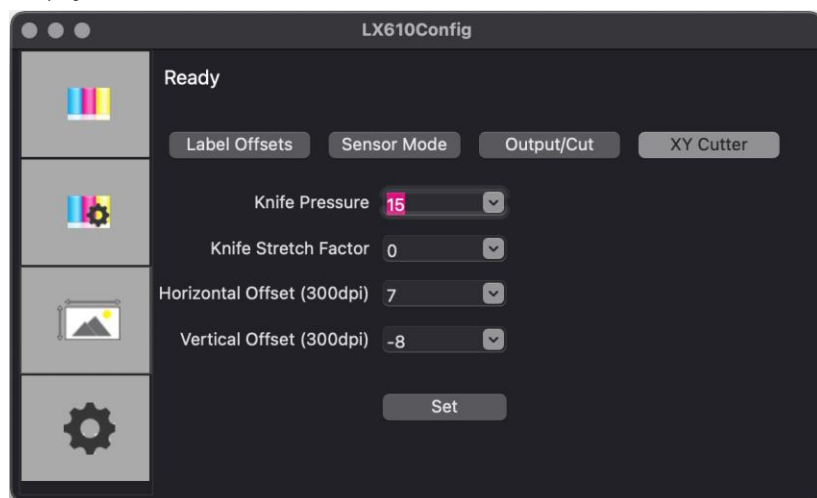
Do not present.最後のラベルが印刷された後でもラベルは移動しません。つまり、最後に印刷されたラベルの一部はプリンターに残ったままとなります。ラベルリワインダが装着されている場合にのみこのモードを使用する必要があります。

Present after no activity. この設定は、プリンターがキュー内の最後の印刷ジョブ終了後 1 秒以内に次の印刷ジョブを受信しない場合、印刷ジョブの最後に表示されます(印刷されたラベルがすべて前面から排出されます)。この機能を使用して、複数コピージョブ、複数ページジョブ、またはキュー内の複数の個々のジョブの終了時にプレゼンテーションを行うことができます。



6C XY カッターオフセット (全面ラベルのみ)

カッターオフセット、カット圧、ストレッチ係数の設定は、ドライバーの XY カッターのタブで確認できます。



カットのオフセット カットズレが発生した場合、**横オフセット(Horizontal Offset)**と**縦オフセット(Vertical Offset)**の設定で調整が可能です。

「テスト印刷を送信」ボタンを押し、また下図を参考にして、いずれの方向にオフセットするかを確認してください。



カット圧 (Knife Pressure)はメディアに対するカットの深さを調整します。ラベル層をしっかりと切断し、なおかつ剥離紙(ライナー)は切り取らない程度の深さが理想的です。ライナーを切り取るほど深く切ってしまうと、ラベルから剥離紙がきれいに剥がれなくなる可能性があります。またナイフの下にあるカッティングマットの交換頻度が上がってしまうため、カット圧を強く設定する事は避けてください。

初期設定ではカッターは光沢紙ロールを使用する際の設定になっています。他のメディアを使用する場合はカット圧の調整が必要になります。

ナイフストレッチ係数(Knife Stretch Factor) はメディアの厚みや質感によって調整されます。厚みや質感はラベルによって異なりますが、それにより排出スピードを調整する必要があります。(初期設定は光沢紙ロールとなります)これにより排出されるラベルの長さを短くすることができます。ソフト上のデザインによりも実際に排出されたラベルが長い/短いと感じた場合、ストレッチ係数を調整する必要があります。ストレッチ係数を増やすと長くなり、減らすと短くなります。

カッター消耗によるナイフ圧の調整

使用を続けるとブレードカッターの消耗が進むため、使い始めの時と同じラベル紙を使用する場合でも、高いカット圧が必要になる場合があります。そのため、光沢紙ラベルを使用する場合であっても、カット圧の調整が必要な場合があります。

カット圧を調整する必要があるかの判断は、以下の手順で行ってください。

1. 印刷後、ラベルを台紙から剥がそうとします。
2. 裂け目がないか確認します。ラベルをはがしたときにラベルが裂ける場合は、カット圧を上げる必要があります。台紙を切りすぎてしまわないように、カット圧の数値は少しずつ上げてください。
3. ラベルを剥がした後の台紙を確認します。完全に切れてしまっている場合は、圧力を下げてください。
4. 剥がしたときにラベルが裂けないように、また台紙が完全に切れないように、カット圧を調整してください。

6D ページサイズをカスタマイズする- Mac

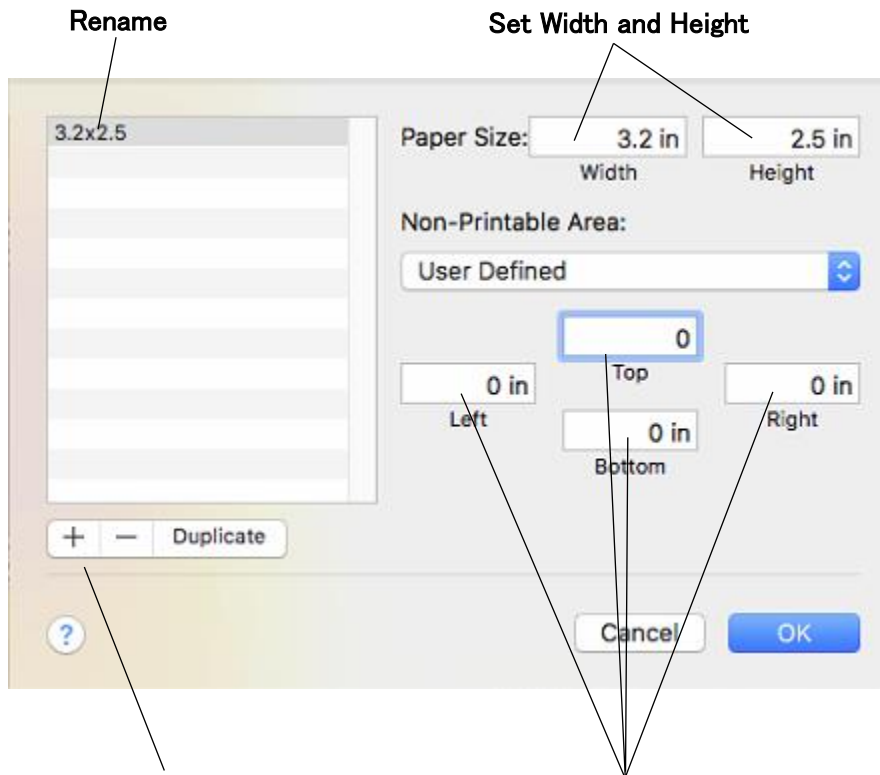
Adobe Illustrator, Photoshop や Acrobat Reader など多くのソフトにおいて、印刷前にラベル・ページサイズを選択する必要があります。もし既存の選択肢に希望するサイズがない場合は、ご使用のソフトにおいて、カスタムページサイズを作成する必要があります。

1. 用紙サイズおドロップダウンメニューを表示し、「Manage Custom Size
2. Click the Paper Size drop down menu. Choose Manage Custom Siz



3. +を押します。Click the + to create a new size.
4. 実際のラベルの幅・高さを入力します。
5. 全ての余白をゼロにしてください。

6. 「幅 × 高さ」をサイズの表示名にしてください。Rename the size the same as the width and height.



Click “+” to start create a new

Set all Margins to zero

7. 作成したカスタムサイズが Mac 内のいずれのアプリ内でも表示されるようになります。Your custom size will now appear at the bottom of the preset size list in this application and any other application on this Mac.

注意: ラベルの塗り足しを作成したい場合はこの機能を使用し、0.03 インチほど実際のラベルより大きいサイズをカスタムサイズとして作成してください。

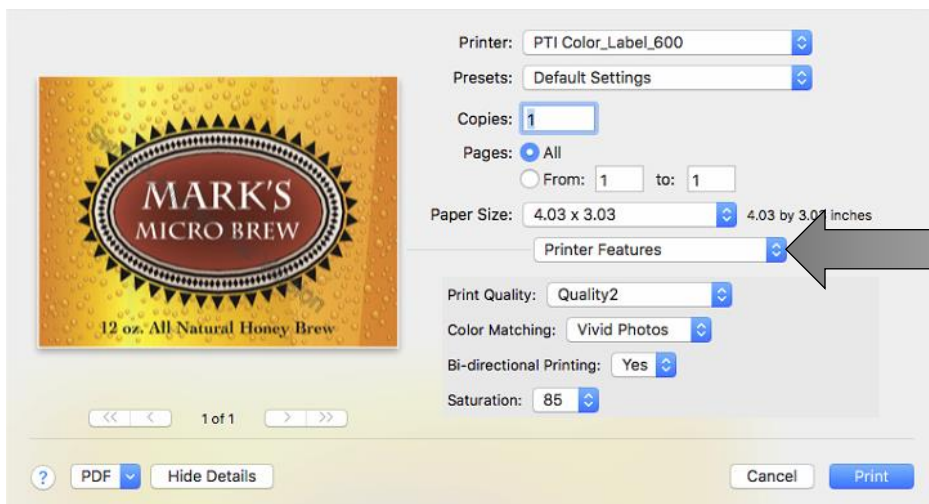
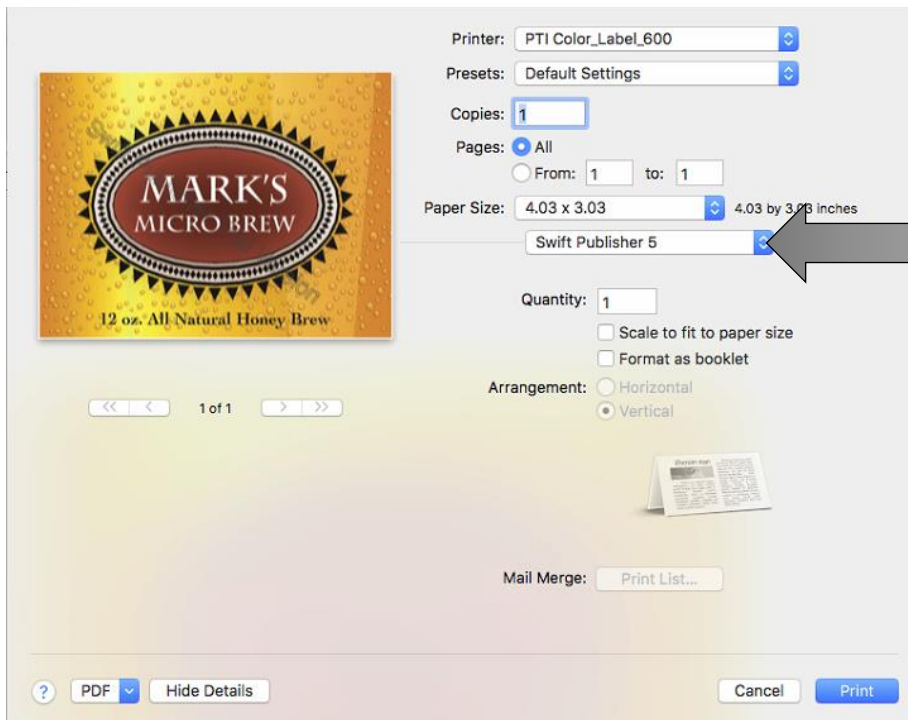
例: 4 × 3 インチラベルを使用する場合、ページサイズを 4.03 × 3.03 インチとする。

6E プリンタードライバー設定

プリンタードライバー設定は印刷前の印刷ウィンドウにて設定が可能です。

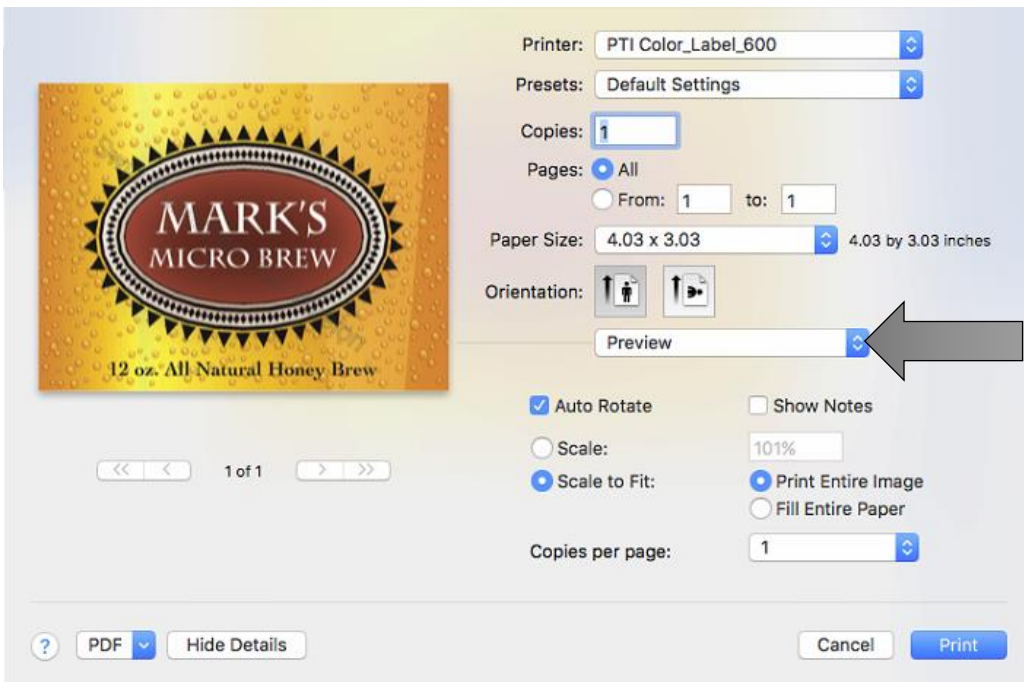
Printing from Swift Publisher

Click on the Swift Publisher 5 dropdown menu and choose Printer Features.



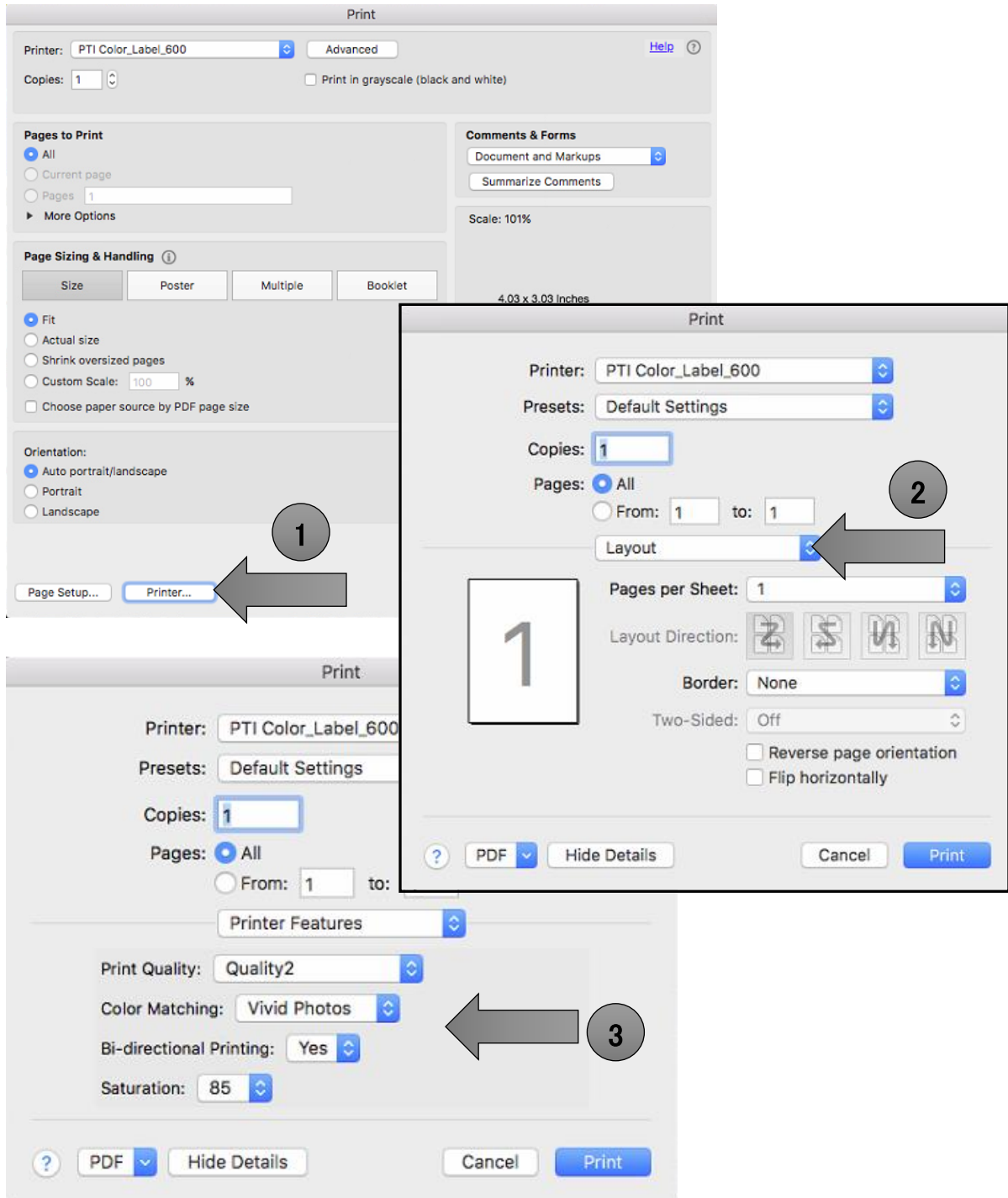
プレビューから印刷する場合

プレビューのプルダウンから Printer Features を選択する。



Adobe Reader から印刷する場合

Printer...ボタンを押して設定画面を開きます。Layout のプルダウンを開いて Printer Features を選択します。



Print Quality

ドライバーには、4つの印刷品質レベルがあります。画質が低いほど、印刷速度が速くなります。Quality 1は利用可能な最速の印刷を提供し、Quality 4は最高の品質を提供します。ラベルを設計する際には、印刷品質と印刷速度のバランスを良くとるために、異なるレベルでテスト印刷することをお勧めします。

Color Matching

Best for Graphics mode 正確な色再現が必須ではないグラフィックイメージに最適です。このモードでプリントした画像は、多くのインクを使って作成されるため、より鮮やかに見えます。ただし、人物の画像を印刷すると、肌色が赤みを帯びた色合いになることがあります。

Best for Photos mode 正確な色再現が不可欠な写真画像に最適です。このモードでプリントした画像は、ビビッドグラフィックモードでプリントした画像よりも明るく見えます。特に肌の色は、このモードの方が自然に見えます。

-**注意:** カラーマッチングにはドライバでは制御しえない様々な要素が関与するため、ラベルの印刷において完璧なカラーマッチングは実現できない可能性があります。印刷色はラベルの表面がカートリッジのインクと反応することで生まれます。そのため、同じ画像を異なる表面を持つ別の種類のラベルに印刷した場合、全く異なる印刷出力になることがあります。

Ink Saturation

このオプションは、画像を印刷するときに使用するインクの量を調節します。カラーマッチングの精度を上げるため、初期設定は100%になっています。インクが十分に印刷直後に乾燥していない場合やインクのムラや横筋が発生する場合、インクの値を下げて、ラベルに適用されるインクの量を調整することができます。

Enable Bidi (Bidirectional) Printing

印刷速度を最速にするには「はい」が有効ですが、カートリッジ交換ごとに位置合わせ印刷が必要です。場合により、「いいえ」に設定した方が印刷品質が上がります。

第7章 トラブルシューティング

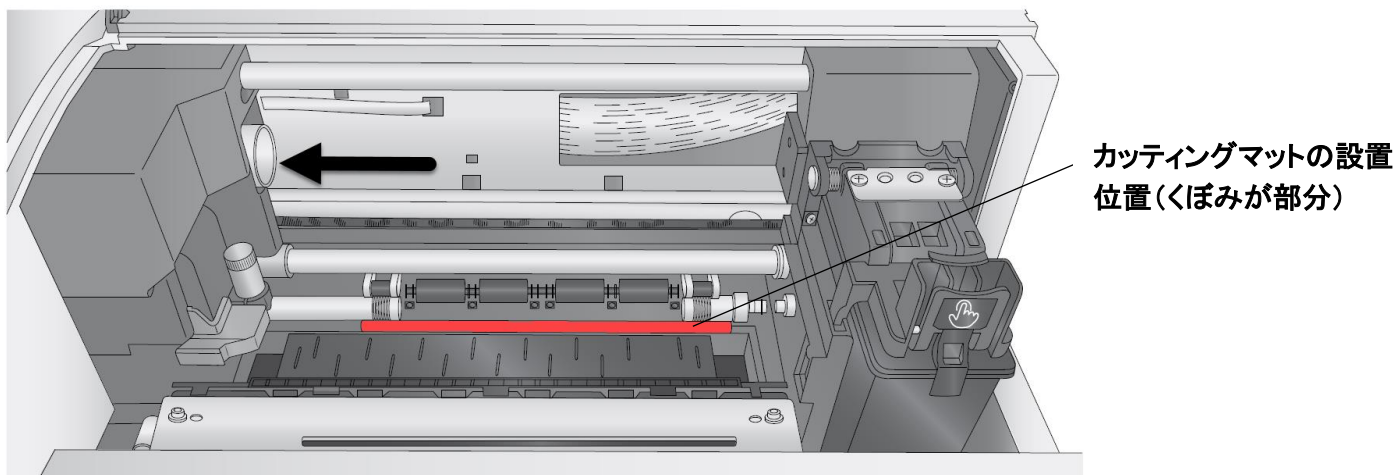
7A メンテナンス

カッティングマットの交換

カッティングマットは、時間の経過とともに、カッターナイフの圧力によって摩耗します。また、ナイフが台紙を切断してマットに接触すると、損傷します。

カッティングマットを交換するには、プリンターから用紙を取り除きます。まず、プリンターの電源をオフにします。カッターユニットをゆっくりと左に押しします。マットの一方の端をつかみ、本体から引き抜きます。カッティングマットは接着剤で固定されているため、本体に接着材が残る可能性があります。新しいマットに交換する前に接着剤をアルコールで取り除いてください。

新しいマットに交換する際は、シールの剥離紙を剥がして、マットを所定の位置に押し込みます。くぼんだポケットに完全に収まっていることを確認して下さい。



ラベルカット後の紙粉について

ラベルカットされた紙粉は、プリンターに蓄積する可能性があります。

紙素材を使用すると、フィルム素材よりも多くの紙粉が発生します。紙粉がたまと最終的にはカッター内の可動部品や電子部品に問題が発生することがあります。定期的にかッターエリアとプリンター内を清掃してください。

プリンターの清掃

プリンターの外装はアルコールと清潔な布を使用して清掃することが可能です。

7B 出力カッターのクリーニング

2000 枚カットする毎に、クリーニングカードを使用して出力カッターの清掃を行う必要があります。カードを準備して以下の手順に従い、清掃を行ってください。クリーニングカードの購入については、お買い求めの代理店またはサポートセンターまでご連絡下さい。

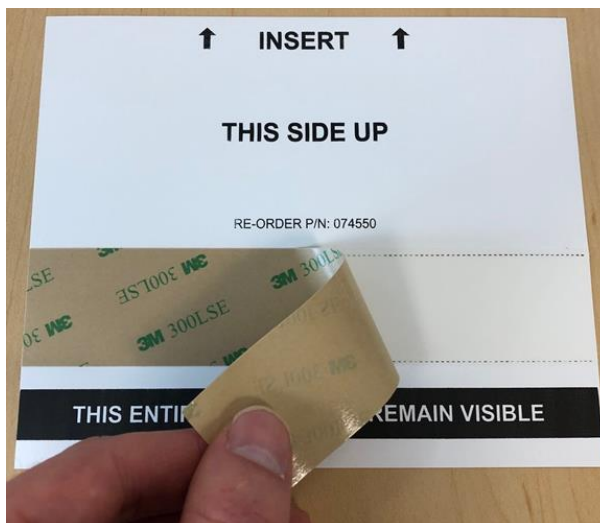
手動でカッタークリーニングを行う場合には、PrintHub の「プリンター設定」タブを開き、「詳細設定」から「出力カッターのクリーニング」を押して下さい。

The screenshot shows the PrintHub interface for an ILX610 printer. The main window displays the printer's status as 'Idle' and provides information about the driver, firmware, and software version. A red arrow labeled '1' points to the 'Advanced Settings' button. A secondary window titled 'Advanced Settings for ILX610Printer [0]' is open, showing the 'General' tab. A red arrow labeled '2' points to the 'Output Cutter Cleaning' button. Below this, a 'Perform Cutter Maintenance' window is shown, titled 'Get a Cleaning Card'. It provides instructions on why cleaning is necessary and offers two options: 'View Product' and 'I Have My Cleaning Card'. A red arrow labeled '3' points to the 'I Have My Cleaning Card' button. To the right, an image of a cleaning card is shown with instructions: 'INSERT', 'THIS SIDE UP', and 'THIS ENTIRE BAR SHOULD REMAIN VISIBLE'.

クリーニング手順について:

クリーニングカードはラベルを出力する際、プリンターからラベルを切り離すために作動する、ロール状の出力カッターを清掃するためのものです。出力カッターで継続的にラベルをカットすると、ラベルの粘着剤がカッターに付着します。この付着物が増えるとカッターが正常に作動しなくなるため、定期的なクリーニングが必要となります。

クリーニングの目安: 2000 枚毎のクリーニングを推奨します。PrintHub(ドライバー)がラベルのカット数をカウントし、2000 枚を超えるとアラートを表示します。



1. クリーニングカードを準備します。

2. 保護フィルムをはがします。



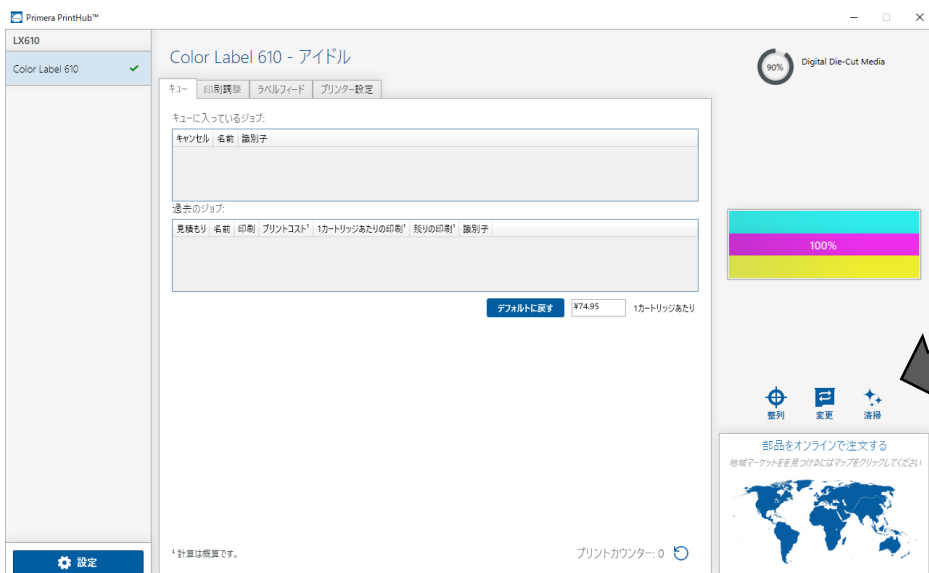
3. プリンターからラベルを取り除きます。プリンター前面の排出口からクリーニングカードを差し込みます。

4. クリーニングカードの粘着部分の上を出力カッターが通るよう、カードの位置を調節します。PrintHub を開き、プリンター設定から詳細設定を押し、「出力カッターのクリーニング」を押します。カッターが無事に動いたら、クリーニングカードをプリンターから取り出します。

7C 印刷品質不良 – カートリッジのクリーニング

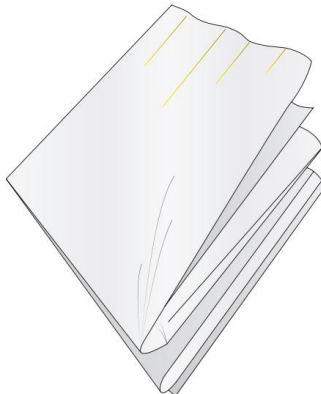
印刷品質の低下や、カートリッジノズルが少し乾いているか詰まっていると思われる場合は、インクカートリッジノズルのクリーニングが必要な可能性があります。カートリッジをプリンターから取り外して 30 分以上経過すると、プリントヘッドのノズル内のインクが乾燥する場合があります。印刷品質に問題がある場合は、以下の手順に従ってください:

1. カラーカートリッジのインク残量が 10%以上あることを確認してください。インク残量が 10%未満の場合は、カートリッジを交換してください。
2. PrintHub の清掃機能を使用して、カートリッジをクリーニングしてください。



3. イメージを印刷して、再度印刷品質を確認します。サンプルに色抜けや白筋がある場合は、カートリッジをプリンターから取り外して、手順 4 に進みます。
4. 4 つ折りにしたペーパータオルを 2 枚 / コップ一杯の水 を準備してください。

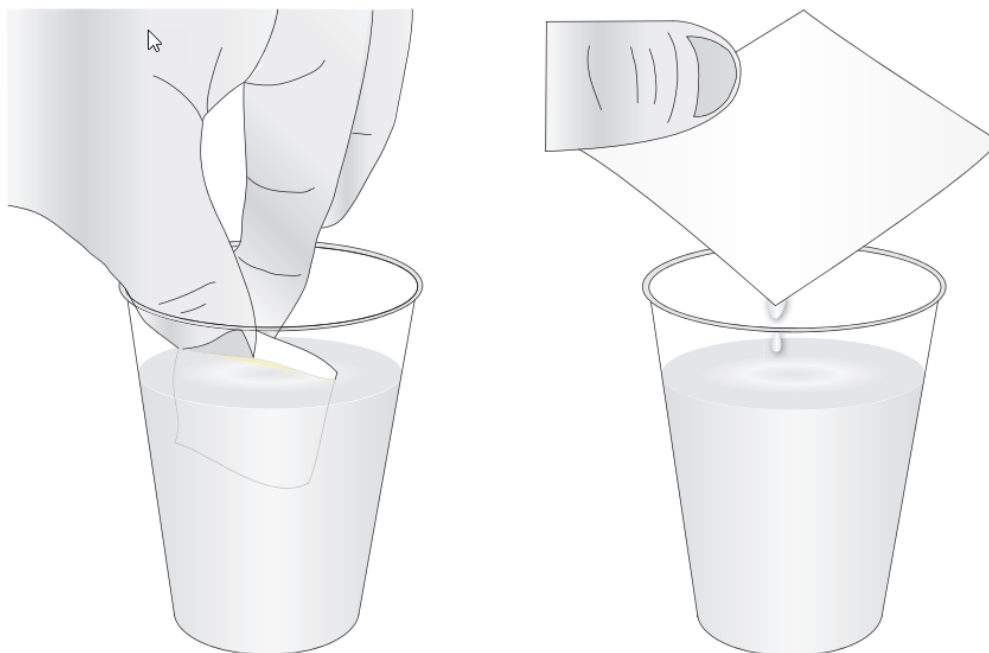
Two Paper Towels
folded four times each



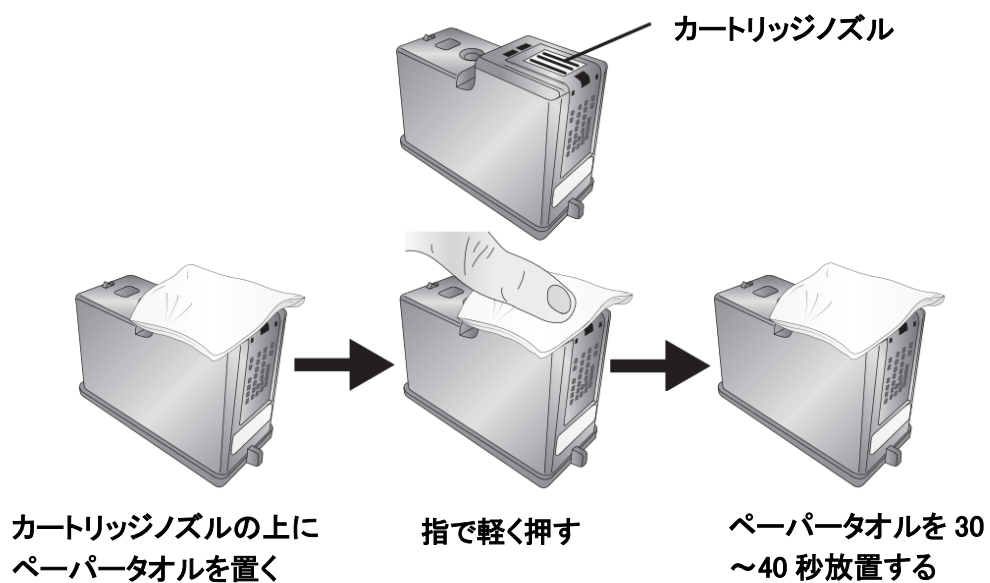
A Glass of Water



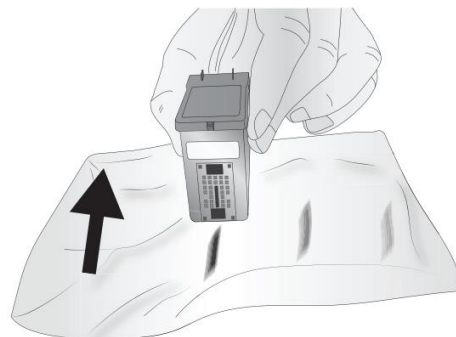
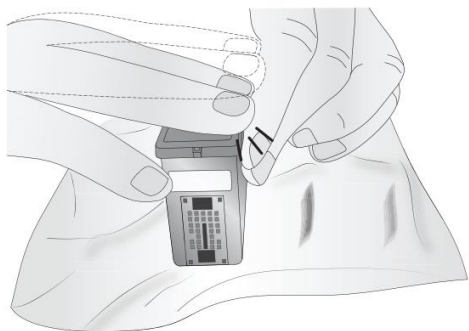
5. ペーパータオルを水に 5 秒間浸します。



6. 1 枚のペーパータオルをカートリッジノズルの上に置きます。ペーパータオルを指で軽く押して、30 ~40 秒放置します。



7. 下記手順に従ってください。



- a. 2枚目のペーパータオルを平らで固い場所に置きます。
- b. ノズルをペーパータオルに押し込みます。
- c. カートリッジの上部を3回しっかりタップして、インクを強制的に出します。
- d. カートリッジを上図の通りに動かします。
- e. ペーパータオルにすべての色が見えるまで繰り返します。ノズルを拭いた後、ペーパータオルには3色すべてが表示されます。3色すべてが表示されている場合は、手順8に進みます。ペーパータオルに3色表示されない場合は、手順7を繰り返してください。それでもペーパータオルに3色すべてが表示されない場合は、カートリッジを交換します。



8. カートリッジを乾かします。



カートリッジの余分な水を乾かします。カートリッジの接地面が完全に乾いていることを確認します。

カートリッジの接地面が完全に乾いていないと、プリンターが損傷するおそれがあります。

9. ラベルを印刷して、カートリッジが正常に機能していることを確認します。

7D テクニカルサポート

プリンターの操作に問題がある場合は、以下のいずれかの方法でサポートセンターにお問い合わせください。

方法	場所
メール対応	primera_japan_lx610@kanematsu.co.jp
サポートセンター	050-5527-3076 (月曜～金曜 10 時～18 時)

第 8 章: 技術仕様

印刷速度	最大:113 mm/秒
解像度	1,200 x 1,200dpi (最大 4,800dpi)
印刷技術	サーマルインクジェット方式
インクカートリッジ	YMC インク一体カートリッジ/インク容量 51ml
対応ラベルの種類	ダイカット、全面、ブラックマーク
標準接続性	USB 2.0 (USB 3.0 互換)
対応ロール幅 (カット機能あり)	13mm~104mm。
対応ロール幅 (カット機能なし)	13mm~127mm
最大印刷長さ	308 mm
対応 OS	Windows 8/10/11, MacOS 10.13 - MacOS 13 (Ventura)
寸法	345mm x 432mm x 242mm
重量	5.7kg
電源	入力: 100 ~ 240 VAC、50/60Hz、60W 出力: 12 V 5A
保証	1 年間保証(センドバック)、コールセンター
動作温度	10~35° C
推奨動作温度	16~32° C
保存温度	-20~60° C
動作湿度	10~60% RH (結露しないこと)
保管湿度	10~80% RH (結露しないこと)
認定	UL、UL-C、CE、FCC クラス A
交換インクカートリッジ	顔料インク 染料インク Premium Black 染料インク